大正十二年九月五日　(水曜日)　THE KEIJO NIPPO　(明治三十九年八月十日第三種郵便物認可)　第五千六百六十七號

京城日報

朝刊（朝夕刊合せて十頁）
本紙定價 每號金五錢▲壹ヶ月郵税共前金一圓二十錢▲參ヶ月同…▲六ヶ月同…
廣告料 五號活字一行金二圓五十錢▲特別…
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話光化門…番 振替京城三〇〇番

京城日報 人間性を喪失するな

人の性は善であると稱する古、性惡を說いた者もあるが、少くも性は善であることを認めなければ古來の社會組織は了解が出來ないことに成る、無論現在も同樣である、故に人間性と云へば『善良なもの』といふ斷定の下に、吾人は我同胞が、今や深刻なる天の試錬を受けつゝあるに當り、必ずや人間性を喪失せざれ、如何なる艱難に遭遇すとも、忘れても善に遠ふ勿れと、他人の戒愼を要めんと欲するものである。

天の試錬とは、今次東京を中心とする關東地方の震災が、即ちそれである。其被害の程度は、未だ精確なことは分らないが、二十年前、日露戰爭に於ける人命及財產の被害に比すれば、前者に於て輕く、後者に於て大きいやうである。然し其災禍の人心に與ふる影響の惡性なると財的被害恢復の困難なることとは、今次の震災を以て寧ろ重大であると見るべきである。何となれば戰爭といふものは、人をして人心を緊張せしむるものであるが、人力の得て抗すべからざる天變地異の大災厄に逢ふときは反つて一種の諦めから人心が弛緩するものである。而して人心の弛緩は往々にして社會の綱紀を紊るが如き、憂ふべき結果を生ずる。一方財的被害の恢復は何うかといふに、日露戰爭の場合は、外征であつて、敵の一兵と雖、我國土に足を踏入れた譯でないから、一口に言へば、唯戰費として多額の國帑を費し、多數の壯丁を軍隊に徵發した爲に生產が幾らか減少したなどゝいふが如きに過ぎないが、今次の災厄は殆ど我帝都の大半を燒夷し、生產の機能を破壞したのであるから、深刻なる敵兵の侵害にも勝る被害で、恢復の困難なる所以である。今次の災禍は實に叙上の如き重大なる憂懼と、困難とを我國民に投げ掛けた。

幸ひに我國民が能く此の憂懼を一掃し、困難に打克てば我國家の隆昌は世界に約束せらるゝのであるが否らざれば前途知るべきのみ。即ち今や吾等は、天の試錬を受けつゝあるのである。故に吾等は其れを覺悟して、今後に處せねばならない。而も其覺悟を飽迄も堅持せしめ、遂行せしむるものは、小手先の智慧や、鼻先思案では無い。其れは人間性其ものである。總て向つて善良なる意思の強靱なる作用を必要とする。

然るに聞く處に依れば震災の際食糧や木材の騰貴を見込んで、早くも米の買占めに着手した者或は木材の買占めをした者が朝鮮に居るといふことである。何といふ不都合な徒輩であらう。彼等はたしかに人間性を喪失して居る。木曾の檜を買占めて巨利を貪つたことを羨しと讚えた、安政の昔は知らず、現代の我國に於ては、此の如き小賢しき惡辣な斷案を是認する譯、醜く野蠻では無いか。彼等の所業は神人共に怒り惡む所である。何うして好き辯護が望み得られやう。そ、吾等は彼等如きを相手にするに足らぬ。何處迄も人間性を喪失しない樣に努力する丈である。

當面の人（六）
愛せよ而して導けよ
永井柳太郎氏の大雄辯
東京支局 一記者

◆足がちんばなのと、口をへの字にして懸河滔々として雄辯萬言を喋舌りつゞけても倦むところを知らぬ點とに於て、早稻田學派に於ける少壯學者として、故大隈侯の風貌ありと稱される。小大隈永井柳太郎君をその構宅たる多摩郡戸塚飛地に訪ねる。彼は昨今支那朝鮮を視察し、研究して歸つて來た許りである。定めし彼一流の熱の籠つた思ひ切り齒切りの良い話を聞かせてくれることを期待して意見を求める

◆今度朝鮮を視察して尤も感じたのはこれでした。物質的方面に於ける進展は兎も角も相當の成果を修めたと申されませうが、人心の融和、そういつた的方面に對しては極端に無責任なるかの感を抱かざるを得ませんでした。

斯う彼は一氣に語つて運ばれた紅茶に咽喉を潤したが憂世慨國を慨傷する志士的氣分は、この若き政治家にも見落せなかつた。そして彼は語りつゞける。朝鮮人中に個々不逞の徒が出るのも、要するに爲政者が今少し人類に對する愛があつたならば、こうまでに今日の如き極端な盲動をする者なくしてすんだのではないかと思ふ。その責任はわれわれ日本人に充分にあることは疑ふ餘地はないと信ずる。勿論なかには全然問題にならぬ人間もあらう。いくらよりよく導かうとしても先天的に手のつけられないやうな人間も無いではない。然し其根本に立ち歸つて考へれば、誰しも彼等が憐に濁え、人間味に接する機會なくしてかゝる境遇におかるゝに至つたのであつて、人は決して生れながらにして獰猛でもなければ、不逞でもないのである。

此れを心理學的考證の上にもとめても、人類考古學の歴史を據じても明瞭過ぎる問題である。

◆さうだとすればわれわれはもつと更に深くかんがへを進め、反省しなければならぬ。朝鮮人であらうと、臺灣人であらうと、然も同じく東洋の一角を占め、人種に於ても、言語に於ても、其起源を全く同一基調におくわれわれであつて見れば、差別待遇だの、異端者扱ひだのは、生れんとしても生れ能はざる程、親密に打融けた間柄でなくてはならない。それは多少の風俗もちがひ、慣習、道德に於て、或は感情の點に於て彼此の心持がピッタリと共鳴されぬところもあるであらうが、こうした例は強てたづぬれば日本の國内にでもある。宛ち戰國時代に例を求めずして、近世の政治史を繙き、近時の政爭塲裡を觀へば、誰か國家的聲と同一軌道を歩みつゝありと斷言し得るものがあらうぞ。されば對土著人に對する私どもの考へ方も、より冷靜な觀點を以て、彼等に臨むことを忘れてはならぬ。なにもかも一般平等の觀念を以て向ふことは、危險の最も甚だしきものである。不良兒と低能兒と通常兒と優良兒とは教育上にさへ區別される。況して言語風俗感情習慣を異にしてゐる彼等に對して、内地人同樣の思想感情の持主になることを迫り、甚だしきは風俗習慣まで、打解けんことを強るが如きは、人間の先天的反抗心の許容し能はざるところであらう。それでなくてさへ彼等は亡國的屈辱を常に抱懷して、機會あらば獨立せん事を希ふてやまぬ人達である。

彼の眼はいよいよ熱して、彼の全身は益々角度を增して記者と相接するが如くして語氣やうやく荒く、なかなかに盡くるところを知らない。

◆その意氣、その說くところ、たしかに當代稀に見る日本の政治家として青年の渇仰の的となる。彼が一度議政壇上に立てば、口さがなき政友會の陣笠から乘もすれば、『青年會でやれ』とか『神田の青年會館に廻つては』とか野次られるが、あれで仲々耳の痛いことを言ふから子と、敵も味方も感心して了ふ。そこに彼の生命があり活氣があり新しい味があると言へやう。そして彼だからこそ第四十四議會で『西にレーニンあり東に原敬あり』と洞破し得たのだ。好漢すべからく自重加餐せんことを祈る。

秋草物語（三）
松田生

『和漢香之記』に、桔梗を評して『秋の花のきはまりなく咲ける中にも、桔梗、苅萱、女郎花は、いづれをわき難けれども、花の色はめて、それとは見え侍れども、紫の由緣思はれて、姿やさしく咲くによりて、香爐の内にうつして、眺めしはことわりなり。』とあつて、其花の紫を稱へてあります。

『桔梗は、其色に目をとられ野の草の中に思ひかけず咲出たるは田家の草の戸に、よき娘見たる心地ぞする』と許六も又、其由緣の紫を愛でゝゐます。女郎花の黄に對して、並び咲く此花の紫の色彩の調和が頗る見事です。

◆桔梗、女郎花と共に秋草中首位を占めるものは萩であります。萩は澁い人を魅する程の花の持主ではありませんが、其くねつた枝の風情何んとも言はれませぬ。そして小さいながらも多くの花が、纏れつゝ咲いたのは全く東洋的な纖細な植物です。『此頃の秋の野を見んとて、立出でしに、色々に亂れ咲きたる花の露に濡れて、一際美しう見え渡りたる中に、萩よりことに、あなめでたと思ゆるは、萩になんありける。彼方をやかに咲きて、玉と見るまで、露のおける樣など、目もあやなり。さる程も心ありてぞ。分けてたちならすらんかし、げに此花のもとにこそ、立ち離れ難かりしか』と古人は言つてゐるし、『萩などのいと重げなりつる露の落つるに、枝の打動きて、人も手觸れぬに、ふと上ざまへあがりたる、いみじういとをかしといひける』とも言つてゐます。

◆萩の花は脆いもので、觸れないでもハラ／＼と散ります。そして一方には盛んに咲き出ます。だから散れつゝ咲きつゝなど、形容されてゐます。

露ふかき小萩が原に立寄れば花ずり衣きぬ人ぞなき

とは、下野の詠んだ和歌でありますが、これは確に實景で、露にぬれた萩の中を分け行くと、花は衣服に附着して、如何にも花ずり衣を着たやうに見えます。萩の枝はたをやかでありますから、風に吹かれると、嫋々としてどちらへでも靡きます。俳人鬼貫は、其風を捕へて、俳趣味に醱酵して。

萩の風そちらへ吹かばこちらへ吹かば

と、鬼貫一流の洗練された句にものしてゐます。

◆萩を俳句の題として作つた句が澤山遺つてゐます。俳聖芭蕉が

白露をこぼさぬ萩のうねり哉

の句を作つて、門人の其角に見せました。すると其角は些か不滿であつたから、遠慮なく、

月影をこぼさぬ萩のうねり哉

と直しました。有繋は其角だけに、月影と技巧を弄したから、句振りは派手に爲つたけれども、芭蕉は矢張白露の方が自然で好いと、其儘にしたといふことであります。萩の句の殆んどは先づ措くとして、白露こぼさぬ風情は、實に好い感じが致します。前記した通り、西洋人は、毒々しい濃厚な花を好むばかりで、優しく淡泊として花其物よりか、枝の振りと葉の配りの雅致た好い風情、言ひ換へれば彼等に東洋的趣味觀賞の眼のないのは、殘念でなりませぬ。（終）

種の話

◇大黑鉛脈發見さる　北米ノバ、スコチアなるマラガツシユの地下二百呎の處に於て厚さ六呎の大黑鉛脈が發見せられ分析の結果百分中九十九一パーセントの純粹なる良鉛であることが證明せられた。而して採掘の爲め二ケ所の坑道を開きつゝある内、加里も發見せられたが更に多數の鑛脈が加里がもう一層深い地層に於て發見せられるであらうと豫期されてゐる。

總計三十萬組の取合せを限 半價處分
上等毛布責任保證付特賣

不景氣が生んだ財界の混亂は我國毛布業界の權威者たる千代田毛織株式會社藤尾紡織合名會社五反田染色合名會社深野毛織工場及鶴谷商店等の共同聯盟から直接需要者へ處分するの今日仲買と問屋と小賣屋との手數料を省き且原毛代及工賃の引下等一般工場の整理から無類極上の製產品も價格は殆んど市價の半値乃至其以下也豐し此最良安値半處分値段に滿足の出來ぬ方は返金取替何自由也

○純毛ラクダ　特別大判二枚つゞき（色合ラクダ生地）市價二十圓内外の物・特別處分二十七圓五十錢
○羊毛純クラチング　特大判二枚つゞき（鼠色及茶褐色）市價四十圓内外の物 特別處分 二十二圓（此製品に限り一枚物あり即ち一枚十一圓にて差上ます）
○特大判一枚物綿製品輸出毛布品 特甲 二二圓
○大判三枚つゞき綿製品鼠色毛布 中判 大判
○大判三枚つゞき半毛茶鼠色毛布 中判 大判
○大判三枚つゞき黑鼠半毛改良毛布 中判 大判
○大判三枚つゞき本毛赤毛布 並上 極上
○大判三枚つゞき混毛改良極上鼠毛布 特
○大判三枚つゞき極上白毛布 特
○大判三枚つゞき改良クリーム色極上毛布 特 甲
○大判三枚つゞき灰茶色改良極上毛布 特 甲
○大判三枚つゞき青茶色改良毛布 特 甲
○大判三枚つゞき濃茶色改良毛布 特 甲
○大判三枚つゞき極上ラクダ毛布 特 甲
○大判三枚つゞき支那羊毛毛布 特十三圓五十錢
○大判三枚つゞき純羊毛白毛布 特十六圓五十錢 甲十二圓五十錢
○大判三枚つゞき再製羊毛茶褐・茶鼠色毛布 十五圓均一
○大判三枚つゞき千代田毛織特製品鼠毛布 甲十九圓 特二十三圓 別十九圓

△說明　純ラクダ及羊毛純クラチング以外の三十種類の毛布の眞價は何れも小賣値段の約半價保證付處分品のみ也。御毛布の類には各專門技術家が何れも新流行の意匠色彩を施し縞模様花模様の及ダイヤモンド形等の流行品にして御望みに應じます
△用途　衞生と經濟を重んずる文化生活の家庭には防寒用旅行用寢具用として一日もなくてならぬ日用品也
△申込　ハガキにて御入用の品名と價格を記し申込まれたし責任保證を誓約し代金引替急送す

東京市京橋區第一相互館 於三階
織元出張共同賣立會
振替東京六四六六六番

和漢御手本類は何でもあります
習字（目錄送呈）
東京市神田區南神保町九番地（九段電車通）
精華堂法帖店
電話九段一五七九 振替口座東京一三八七二番

●財團法人工業教育會學校部（東京神田區三崎町）
東京工學校
●豫科、小學卒業●本科、中學卒業
▲各學期無試驗入學
▲程度補員募集
▲詳細規則郵券二錢
●新學期開始十月●豫科●電氣科●機械科●實高科
電話神田四二〇三

外務省附 海外派遣 内地勤務兼用
巡査養成講義錄（會員募集進呈）
全國各地に於て大募集中
巡査は青年立身の近道にて内地勤務は二箇月海外勤務は三箇月講習後及第容易月收内地八十圓以上海外百三十圓以上
東京巣鴨町一丁目 電小石川五三二八
日本警務學會

中學、高女、實業、師範學校入學、小學准教員檢定
受驗準備講義錄
本會講義錄は各學科練習カバーを應用し會員諸君をして最も正確的に試驗場に於ける勝利者たらしむるに苦心せる獨特なる唯一無二の講義錄にして六ケ月講習後及第容易見本附會則無代進呈す
東京巣鴨町二ノ六 電小石川五三二八
大日本受驗研究會

早稻田大學
六大講義
校外生募集

大學知識の民衆化　各科共新學年開始　新時代の教育機關

政治經濟科
學課及講師
政治學 浮田博士　政治哲學 五來教授　帝國憲法 副島博士　行政法 島村學士　自治行政 高橋教授　政治學說 服部教授　經濟原論 服部教授　貨幣論 河津博士　銀行論 小林教授　商業政策 高木博士　農業政策 伊藤教授　社會政策 安部教授　外交史 ……
十月一日發行 第一號 修了一年半

法律科
學課及講師
法學通論 中村博士　帝國憲法 副島博士　行政法 島村學士　刑法 泉二博士　民法總論 仁井田博士　物權 三瀦博士　債權總論 横田博士　親族法 牧野博士　相續法 柳川教授　商法總論 寺尾教授　會社法 松本博士　破產法 岩本學士　國際公法 中村博士　國際私法 山田博士　經濟原論 服部教授　最近法律思潮 牧野博士
十月八日發行 第一號 修了一年半

文學科
學課及講師
倫理學 杉森教授　社會學 遠藤教授　心理學 金子博士　人類學 相馬講師　文化史 西村教授　教育學 中島教授　國文法 森岡講師　國文學史 保科講師　新聞學 桑木博士
十月八日發行 第一號 修了一年半

中學科
學課及講師
修身 中島教授　國語 永井教授　漢文 山口講師　作文 大町講師　文法 杉學士　習字 岡田學士　英語 熊本講師　英文法 山田教授　日本史 ……　東洋史 ……　西洋史 ……　日本地理 ……　數學 ……
十月一日發行 第一號 修了二年半

商業科
學課及講師
商業倫理 杉山重義　處世談話 諸實業大家　商業道德 伊藤重治郎　商業各論 伊藤重次郎　經濟學 服部文四郎　商業算術 小林行昌　商業簿記 吉田良三　銀行簿記 吉田良三　小賣店經營 中山正男　廣告學 松宮三郎　商業心理 上野陽一　工場能率 上野陽一　商業英語 前田定之介　世界富源 村井四郎　商業文 服部嘉香　民法概論 中村萬吉　日本商業地理 ……　外國商法概論 寺尾元彦　商業地理 青木利三郎　工業通論 市川英一　商業取引 依田信太郎　外國貿易 依田信太郎　商業經營 横山一郎
十月一日發行 第一號 修了一年半

高等女學科
學課及講師
修身 市川源三　國語 沼田笠峰　文法 宮田脩　作文 谷紀三郎　習字 塗師谷秀教　英語 宇野たか代　内外地理 山岸貫治　日本歷史 高木みつ　東洋史 ……　西洋史 岩崎吉勝　算術 奥野秋子　家事 野田つな子　裁縫 赤沼八重子　生理衞生 磯貝ふさ　物理化學 大塚雄二　動物植物 和田精一　作法 永地待枝　日本體育 石橋錫五郎　西洋音樂 岡野榮　家政學 河野きく子　法制經濟 指原乙子　茶道 松島禮英　花道 ……　その他趣味ある家庭の讀物あり
十月一日發行 第一號 修了一年半

今學年より新たに巡回講演部を開設す

新入生諸君に大特典提供

電話牛込三二三　東京牛込早稻田
早稻田大學出版部

申込次第各科別見本進呈

（右欄外）政府米　（下關…）…を東京に向け…發送した（大阪…）
（青島四日發電）…より四日入港牛肉を…
災地へ派遣
…が…病院よりは醫師一名…看護婦二名を派遣した（安東特電）
織物界寂る
六千俵徵發

戒嚴司令部組織

【大阪至急電報】三日關東戒嚴司令部を組織して福田大將司令官となり東京神奈川兩府縣下に戒嚴令を發した(號外再錄)

戒嚴令區域擴張

【大阪電報】戒嚴令區域を擴張し東京府下五郡及び神奈川縣全縣下と改定された

松本聯隊へ動員令

【松本電報】帝都附近の治安維持の爲更に松本聯隊に出動の命令があつた(號外再錄)

飛行機通信連絡 四日朝名古屋郊外より出發

【名古屋電報】第三師團長の命令の下に四日より東京との通信連絡の任務に當る事となつた各務ヶ原飛行第一大隊は三日中に大隊本部を名古屋郊外に移し同日陸軍大尉指揮の二機は三方ヶ原の中繼所に向け先發し四日朝六時○○少將指揮の一機は三方ヶ原へ同六時半陸軍大尉外二名の三機は三島へ同六時五十分○○中尉の一機は三方ヶ原へ何れも飛行した(號外再錄)

英皇帝より親電

【大阪電報】英國皇帝は三日帝都の震害に御同情あり御見舞の親電を陛下に寄せられた(號外再錄)

帝室林野局で拂下

【大阪電報】帝室林野局では御料林三十五萬石の用材を一般に拂下ぐるに決定した

米艦隊出動準備成る

【大連電報】亞米利加東洋艦隊司令官は伊集院關東長官を訪ひ米國艦隊は今回の震災に付いて糧食其他の任務に服する準備成つたと述べた

支那より救恤米輸出

【北京三日發電】支那政府と交渉の結果東京の罹災民救濟の爲米の輸出の許可を得た

張作霖氏小麥を送る

【大連電報】東三省保安司令張作霖氏は今回の震災者に對し見舞として麥粉小麥二萬袋生牛百頭を送る事に決し滿鐵に通知があつた

滿洲救濟資金問題は 震災に依る支障はない 片山鮮銀理事語る

三十一日東京から入城した片山鮮銀理事は近く大連に向ふ筈であるが往訪記者に語つた處次の通りである

◆自分は三十一日の夜東京を出發し途中一寸門司で一日の朝大阪に入鮮銀支店長と事務の打合せを共にしてゐた際家屋がグラグラと動き出だので『是は何處かに大地震がある』と思つた、自分は未だ大地震に遭つた經驗は無いが其動搖振が從來の小地震式で無く、地の底が動くやうな具合なので大地震があると云ふ直覺した譯だ

◆夫れから神戸に行つて一泊し翌朝初めて大震事を知つた譯だがサテ歸るにも歸られず、東京に居る家族の事も氣遣はれるが自分は滿洲救濟資金問題で大連へ急行する途中であるから一身上の都合で引返す譯にも行かない、と云つて神戸に居た處で急に東京の模樣が分るもので無し、エー儘よ、目的地へ行つたら何うにかなるだらうと其夜神戸を後に朝鮮に向つた

◆今度の震災は全く未曾有の大震災で經濟界の影響も多大であらう殊に憂ふべきは金融問題で無論手形の措置は勿論だし擔保品の激減で貸出の回收は一層六ケしいだらうから銀行の立場も困難が多い事だ、併し東京は殆んど全滅に近いやうに傳へられてゐるが話は半分割引して聞けと云ふ事があるから實際は左程酷いものでは無いかも知れぬ

◆何れにしても今日の樣な不況時代に於いて災害を蒙つたのだから金融界及び事業界に對する影響は尠少であるまい、滿洲救濟資金問題は其後着々進捗中であつて近く貸出を開始する段取りとなつてゐるから今度の震災に依り支障を來す事は無い譯で豫定通實行する事と信じて居る

心機一轉の必要がある 福島平壤會頭談

福島平壤會議所會頭は目下朝鮮ホテルに滯在中であるが往訪記者に語つた處次の通りである

山本內閣の成立は我國今日の狀態から觀て至極我意を得て居る其顏觸れから言つても何れも現代一流の大人物のみを集めて居る今や古今未曾有の大震害に遭して此大難關を切拔くものは此內閣を外にしては到底望むべからざるものである

ひ纏くの災禍も今こそ合ひ驚き大事に際つて大に其誠意を見せるべきであらう一般國民も此際心機を一轉して同心協力大日本帝國將來の爲め大に貢獻する所がなくてはならない斯かる大變事に際して國民心の爲めに事を二三にするが如きは帝國の禍を釀くするものであるに四方には爪牙を磨いて隙の機會を狙つて居るものがあるのだから此際寸毫も民心に一致を缺ぐやうなことがあつてはならない吾人は何處までも現內閣を援けて朝野一致の實をあらはすことに努力する覺悟が大切だと思ふ此大震害だにあるならば些々たる財界の破不況は敢て意とするに足らない必ず挽ひを回復して來るものと確信する

米價は余り高くなるまい 今後被害地の食料は却て潤澤か

被害地の糧食欠乏と鮮國の食米を救ふ之が爲海に關心せる折柄で此一時米價の暴騰は已むを得ないが既に鮮滿地に於ける政府操米の五十萬石は既に被害地へ回送手配中であり又各地よりの救濟米も今や續々被害地へ集まりつゝあれば不日之等の米穀を救濟せらるゝのみならず、朝鮮一致の同情によつて今後被害地の食料は却て潤澤となるやも知れないそれに農作物は他の被害地域の土地に部分的であつて比較的輕微なりとの噂もあるから罹災米が收まつて多少人氣が落付けば自然米價の暴行きも緩和せらるゝであらう殊に今回の災害は帝都と我國經濟の一位の實業界たる横濱を潰滅せしめたので此事業界の大動搖は當然來るべきものと覺悟せねばならぬそれに就て當局は財政經濟に對して積極的方針を執るべく鮮服もされて居るから現在の混亂狀態に陷られて米價の先高を云爲する事は出來ない尤も今後尚二百二十日の厄日や秋日和の如何もあるから斷言は出來ないが周圍の事情を深く考慮すると米價の前途は餘り高價なるものとは思へないと

震災と副業共進會 開否は總監の意見次第

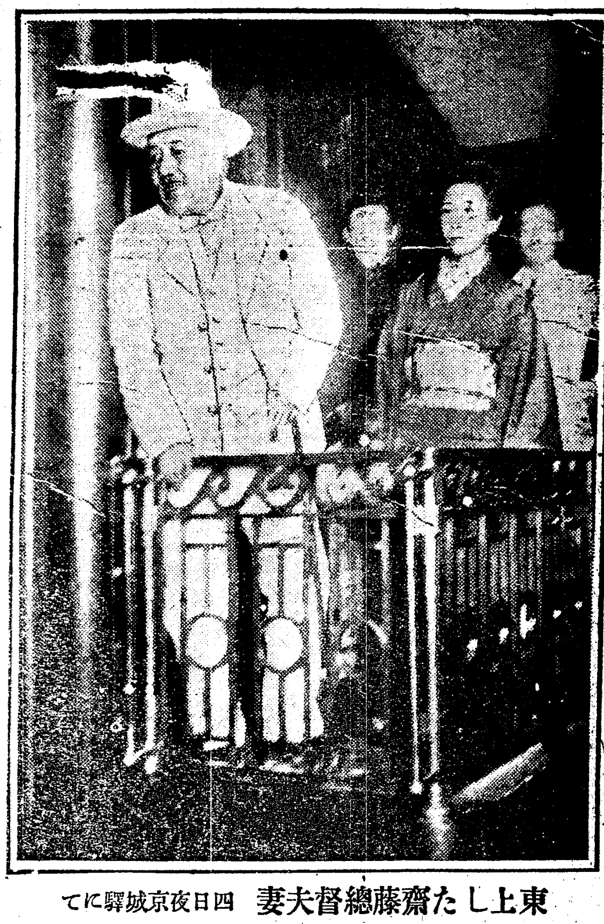
朝鮮副業共進會京城協贊會では四日午後四時から副業會事務所に會同して臨時協議會を開催し內地大事變の際共進會を開催するの可否に就き協議した結果協贊會としては內地では古今未曾有の大慘害を呈し居るのに共進會を開催してお祭り騒ぎをするのは甚だ不謹慎であるから中止するのが至當であるとの意見に一致し五日政務總監の意見を仰ぐこととなつたが若し政務總監が開催しても差支へないとのことであれば協贊會に於ては之を縮少して開催するが今後の慘狀は一報は一報毎に甚だしかるべくシヤンシヤン騒ぎのお祭り的餘興は甚だ面白くないから若しやるとしても最初の計畫は變更して極めて質素に行ふことになるであらうと

副業共進會報

效績者詮考委員決定 副業品共進會規則に依り表彰すべき副業效績者詮衡委員は左の諸氏に決定し近く會長より夫々之を囑託すると

委員長 總督府事務官 平井三男
委員 同 事務官 近藤常尚
同 同 三井榮長
同 同 技師 石塚峻
同 同 都澤正章
同 同 牧山正德
同 同 鳴鳳輝二
同 同 大木琢三郎

而して效績者の詮衡は詮衡委員會に於て各道の調査報告書に依り審査し尚必要あるときは實地の調査を施し委員會の意見を決定して會長に報告し更に常務理事會に諮問したる上會長の決裁を經て最後の決定を爲すものと云ふ



東上した齋藤總督夫妻 四日夜京城驛にて

廣梁灣鹽田の被害 復舊工事は年內に竣功する 青木專賣局長談

先月二十七日頃より鎭南浦廣梁灣方面の鹽田被害視察中であつた青木專賣局長は三日歸任したが其の被害狀況及復舊方針に付左の如く語る

今回の鹽田被害は實際に視察して見ると實に豫想以上の大被害であつた。

其の被害は 堤防の決潰であるが其決潰の箇所も日に二回宛潮が差して來るのでそれがため絶えず堤防が洗はれ決潰箇所は益々と擴大するのみならずこれが爲め其度毎に鹽田に潮が差し込みそれが昂じて現在では全く鹽田一面に泥土が溜り殆んどレベルが無くなつて今の狀態では鹽田一面に取り全然落差がなくなつて居ると云ふ狀態である。實に斯くの如き狀態で而も八區の鹽田中其七割だけは非常に被害が大きいので直營として復舊工事を遂行する事が出來ないのである。これには甚だ閉口したが結局これだけは入札に付し請負ひ工事として復舊を計る事に決定した。而してこれが復舊工事の竣工は直營工事が九月頃の見込みで請負ひ工事も本年一杯には是非とも竣工せしむる豫定で更に鹽田の正式事業に取掛るのは來年の春からとなる豫定である。尚これが損害程度に至つては總額は七十萬圓ぐらゐの損害であつたので工事費は八十萬圓を要求して置いた所處が實際に調査した所によると損害額はそれ以上に及ぶ模樣である斯くの如き被害は實に朝鮮にとつて何にしても一大損失と謂はねばならぬがこれは朝鮮產業の爲にも一日も早く其復舊を圖るべきである云々

西鮮海嘯被害調査 復舊工事には三百萬圓を要する

西鮮地方海嘯に依る土地改良地の被害程度に就ては其後總督府に於て極力調査中であつたが此程漸く全部終了した其結果に依ると被害箇所十八、潮水浸水面積一萬三千百四十八町歩、工事損害二百卅五萬三百圓、農作物損害九十四萬圓に及び工事復舊に要する費用の總額は二百九十五萬五千八百七十圓といふことであるが、十八箇所の內其主なるものを擧ぐれば次の如くである

▲不二興業經營の西鮮農場浸水面積四千二百町歩工事損害百十五萬圓農作物損害五十萬圓復舊工事に要する費用百四十萬圓

▲鮮滿開拓會社經營の農場浸水面積千五百五十町歩工事損害四十萬二千圓農作物植付なし工事復舊に要する費用四十萬二千圓

▲瑞興農場浸水面積六百五十九町歩工事損害二十萬五千圓農作物損害三萬圓工事復舊費三十四萬五千圓

▲同仁水利組合經營農場浸水面積三千二百町歩工事損害四萬圓農作物損害二十萬圓工事復舊費十三萬七千圓

▲鬼頭兼治郎經營農場浸水面積四百三十町歩工事損害十三萬七千八百圓農作物損害三千五百圓工事復舊費用十七萬九千五百圓

▲三橋川水利組合經營農場浸水面積八百町歩工事損害十三萬七千圓農作物損害十五萬圓工事復舊費四萬圓

▲末永省二經營農場浸水面積五百三十一町歩工事損害五萬八千六百圓農作物損害一萬二千圓工事復舊費十萬四千六百七十圓

▲川上佐之介(黃海)經營農場浸水面積四百五十町歩工事損害四萬八千七百圓農作物損害二萬三千圓工事復舊費六萬四千二百圓

▲川上佐之介(平南)經營農場浸水面積四百八町歩工事損害二萬二千五百圓農作物損害二千圓工事復舊費八萬八千五百圓

▲大垣丈夫經營農場浸水面積百四十町歩工事損害五萬圓農作物植付なし工事復舊費五萬圓(以上)

(農作物被害額は總て一石十錢として算出したものである)

京取立會開始未定 內地市場休會の爲め全く無見當

株式市場の人氣は割合に落ち付いては居るが依然安見越に支配され殊に大阪の如きは大阪が休會の爲め全く無見當で立會を開始するも混亂は免れず現在の喰合玉に對しては解合希望者もあり又解合ふのが得策だとせられて居るが何樣標準値段が判らぬ爲に解合値段の持出し機がなくまだ裏面解合談は確然何れからも申出ではないが六日大阪市場が立會開始となり相場を入れることになるか又は其儘解合が行はれて其値段が判れば夫れが標準となつて茲に解合談が持上るらしい顧慮である又京取株は大體に於て總て直接災害を蒙つた譯ではなく特に相場は依然不足を告げて居る上に加へ米高は多少の好感を齎すことになり側面的には震災の影響を受けるに至つて一層緊張されるであらうが兎に角空前に實が出來るものではないとの見地から一部實方の弊害は極めて少く總て解合はしないと云ふ此機會の立會を主張して居るが買の勢力は頗る共に無見當で市場も五日立會ふことになるか否か不明である

取扱上の打合せ

京取市場は內地震災の爲め目下休會中であるが立會することになれば無論波瀾に免れず取扱上注意を要するので京取市場では四日午後四時から社員一同を集め平賀取締役から取扱に關する一切の注意があり尚執務上の打合せをした

震災と鮮內支店銀行會社

今次の震災にて東京全市は殆ど焦土と化し横濱亦全滅に近く爲めに銀行會社工場等の燒失倒壞したるものも無數と報ぜられ火災を免れたるものも震災を蒙つて內部の破壞等にて莫大の損害を蒙つたものも少なくない譯で再起し難き數に達すべく之が爲に再起し難きものもある樣で東京に本店を有する鮮內支店銀行會社も自然影響を免れざる打撃を蒙る譯であるが今東京及横濱に本店を有する銀行會社の鮮內に於ける支店を示せば左の如くである

銀行會社名	資本金(萬圓)	本店	支店
第一銀行	五、〇〇〇	東京	京城
三越呉服店	一、二〇〇	東京	京城
三井物產	一〇、〇〇〇	東京	京城
明治屋	二〇〇	横濱	京城
日韓貿易	五〇	東京	釜山
日米商店	二〇〇	東京	京城
角田商店	五〇	東京	京城
丸石商店	二〇〇	横濱	京城
大正製藥	一五〇	東京	高陽郡
大日本製糖	二、〇五〇	東京	大同郡
王子製紙	五、一〇〇	東京	黃州
朝鮮興業	三〇〇	東京	黃州
東洋拓殖	五、〇〇〇	東京	京城
東山農事	一、〇〇〇	東京	水原
生氣嶺粘土	二〇	東京	鏡城郡
三菱製鐵	三、〇〇〇	東京	黃州
利原鐵山	一〇〇	東京	利原
朝鮮鑛山	三〇〇	東京	鎭南浦
朝鮮砂金	五〇	東京	平原
京城電氣	九〇〇	東京	京城
朝鮮瓦電	三〇〇	東京	釜山
內國通運	五〇〇	東京	京城
金剛山電鐵	五〇〇	東京	鐵原
圖們江鐵道	二八〇	東京	會寧
帝國生命	一〇〇	東京	京城
東洋生命	二〇〇	東京	京城
横濱生命	一〇〇	横濱	京城
東京建物	一、〇〇〇	東京	京城
清水組	三〇〇	東京	京城

總督東上

東都並に附近の震災に關しては慘報頻々として到り人心恟々殆ど落付く所を知らざる狀態である、此時に方り國民は齊しく聖上陛下を始め奉り皇室の御安泰を祈りまつる次第である、通信の杜絶ふる所を見るに聖上陛下に於かせられては只管に民草の上に御軫念遊ばさるゝと承はるこそ誠に恐懼措く處を知らざる次第である。朝鮮總督齋藤男爵は天機奉伺並に內閣と打合せの爲め四日夜九時半京城驛發列車で春子夫人並に松村秘書官を帶同して東上された、白色詰襟服の總督と質素なる和服の春子夫人は多數官民の見送りを受け發車間際に貴賓車上の人となり感慨深い一撃悲痛な面持ちで一々吖嗟に『有難う』と會釋を繰返しつゝ宿舍に歸車した

無商內 大阪株は無見當

【大阪電報】株は高低共に無見當で氣配も定められず若し氣配を知らしめて後で猛烈な反擊で批難を受けるのも苦しいと謝絕してゐる者が多く一般に自發的に謹慎してゐるから全く無見當で先日と何等變りない無商內狀態である

大新總解合か

大阪取引所は六日立會開始の事に決定した旨入電があつたが當地からは大阪に照會した照會電報に對しては何等の返答がなく却て當地無事を照會して來る有樣で大阪も立會ふ事にはなつたが一向見當が附かない模樣である併し立會ふまでには現在の相場は總解合とし六日からは新規商內が行はれる事になるのであらうと觀測されてゐる

京畿大豆作況 四十九萬石收穫豫想

京畿道管內に於ける本年度大豆作況を調査するに播種後旱魃のため生育を阻害されたが六月下旬の降雨で回復し爾後順調なる發育を遂げ八月上旬の降雨で再び幾分の被害があつたが目下の生育狀態は頗る良好で收穫豫想高は約四十八萬四千六百三十九石で之れを前年の收穫高に比すれば約四厘三毛減である

露艦木浦入港

露國避難民を乘せたザイナトュヌク號オホック號外一隻は四日午後釜山より相前後して木浦に入港したが同船は炭水の補給を受け直ちに出港すると云ひ居れるも今のところ何時出港するや頗る疑はし(木浦特電)

人事消息

▲吉川遞信支局長 四日夜大阪へ
▲中澤正治氏(東拓事業係長)東京本社歸還の爲め四日夕東上

ヨシアシ

震災地方では物價狂騰し、東京では米一升四圓、林檎一個六十錢だと、これこそ眞に殺人相場。

◇

京城でも奸商の奴は白米其他の値上をやる、當局之に對して暴利取締の會議を開く、傳家の寶刀を拔くのときは今か。

◇

廣梁灣鹽田の水害狀況視察から歸任した青木專賣局長、サテ曰く、被害は豫想以上、但復舊工事は今年一ぱい竣工するやうに號令したとすましたもの。

◇

東都を中心とする震災未曾有の大震災、時はまさに秋、吾等は深き省察を要す、人々よ、戰慄にあれ。

◇

震災に依る天機奉伺と、震災救援方打合せの爲め總督四日夜急遽東上す、出來るだけ罹災同胞の救援を爲すは吾等の義務ぞ。

◇

嫁一嫁いたるは同胞慘禍の電報、是れ血涙の報道のみ、遙かに東都の天空を眺めば秋雲漠々、瞑せば半島の山河また寂々、オゝ涙花として下る淚よ。

伊國の軍事行動は コルフ島占領丈けで止む

[illegible]

【倫敦二日發電】[illegible]來電によるとザイミス氏は希臘聯立政府の首相となる事を承諾した

「木材買占」

[illegible]運動は認められない即ち從來東京送りには北海道材メリケン材が多く供給されたが鴨綠江材は殆ど向きもされず[illegible]

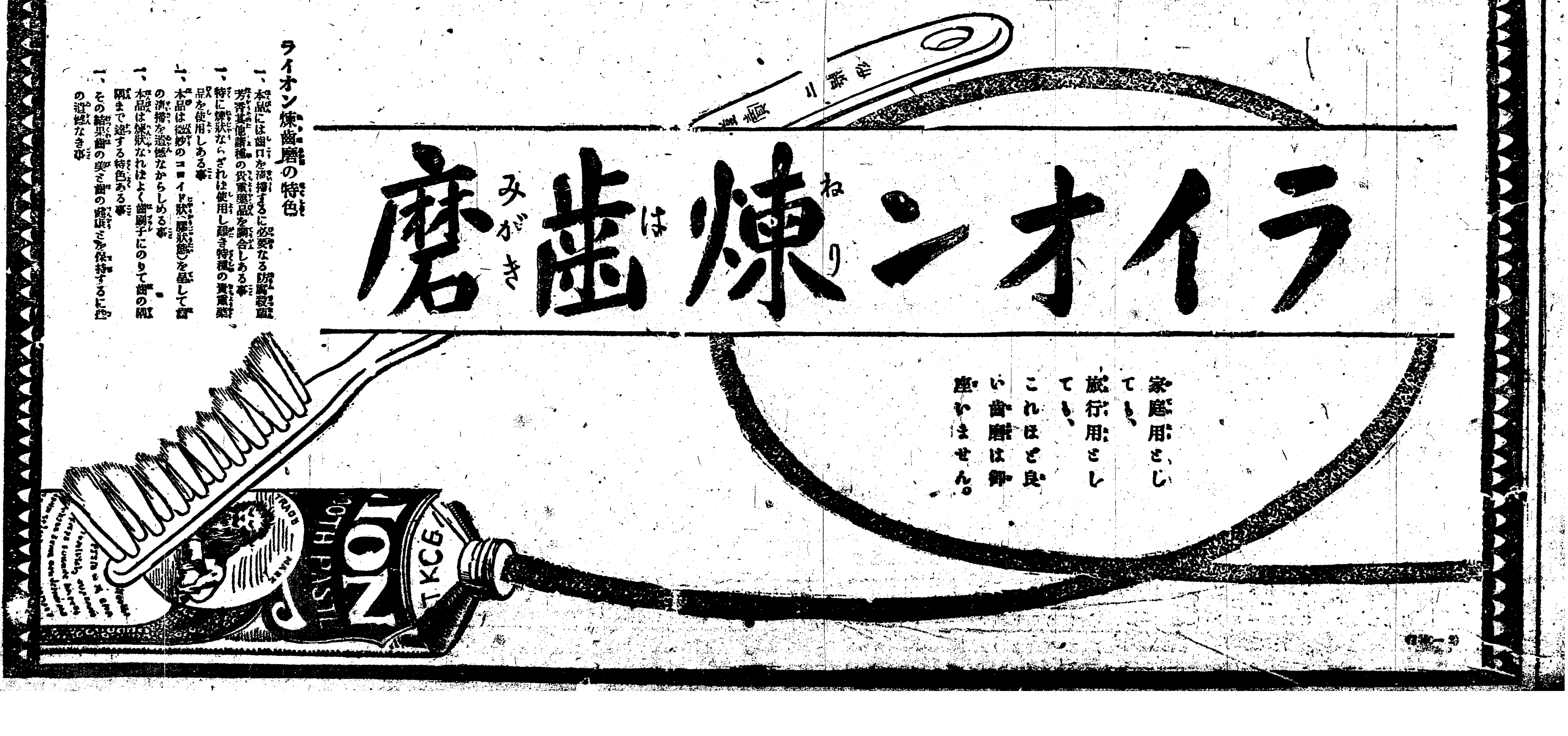
價格は安い

[illegible]を蒙してゐる[illegible]鴨綠江材一北海道材や[illegible]と云ふ[illegible]し今回の水害で目下鴨綠江材に於ける[illegible]

三萬尺締程しかなく一般木材は左程大なるものでなく斯うした理由から別に材木の買占も出來ないで[illegible]

營林廠はお役所なれば[illegible]に來たとてチンで問題にはならず同時に營林廠と鴨綠江[illegible]商人よりは多少[illegible]

【仁川】入港中の米國亞洲艦隊は四日午前十一時半拔錨南浦に向つた(仁川電話)



帝都大慘禍の眞相漸く到る【四日大阪發電】

帝都を中心とする大震災の情況は飛電到る毎に速報に努めつゝあるが何じろ是までの電報は混亂の眞つ最中に發信されたものであるから眞に玉石混淆、何處までが眞であり何處までが僞であるか到底判斷することが出來なかつた、然るに今や帝都の震災も略ぼ終熄し混亂の程度も幾分輕くなつた上通信機關の狀態も稍や良好に向つたので是から到著する電報、通信こそは先づ其の眞相とし[illegible]中の八九までは信を置くに足るものと認められる、即ち左に掲載する電報が夫れである

焦土と化した大東京 震害最も甚しきは麹町區

東京市の燒失せるは神田、日本橋、京橋、淺草、本所、深川、麹町、（二重橋を除く全部）本郷三分ノ一、下谷東南部四分ノ三、日暮里、三河島間を燒き小石川區西南部三分ノ一、牛込區は外濠附近及早稲田を燒き四谷區は外濠附近と新宿に飛火し赤坂區は外濠附近麻布區は南北各一小部を芝區は北部三分の一を燒失した（午後十一時著電）

帝國議會燒火 宮家その他大建物は殆んど倒壞又は全燒す

三日午後五時まで新たに燒失倒壞した主なるもの
女子大學、明治大學、幼年學校、博物館、鍋島侯爵邸、伊太利大使館、佛國大使館、歌舞伎座、伏見宮家、東伏見宮家、華頂宮家、水交社等である（午後七時四十分著電）
軍艦磐城の發電に據れば有栖川宮邸、支那公使館、島津邸、早稲田、慶應兩大學、帝國議會、西本願寺も燒失した

燒失卅五萬戶 東西三里南北三十九町

東京の大火は南北三十九丁東西三里に涉り下町の東北部を全滅せしめて三日朝八時漸く鎭火した（午後七時四十五分着電）
燒失家屋三十五萬▲死亡者市內だけで三萬▲負傷者十萬を算し▲損害五十億圓を下らず
【震災救護局事務課長發表】今回の東京の震災に就き二日迄調査せし所に依ると燒失家屋三十五萬戶死者三萬負傷者十數萬に達した（午後十時五十分着電）

豪雨で避難民濡鼠

東京は三日午後六時頃より豪雨あり家を失ひたる避難民は雨を避ける所もなく濡れるに任せて飢餓の眼を睜つて斃る死者續出しつゝあり（午後十時著電）

日光御滯在中の兩陛下 飛行機で來る報告を聞召さる

日光御滯在中の兩陛下は御安泰、飛行機にて來る刻々の報告を聞召されてゐる（午後十時半著電）

良子女王御無事

赤倉に御滯在中の良子女王殿下は御無事に在らせらる（大阪至急報九時五分着電）

西園寺公竹籔で二夜を明す

一日正午の大地震と共に興津西園寺公爵は行衞不明となり又西園寺公は危險一髪の所で難を避けられ一日二日夜竹籔の中で夜を過ごしたが三日朝十一時興津別邸に避難したが而し京都の別邸には何等の報告なし（午後八時四十分著電）

東京大阪間電信開通

四日午後試驗の結果北千住と大阪間及び四谷大阪間の二幹線の電話が復舊する事となつた（午後十時二十五分發著）

箱根山で路頭に迷ふ 百三十名の外人

三島に避難した英國人の報告によれば箱根山中には百三十名の外人が路頭に迷つてゐる英國領事館では數十名の救護員を派遣した

松方公の遺骸 屋根の下敷となる

松方公の遺骸は二日鎌倉別邸の屋根の下敷となつて慘死して居たものを發見三日宮內省に屆出てた（午後七時四十分著電）

日銀は被害僅少 目下平常通り執務

日本銀行本店は二日類燒したが大したことも無く目下平常通り執務中である（午後十時五十五分着電）

大島沈沒（第二報）

伊豆大島は島影を水面下に沒して全然その姿を認めず（大阪無電午後九時五十分著至急報）

邦英王 身を以て遁らる

箱根宮ノ下富士屋ホテルに御避暑中の久邇宮邦英王殿下は同ホテルの大谷光演師夫妻と共に僅に身を以て遁れ御徒歩にて三日三島町に成らせられ沼津の三島館に入らせられた、

小學生壓死

神奈川縣小田原小學生は一日校舍倒壞の爲め二百名壓死した（午後九時五分著電）

丸ビル倒壞

東京驛前の丸の內ビルディング倒壞！死者約二百餘名を出した（十時十分著電）

東京郵便局 三日から事務開始

燒殘つた東京郵便局は三日から事務を開始した（午後八時半著電）

山梨縣被害 倒壞千五百戶

四日朝山梨縣警察部長發大阪府警察部長宛電報—縣下の災害に因り死者十七名負傷者五十三名行方不明一名倒壞家屋全潰六百十三戶半潰九百二十四戶床上浸水五十戶にて今尚倒壞續々避難民は續々としてゐる（午後四時半著電）

句佛上人無事

三日朝九時半京都東本願寺發表に據れば句佛上人一行は無事である（伊豆三島發四日午後八時半著）

客車全部燒失 東京上野兩驛にて

四日朝名古屋鐵道局著電に依れば東京、上野兩驛の客車全部燒失した損害莫大であると（名古屋電報）

一つの握飯を四五人で奪ひ合ふ 飢ゑたる東京の震害罹災民

【東京から下關へ達した電話】
東京驛前では炊出し避難民を設け七ケ所に一斗釜を据ゑ午前五時から午後十時迄間斷なく炊き出しをして居るが東京驛構內から宮城廣場一帶に亙り數萬の罹災民は夜の更けるを待つて市役所の正門前に押寄せ數丁に亙つて長蛇の如く列を爲し配給を待つて居る、二日夜の如き三十石の玄米飯は直に喰盡され飢餓に饑えた老弱男女は其數を知らず中には一つの握り飯を四五人で奪ひ合つて居る、三日中には千葉埼玉縣等から米三百二十俵搬入、干物其他を廣驛に輸送した同驛及び川口町驛には澤山の食糧品が積まれてある
註＝右は事變以來始めて下關と通話した東京電話である（下關發五日午前〇時半著電）

東神奈川全燒

横濱市は全燒し僅に殘つたのは南太田、大岡川の兩岸で東神奈川町全燒し渡邊市長はたぶん燒死したであらう

横濱市長死亡

横濱市長は執務中死亡した（午後八時著電）

博忠王御無事

御危篤を傳へられた華頂宮博忠王殿下は御無事であること判明した

横濱の避難民 續々神戶へ入港

四日朝數千の横濱避難民を乘せたる外國船續々神戶に入港しつゝあり（神戶電報）

眞二つに折れた兩國橋　東京兩國橋は避難民雜沓中眞二つに折れ橋の上にあつた二千名は橋の共に墜落慘死した

大震災と京城 物價は騰らぬ 三大商店の責任者はいふ

一日以來東京及び横濱を中心として起つた大地震、大火災の爲に食料品、日用雜貨品、家具、吳服物の價格に如何なる影響を及ぼすだらうか

食料品 辻本商店

先づ食料品に就て驛前米倉町辻本氏を訪ふ
『大した影響はないだらうと思ふ米は少々騰貴するでせう東京に米一升四圓云々とあるが之は一時的で例外でせう、東京や横濱にあつた食料品が無くなつたので當然でせう其中でも罐詰類の上がる事は免れないでせう併し今の處恐らく上がると云ふ噂だけで私としては現在の在庫品は從來の價格で販賣する考へです』

雜貨類 平田商店

日用雜貨及び家具に就て平田雜貨店支配人は語る
『今日の處東京、大阪から何とも通信がないので今後の値段に就て斷然としたことは云へませんが私としては大した事はなからうと思ふ、値上げした處で此の不景氣では買手も減る事ですからまあメリヤス位は上がるでせう私の店では大阪の主人から此の際値上するなと云ふ通知もあつたので在庫品は矢張り從來の通り販賣する考へです』

吳服類 三中井吳服店

吳服類に就て三中井主人は語る
『東京地方に火災地震があつたからと云つて吳服物は殆ど値上げする樣な事はないと思ふ、木綿類とモス類は少々上がるでせう絹布類の値上は全然ありますまい、京城に仕入れる吳服類は東京よりは僅で多く大阪と京都からですから影響は少いでせう、私は在庫品は從來の通りで販賣する考へです』

海軍タンク破裂 横須賀は三分の二燒失

飛行將校の報告に據れば横須賀市は凡そ三分の二位燒失し四日午前十一時頃海軍タンク破裂し黑煙天に沖して居る（午後十一時廿分著電）

鐵道無賃取扱

鐵道省では東京よりの引上民並に救護班の爲め東京に入る救護隊に對しては何れも無賃取扱ひをなす

動員令

◇陸軍大臣は四日豐橋第十五師團長に命令を發し東京及びその附近一帶の治安維持のため野戰重砲兵二個聯隊を小田原附近に出動を命じた
◇帝都並に附近一帶の治安維持の爲め三日夜八時津市の五十一聯隊に對し動員令下り直に輸送を開始した（名古屋電報）
◇戒嚴令布告の結果近衞第一の兩師團全部出動の外宇都宮、高崎、佐倉の各聯隊全部出動に決した

婦人の自殺相踵ぐ

罹災地では親子夫婦近親に別れた婦人の自殺する者相踵ぎ悲慘を極む（午後十時著電）

横濱の燒死者 十萬人を下らぬ見込み 警察部長も行方不明

横濱市の燒死者は最低限度十萬を下らぬ見込警察部長行方不明（午後八時著電）

東京震害慰問の托鉢（昨夜大和町にて）

寂しい花柳界 遊野郎も遠慮

京城の花柳界は今までは夏枯れ時と云つて多少の客足は減少しても秋の頃になれば客足も相當繁昌するであらうと樂觀して居たがそれもホンの瞬間の夢……今回の東京地方に於ける大慘狀を極めた大震災で官廳銀行會社は勿論のこと一般府民も號外を見る度毎に恰ら驚地獄の修羅場を目前に見るが如く孰れも遊びの色を湛へて同胞の身の上を案じ居るので宴會や女郎買の沙汰ではなく今月此頃の花柳界は淋れ方と云つたらテンデ御話にならない偶々登樓しても素見客のお茶代を出すか、さもなくば玉代のみの嫖客で大識遊びをする客もなく樓主側では毎夜大部の娼妓がお茶をひいて居るとは無理もないと諦めて居るとの事である、然るに如何した心得違ひか家庭に於いて蓄音機をかけたり、琴を彈いたり、尺八其他の樂器を鳴らして居る家が彼々あるやうである、殊に甚だしきは大道を高聲に放歌して歩く者もあつた、英國や米國などからまで深甚な同情を寄せられて居る我同胞の慘禍を一寸でも念頭に浮べたら斯うした事位は遠慮しても可さそうなものだと一部では非難の聲が高い。

三角章の慰問袋 小學女生徒に縫せて修養團から震災地へ

修養團京城支部に於ては今回の震災に依る同胞の慘狀に對し少からず同情を表し全鮮の團員並に希望者等から慰問袋を寄送せん事を計畫しキヤラコを購入の上三角章を入れたる袋約五千を府內各小學校に交涉し上級女生徒の手に依つて六日までに縫ひ上げ各支部團員に配付し應分の義捐を募り一纏めにして發送する計畫であると、

二百名の看護婦 昨夜東上す

東京地方震災救援の爲め奉天滿鐵病院稻葉院長は約二百名の看護婦を率ゐ四日夜九時半京城驛通過東上した

手を折らる 電車から出して

三日午後七時過ぎ新龍山行き電車一五四號が南大門郵便局前の停留場を發車して間もなく乘客の吉市町五七番地熊本新三（二三）が窓口より誤つて右手を出した處電柱にブツ打け腕節を外した

夜警費横領

府內黃金町三の三〇四番地挽子金斗煥（二二）は南山町二の二九番地阿部野吉三郎方に夜警に雇はれて居た際阿部の私印を盜用して夜警費百五十圓を横領費消したこと鍾路本町署に發覺檢擧された

すて兒

三日午後十一時頃府內蛤洞八六番地崔明煥方表門に捨子があるのを家人が發見し其筋に屆出たが生後二週間位の鮮女で多分貧困者の所爲らしいと

二新聞差押へ

五日發行の京城日々新聞及び朝鮮日報は治安妨害の廉により差押へられた

震災同情金（二） 內地

一金十一圓五十錢　シンガーミシン女學院
一金貳千圓也　黃金町三ノ一〇五　藤井寬太郎
一金壹百圓也　岡崎町大正コンクリート工業所　坪川寅次郎
一金五十圓　旭町三ノ一　しな家　若菊
一金五十圓也　南山町二ノ二七　[illegible]本

大同生命保險株式會社 第廿壹回決算報告（自大正十一年七月一日 至大正十二年六月卅日）
一保險契約高　壹億五千參百五拾六萬四百圓
一諸積立金　貳千八百九拾九萬五千五百圓八拾貳錢九厘
內保險契約利益配當準備金　參百五拾九萬九千貳百四拾參圓四拾七錢
◎利益處分
一當期利益金　壹百貳拾壹萬五千參百九拾九圓九拾參錢五厘
之ヲ處分スルコト左ノ如シ
金五萬圓　法定準備金
金五拾貳萬參千貳百四拾圓九錢　保險契約利益配當金
金貳萬貳千貳百圓　株主配當金
金六萬圓　役員賞與金
金四萬圓　使用人養老積立金
金參拾萬圓　別段積立金
差引金貳拾壹萬九千九百五拾九圓八拾錢　次年度繰越金
◎貸借對照表
資產之部 [illegible]
負債之部 [illegible]
大阪市西區江戶堀上通一丁目九　大同生命保險株式會社
取締役社長　廣岡惠三　常務取締役　松井萬緑　常務取締役　平澤眞　取締役　祇園清次郎　取締役　星野行則　營業部長取締役　城川善藏　監査役　廣岡久右衛門　監査役　岩田幸七　監査役　進藤隆之助
監査役廣岡久右衛門、岩田幸七兩氏滿期ニ付改選ノ結果何レモ再選重任セリ

◎産婆生徒募集　福岡市外水茶屋（麻生産院內）　認可福岡産婆學校

演藝案內
黃金館　松竹キネマ直營　每日晝夜　當る五日晝間より
英國ジョンテイペット映畫 風景絕佳一寶篇 赤倉のスキ 全一卷
思想劇 ランカシャー州の若き男女思想を晉子として作り上げた劇でブラックプールの美しい海岸線を背景とせる涼味ある映畫 全五卷 村の祭
○ウイタグラフ映畫 ウイリアム、ダンカン主演 大冒險大活劇 沈默の誓 全五卷 リチヤートデイックは父の仇を報せんと駒に一鞭砂塵を蹴り惡人の後を追うた冒險は冒險を生み鐵腕の勇躍所に起りまばたきする間もなき見るからに壯絕快絕なる冒險大活劇
松竹キネマ力作久保田久雄小川國松高尾光子米津信子共演 大喜劇 忍術ゴッコ 全二卷 久雄と光子は松と信子は頃日から習んでゐた虎の卷の秘訣を會得してそれは此の世の中にあるだらうかと疑はれるやうな大喜劇が潮の如くおしよせて來る 休憩奏樂長唄勸進帳松竹特作岩田祐吉栗島すみ子主演
南山美談 血染の軍旗 全五卷 敷島の大和心を人問はば朝日に匂ふ山櫻かな 明治三十七年の日露の役に[illegible]

京日案內　西洋料理 東洋軒 仁川宮町　都家歌六一行　浪花節　慈善小屋　拳骨漫遊　覆面の女　高給　株券　公債　電話　ほねつぎ　月賦　讓店　買入　採用　特別欄　バイオリン尺八 [illegible]

英國艦隊拔錨 [illegible]

魂の力 【第五十五回】

中川雨之助作 小寺柳村畫

肉の接觸

『あゝ苦しい』と、審一郎は兩手で瞼を抑へながらそのまゝそこの安樂椅子へ身を投げるやうにして横たはつた。

英子も給仕も行つて終つて、後には審一人が居殘るのみであつた。

『銀座で英子と牧田とに會つて、洋食屋へ入つて、それから自動車で此家へ來て、暗い室で強い酒を飲んで、それから苦るしい中を案内されて、こゝまで來のだ』と審一郎は今夜のことを頭の中で繰返してみた。それはまるで夢のやうでもあり、また現つのやうでもあつた。

その朦とした心持を照らすには相應しいやうな乳色の電燈が室内を染めてゐる。審一郎は、不圖手に握つてゐる二百圓の紙幣に氣が附いた。

『あゝ俺は英子から二百圓の金を借りたのであつた』この金を持つて歸れば、職工たちは何れほど喜ぶかも知れない、又妻もどんなに安心をするかも知れない。然うだ金さへ出來れば、自分は今、一寸も猶豫としてゐる場合では無い、早く持つて歸つて、皆を喜ばせて遣らなければならないのだ。だが併し自分の心持が、まだ此の金に對して充分の喜びと安心とを感ずることができない。何故だろう自身にすらそれは明瞭とは分り兼るが只そこには或る一種の不安が挾まつてゐるやうに思はれてならない。暗しい家の地下室、英子の醉態、牧田の態度、而して二百圓の金。やつぱり何となく不安心でならない。……が併し此金は、……

…職工たちの急を救ふてやるこの金は、めつたに英子に返して終ふ譯にも行かないのだ。たとひ少し位の不安を忍んでもやつぱり、借りて置かなければならない場合に切迫詰つた金なんだ……』

そんな事を思ひ耽つてゐる間に審一郎は不圖目身の肩先に、ある軟い而して柔らかい接觸を感じたのであつた。

彼は不圖首を廻らして後を見た

そこには何時の間に歸つて來たのか、英子が立てゐるのであつた。只立てゐるばかりなら宜いが、彼女の美しい右手が安樂椅子の後から彼の肩先へ置かれてゐるのであつた。

審一郎は心の中で思はずギヨツとした。果して豫期してゐた不安が事實となつて迫つて來たやうに思つた。で彼はいきなり英子を拂ひ退けて遣ろふかとは思つたが、しかし相手の心持も分らないので、暫らくぢつとして容子を考へてゐた。

『村越さん、あなた御氣分は如何』と英子は美しい笑顏で、斜に審一郎の眼のところを覗つめながら訊いた。

『有難う、よほど樂になりました』

さう云つて椅子の上へ起直る途端に、輕く英子の手を外すと、彼女は直に椅子の脇に廻つて、ぴつたりと審一郎に寄り添ふて腰をかけた。衣物を透して、肩と腰のあたりに温かい肉の接觸を感じるほどであつた。

『御氣分が宜いんですつて、それは結構でしたわね。私どんなに心配してゐたか知れやしないわ。私ねあれからまた牧田さんに勸められて彼方でお酒を飲みました。そうして舞踏を仕たものですから醉つてしまつてねえ、それは〱苦しいつて無いんですよ。あゝ苦しい。村越さんお願ひです。介抱をして頂戴よ』と云ふかと思ふと英子の體がグタ〱と審一郎に凭れかゝつて來た。その拍子に強い酒の香がプンと臭つて來た。

『そんなに醉たのですか何處が苦しいのですか。え〱』

知らぬ顏もして居られず。と云つて相手の體へ迂濶に手をかけてる譯にも行かず、審一郎は島渡當惑をした。

『氣が一番に苦しいの、心臟がこんなに躍つて居るのですもの、ちよいと押えてみて頂戴』

審一郎の右手は、早くも英子のために握られてゐた。そしてその手は早くも英子の胸の邊へ持つて行かれた。

短歌 尾上柴舟選

課題「夏季雜詠」……（六）

◇ 東洞 水鶴（開城）

大柄の浴衣纏ひてそゞろ行く君若々し夕ぐれの濱

米研ぎし汁とも見ゆる夏の霜直なり來り泡轟れにけり

◇ 大塚なかとも（京城）

柿若葉茂れる宿の夕明り雨はら〱と降りくるが見ゆ

噴水の飛沫にぬれてわがをれば虹明らかに我が前に立つ

◇ 小方 網生（京城）

打興し行く生徒らに少し遲れ汗拭ひつゝ先生の來る

雨上りしめれる畑の上にふれて苺は赤く熟れにけるかも

◇ 西村 桃花（龍川）

眼ざめたる朝の小床にアカシヤのにほひほの〱漂ひながれ來

初夏の陽のさん〱と降りそゝぐ硝子明るく窓の花さく

風ふけば窓の外高きポプラ木の葉ずれ涼しき夏の朝あけ

まぶしさこらへてあふぐ青空にポプラの綿は光り流るゝ

金谷里十首

京城 坪内 孝

九十九折坂登り行く自動車をあやぶみつゝも歌をおもへる

綿の花牛ばは朱にうつろひて夕風すゞし王陵の秋

たゞ六里都もさかるところともおもはれなくに金谷の里

服務あめにぬれつゝ咲く野薔を摘りて行けり思陵詣でと

やごとなき身もおほどかた八十と世をすゞしましけん端宗の妃よ

この杜よこのみさゝぎよ端宗が王妃の涙氷久につきなくふかみどり

洪陵の杜をすぎがてに栂のこして襲のたゞよふ

七代のみかどのみたまましづもりてゐますや山なみ見えてたらとき

王陵の松の木の間を墓守があけの衷の見えかくれする

紹の蚊帳を吊せるに似てねむの栞をもる〱朝日のかげに見入れる

定州俳句會（帆影郎報）

雨晴れて枝の淋しや鵙の聲 岱城
鳳仙花に夕日顏寄せに鵙 同
流るゝに任せて船や秋の川 陽澤
淡流に鵙鳴くうつろ心かな 同
秋の川水堰きて大根洗ひ絶 桂川
鵙鳴く夕日落ち居る雜木山 同
鉢棚に吸はれし鶏や鳳仙花 同
假橋の皆反る板や秋の川 西州
瓜紅し今日も來て居る揚羽蝶 古宇女
水底に藻の花ゆらぐ秋の川 同
唐辛子の赤き垂れる秋の川 沼蝦女
擦軍に草高々と渉る秋の川 同
秋の川水の畷さに魚釣る とみゑ
秋川や虫穴太き岸の杭 匠
曲り瓜の疵擦り流れ秋の川 すゞえ
秋の川鮫を距てゝ音ありぬ 同
落日の空莉として鵙鳴きに鵙 帆影郎
鳳仙花の螢と立ちゐる患者哉 同

川柳 井上剣花坊選

題『叩』……（七）

○ 城津 不自他

錠叩く我にも春の聞かき

○ 京城 紅雲

藍口を叩き表で謝罪する

手を叩くのみを無論強ひられる

○ 鎮二浦 金冠 鋭

叩くだけ叩いて刑事聞き直し

約束は肩を叩いて念を押し

振り袖は舞の形で叩く眞似

○ 京城 阿吳 太

論戰の煙管で叩く長火鉢

叩かれて腐れ卵の皮がむけ

佳作

○ 咸川 成 城

幾變遷してまた叩き大工なり

○ 戰 寧 雨 儀

お茶付を紙に包んで手を叩き

○ 新義州 胡 蝶

笑ひ顏兒を受取るに手を叩き

○ 京城 水 臨

牛盗人牛叩いても叩いても

○ 大 邱 鰈 栞

握手してそれから肩を叩くなり

高點

京城本町三の二三 寺田洸潮子

勝越しになるまで叩き返すなり

芽やなぎ川柳（八月例會）

…於本町三、本町市場…

題『想像』 寺田洸潮子選

想像が著じくつて匙を握き 靜の男
云ひあてゝ御覧と土産容 東平
想像のつかぬ娘を隠居連れ 赤島
顔色を見ては占卦を立て 五郎丸
あの人が來たなと思ひ默り 寒念佛
想像に行けば案外輕く出る 和泉守
想像の餘地も與へず銭を止め 平相國
色々と想像をして被告瘦せ 笛朗
幻滅を感じて弱く舞ひ戻り 雲風
打消して打消して文考へる 五鶴

五 客

想像のほど東京も剰らず 弓八郎
案じるまゝ想像に輿が乘り 赤鳥
手分もたあと想像の夜を白み 笛朗
水引の家内中の手を渡り 和泉守
想像に任せ悲劇幕を閉ぢ 笛朗

三 才

想像もつかず闇の夜は明ける 東平
想像の限りに非ず惚れた罪 五鶴
想像をしてゐる伯父の暗い顏 笛朗

軸

想像に任せて女神美くしい
想像に運ばず二人生きて居り

湖南吟社句集

既刊十四號に達し、益々奮闘しつゝある、湖南吟社句集九月號『夕立』の課題投吟者は、意外にも、六十六名の最新レコードに上り將來いよ〱發展の新機運を見るに至りたるを以て、斷然十月號より卅頁のことに決した。松の實誌既に廢刊を宣言し、一葉落ちて天下の秋を知るの時、同句集は全鮮俳人の好伴侶を以て任し、大に我が俳壇に飛躍の旗幟を樹立せんとしてゐる

課題吟 雞頭（三句）九月二十五日締切 短日（三句）十月二十五日締切

以上 作者配者、互選

近詠（無制限）

投稿所 忠南、大田榮町一四湖南吟社宛

新刊紹介

▲東京商業會議所報（八月）非賣品東京麴町區有樂町一ノ一東京商業會議所▲ゴム世界（八月）三十錢大阪市北區上福島北三丁目其社▲實業公論（國防問題=軍號）理想としては兎に角現實の問題として國防の充實が如何に緊要のことであるかは敢て論議の餘地がない吾々は國防問題を單なる軍事軍備の方面のみに限定したくない本誌は國防問題の研究を多くの國民と共に最初より對究すべく其の先驅たらんとして編輯されたものである（本號七十錢東京牛込區辨天町四實業公論社）▲努力（九月）純日本主義宣傳の本誌は蜷川、幸田、石川博士を始め松原、中村、後藤諸氏の有益な讀物を載せ人類最高の實務たる努力主義を遺憾なく發揮してゐる（四十錢東京京橋區櫻橋南側大日本努力會）▲農業世界（九月）私の見た農業教育（三吉博士）農村問題を提げて日本から米國へ（指田代議士）其他讀んで直ちに役立つ本誌獨特の實用記事が澤山載せてある（三十錢東京日本橋區本石町三博文館）▲美容之友=美容學鑑（古瀬醫學士講）美容術の歴史より化粧マッドの方法手段ニキビソバカスの療法に至る迄學理的に然も容易に役立つ有益な話を極めて平易に編纂したものである（三十錢東京驛前丸ノ内ビルヂング二五八クレオ研究所）▲美容之友=化粧科學鑑（客容主人講）婦人が美しい容姿を欲するのは無理もない事であるが眞の化粧を知らずに誤れる化粧をする者が澤山ある是非本書を一讀して其の組織より研究し容色花の如き天女の姿となられたい（二十錢東京驛前丸ノ内ビルヂング二五八クレオ研究所）

▲陰毛がぬけて仕樣が有りませんが何か良藥がありませんせうか（困り生）▲鹿兒島出身の醫學論前鹿新紙記者たる東禾島氏の手によつて鹿兒島評論が生れました當分月刊にて二十錢、鹿兒島市下荒田町五四鹿兒島評論社に申込んで下さい（竹中生）▲私は禿頭になる前は頭毛の粒が小さくなり近來旺に脱けますが豫防する方法はありませぬか（御頭生）▲本社代理部の物理療法でも脫け毛は止まるとの事です（係）

朝鮮信託 株式會社

◉營業科目 信託 金錢 有價證券 動産 不動産ノ信託預リ 代理 貸付 保管 其他一般信託業務

●營業案内進呈

京城明治町 電話一五九九番 仁川本町 電話一三二番

代表的商品 ソウル ユーニツク 自轉車發賣元 及各國自轉車並ニ附屬品一式 猶修繕ハ親切ト神速廉價

大高自轉車商會 京城明治町壹丁目 電話本局三〇〇四番

讓受開店廣告

弊店事今般市内本町三丁目増戸銃砲店ノ商品全部ノ讓受ケト同時ニ左記場所へ移轉從來ノ通リ營業開店致シ候間舊増戸商店同樣倍舊御引立賜ハリ度伏而奉懇願候

追而今回新ニ獵銃各種優秀品及獵具多數入荷致シ居リ候間何卒多少共御用命ノ程願上候

大正十二年八月

京城本町四丁目百五十一番地 宇野銃砲火藥店 電話本局二〇九二番

醫療化學諸器械一式 藥種賣藥卸商 Ⓚ 北島藥店 仁川本町 電話三四・三二番 北島藥店京城支店 京城本町 電話七一六番

特徴 京日特撰 靴

ボックス皮堅牢總ゴム底製にして特に底皮に木皮を使用したるに依り底換に際しゴム底との取換なり皮底との取換へなり自由にして他品に比し數倍の耐久力を有し體裁優美、堅牢無比なる特色を有す

東京内田特製（實用靴）

黒ボックス皮 編上靴 五圓
同 短靴 四圓五十錢
黒光エナメル付 編上靴 五圓五十錢
同 短靴 五圓
ボックス チョコレート色 短靴 五圓
送料一足四十錢

御注文の際は（足袋の文數）（靴の文數）特に御明記御通知下さい

京城太平通 合資會社 京日代理部 電話光化門四三〇番 振替京城二三〇〇番

內科 眼科 小兒科 本田病院 京城黄金町三丁目永樂町通り 院長 本田建義 附屬 京城肛門病痔疾療院 入院隨意 電話本局二〇九八番

仁川本町一丁目 朝鮮銀行仁川支店 電話（三一二番）
仁川本町四丁目 朝鮮殖産銀行仁川支店 電話（六二四・九〇番）
仁川本町二丁目 百三十銀行仁川支店 電話（一五〇八一番）
仁川本町二丁目 十八銀行仁川支店 電話（九一・一八番）
仁川本町三丁目 朝鮮商業銀行仁川支店 電話（四九八番）
仁川海岸町 朝鮮實業銀行仁川支店 電話（三三二番）

刻々肥る

強く育てよ

壯者も惱む暑熱にも
病魔の襲ふ隙もなく
健かに、にこやかに
丸々坊やは肥り行く

サラ〱とした粉末純乳

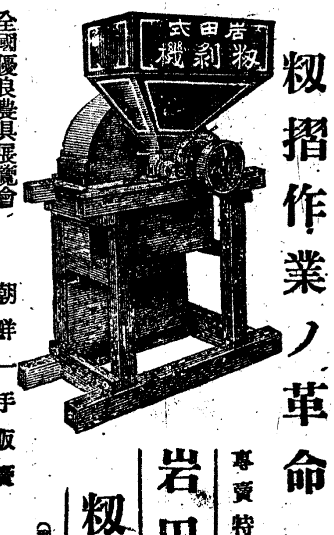
ラクトーゲン

近來類似品や模倣品が澤山現はれて居りますから御注意下さい

到る處の藥店食料品店に販賣す

イヌイ 本店 大阪市東區伏見町二丁目 乾卯食料品株式會社 支店 東京市丸の內ビルデイング内

籾摺作業ノ革命



專賣特許 岩田式 籾剝機 （登錄商標）

全國優良農具展覽會 金牌受領

朝鮮一手販賣 大東社商業部 京城府漢井通二ノ二七 電話本局七二二

朝鮮郵船定期

朝鮮郵船株式會社 京城 本局 電話

●京城代理店 黄金町 ●仁川出張所 海岸町 ●元山支店 ○釜山支店 佐藤町

釜山代理店 吉田運輸會社
釜山丸 九月十一日 大阪行
會寧丸 九月十 日 下關行
全羅丸 毎 日
鏡城丸 九月九 日 元山經由江原道行
咸南丸 九月七 日 慶北行
平壤丸 九月七 日 元山城津清津行
成鏡丸 九月九 日 濟州行
長淵丸 九月九 日 浦鹽行
雄基丸 九月七 日 浦鹽行

釜山代理店 大池廻漕部
昌慶丸 九月八日 濟州行
忠清丸 九月八日 大阪行
會寧丸 九月十四日 下關行
新義州丸 九月十三日 海州行
京畿丸 九月七日 北鮮行
咸鏡丸 九月十一日 雄基行
全羅丸 九月十二日 濟州島行
濟州丸 九月十 日 江原道行
浦河丸 九月九 日 濟州島行
海州丸 九月八 日 木浦行

木浦代理店 商船合名會社
昌平丸 九月七日 濟州行
新義州丸 九月廿五日 大阪行
統營丸 九月七日 釜山行
公州丸 九月十二日 濟州島行
興丸 九月十一日 多島海行
全州丸 九月八日 仁川行
濟州丸 九月十四日 新義州行
江原丸 九月十一日 濟州島大連行

仁川取扱店 堀田商會
濟島丸 九月十四日 濟州行
新義州丸 九月廿三日 大阪行
新興州丸 九月十七日 新義州行
全州丸 九月十三日 木浦行
宜濟丸 九月十一日 濟州行
江原丸 九月十四日 （靑島大連經由）
平安丸 九月十八日 （安東大連經由）

大阪商船出帆

仁川出帆
●大阪行（群山木浦經由）
×大信丸 月 日午後三時出
×天智丸 月 日午後三時出
△福州丸 月 日午後三時出
●南浦安東縣行
△東發丸 月 日午後三時出
△第七原田丸 月 日午後三時出

元山出帆
●淸津雄基行
新潟丸 月 日午後四時出帆
●釜山、門司、宇品、神戶、大阪行
交通丸 月 日午後五時出帆

大連出帆
●上海福州基隆高雄行（但し○印は靑島寄港）
京丸 月 日午前六時出
丸 月 日午後 時出

內地各港出帆主要航路

●歐洲行毎月十三回 ●南米行一年十回
●豪洲行毎月一回 ●北米行毎月一回
×印一等客船 △印船客御斷 ●南洋行同一回

大阪商船株式會社仁川支店 電話一貳・貳一〇・五五

京城 内國通運會社支店 電話七〇番
仁川 京城通り 旅館 電話二六番
事務仲次 仁川本町 堀田組 電話二八四番
荷扱 仁川港町 廣田組 電話四二一番

三菱商事 仁川出入

住 航

尼崎阪神行 長浦丸 九月三日 入港 出港
三瓶山丸 月日 入港 出港
大黑山丸 月日 入港 出港
鎭南浦行 長浦丸 月日 入港 出港

三菱商事株式會社船舶部 仁川代理店 浦崎商店回漕店 仁川本町四丁目 電話長五〇一〇八番

李王職御用 ▲總督府病院御用 模範 全乳 太正新報社主催 東亞牧場 （電話五二番）

五萬二千石 大阪より積出

英國艦隊

米國艦隊

安東から

廿五萬圓 京都府甲惠金

京城日報
夕刊

兩陛下攝政宮京都移御說

（大阪電報五日發午前十一時十六分著午後一時半）

震災の爲め宮城は大部分破壞され高輪御殿も燒失したので日光田母澤御用邸に御避暑中の兩陛下並に御避難中の攝政宮殿下には一時京都離宮に移御遊ばさるゝとの噂が一部にある

徴發さるゝ物件

【大阪電報】內務省令に依り徴發さるゝ物件は次の如くである
食糧品、飲料、薪炭、油、燃料、家屋、建築材料、藥品、衛生材料、船具、運搬具、電線、勞務

徴發令即時施行さる

【大阪電報】午後一時二十分著＝東京、群馬、栃木、埼玉、千葉、神奈川の各縣は徴收令を即時施行した

余の外相說は分らぬ
それよりも地震が大變ぢやないか
伊集院關東長官語る

【旅順特電】外務大臣候補として山本首相より交涉中の伊集院關東長官を訪へば『わしの外務大臣說か、そんなことは分からぬよ』と一種の默認態度だ『どうだらうよ』と破顏一笑し『夫よりも君關東地方は大變ぢやないか』と巧に話頭を轉じ『關東廳でも滿鐵やその他と協議して今回の事變に對し最善の策を講じてゐる三日夜原田秘書官を上京せしめたやうな譯だ』と憂色を面に現してゐた

今回の震災救援に對しては能ふ限りの力を盡したい
天機奉伺と內閣の諒解を得るため東上に際して齋藤總督語る

四日夜出發東上すべき齋藤總督は四日午後零時總督官邸にて往訪の記者に對し左の如く語る

新內閣に 對し朝鮮の諸問題につき諒解を得る爲東上しやうと思つてゐたところだが、今度の大震災が起つたので天機奉伺の爲め出來るなら今夜出發して東上しやうと思つてゐるところだ何分にも通信機關が殆ど杜絕の狀態にあるので果して實相はどの程度の慘害を被つてゐるか確實には判明せぬが新聞通信の報道に依ると報は一電報ごとに慘害の實に絕大であり慘狀を極めてゐるので何とも言葉では詫び盡すことが出來ないものがある次第である實はもう少し

交通機關 其他の實狀を確めて出發しやうと思つて目下大阪方面其他へ照會中だが未だ返事が來ぬがそれに依つて決定することになつて居るから果して今夜出發することになるかどうか今の所確定して居らない震災に就いては勿論公報と云ふものは一電も到着して居らなかつたが今朝始めて遞信局より無線電信で親任式執行の公報を送つて來たこれが內地震災發生後始めての公報である閣僚の顏觸を見ると遞相と法相とを田氏が兼任し遞相と文相とを犬養氏が兼任になつて居るところから察すると

親任式に 臨席不能 平沼岡野兩氏は出なかつたものであらう殊に兩氏とも行方不明を傳へられてゐるが岡野氏の如き屋敷は湯島の高臺にあつたのだから定めてひどくやられたことゝ同情に堪へない內地の震災に對し朝鮮としては出來るだけの援助をしたいと思つてゐる、他の方法も講じたいと思ふが差當り先づその第一着として雜米と木材とを送ることにした罹災者に對し當面の問題は何と言つても食糧で食糧と言へば米であるが米も玄米で送つては災害地ではどうすることも出來まい

大阪でも 東京方面へソウ澤山に精米を廻すことも却々に容易ではあるまいと思はれるが朝鮮はこの點に關しては日に精米七千石を移出さるゝといふ强味があるそれで先方の需要次第では出來るだけ送米して罹災救援の一助に資したいと思つてゐる實はそれに就て今日の局部長會議でよく協議調査してからその結果を携へて東上したいと思つてゐる

電報制限令發せらる
電報として東京に着するは緊急官報だけ其他は駄目

三日夜半大阪遞信局より朝鮮總督府遞信局に達した電報に依れば遞信次官は內地各遞信局長宛一通は無線電信に依り、一通は有線電信に依り左の訓令を發したが辛うじて其一通が大阪に着した

東京への公報中緊急のものに限り無線電信に依るものは橫濱附近の船舶、銚子無線又は磐城無線局へ發信ありたし有線電信に依るものは仙臺を經由して辛うじて一線だけ東京に着する事となれり市民の食糧品建築材料等生活必需品の輸送に關する公報又は重要國事に關する公報は重要極力通達の手段を講じ其他は受附方見合せあれ今日迄の停滯電報は此際電信にて送來すべからず

（右の訓令は第三號として發せられたものであるが訓令第一號及び第二號とも大阪遞信局に達せず）

東京大阪間の電報は仙臺經由の一線に依るのみ
但し大阪以東へは受附けても送信しない

東京大阪間の有線電信は既報の如く二日夜三十九回線の中唯一線だけ開通したが是も間も無く再び不通となつて了ひ目下の所東京大阪間の直通線に依る通信は全然杜絕狀態を續けてゐる譯である唯大阪東京間を連絡してゐる現在の唯一の電線は仙臺經由の一線丈であるが是は右遞信次官の訓令にある電報と私報は普通報も至急報も共に送信を禁ぜられてゐるから今日の所大阪東京間の電信連絡は全く杜絕して了つたのである唯ち京城から至急報で東京へ打電すれば電信局は至急報に限り受附けるけれど夫は大阪止まりとなつてそれから東へは送信されないのである大阪から向ふは郵便として輸送されるだらうと云ふ勿論遞信當局は極力是が至急復舊に努力してゐるけれど目下の混亂狀態では到底二日や三日で開通を見得ること困難である

日評壇

[illegible]には、今次の震災を御軫念せられ、御手許金一千萬圓を御下賜遊ばされた。誠に恐懼な次第である。

◇

[illegible]府も本年度豫算九百萬圓を支出することになつたさうである。無論巨額のことで足りやう筈は無いが、大きくに必要なる救濟費は支出するであらう。

◇

[illegible]殿下には、[illegible]を訪ふて、罹災民救濟に關し、種々の方策を樹つるやら、[illegible]たといふのも、殿下の忝なき御思召しに出でたものと拜察する。有司は必ずや至仁なる殿下の御心を體し、萬全を策して、罹災民の救濟を完うし聖上陛下の御軫念を安んじ奉るやう粉骨碎身するであらう。

◇

震災事務局臨時警務部長が、發表した所に依ると、山の手は被害割合に少く、下町は二分の一乃至三分の二は火災の爲め燒失、又市內の死者は概數二萬五千を下らず、負傷者は十萬以上に上るだらうとある。此の數は、既に遠いものであらうと思はれる。吾人の想像したる東京の慘害に比較すれば、死者の數の大分少いのは、[illegible]

◇

朝日新聞は、東京にて[illegible]聞いた時に、攝政宮殿下が自動車に召された[illegible]報道した、其記事の末尾に『御避難先が不明である』と記したのを『自動車にて行方不明となられた』と手前勝手に發表するなど怪しからぬ不敬事だ』と、朝鮮新聞は唾吐く。

◇

朝鮮のキョウケン新聞が、例に依つて吠えつくなと思つて他の事なら笑つて了つても可いのだが、此事はソウは參らぬ。由て一言申聞けて置く。今次東京の大地震の報が傳はつた時に、我同胞は、何よりも先づ皇室の御安否如何を御心配申上げた。其際『自動車にて御避難遊ばされた』と云ふ電報に接した者らには、寸時も早く此事を讀者に報道して喜びを分つのは、新聞紙の義務である。本紙が其義務を果したのが何で惡い。イヤ如何にキョウケン子でも、それが惡いとは云へまい。

◇

『御避難先が不明である』と書いたのを、無理にもじつて『行方不明』と云ふ、或不祥事を豫想させる言葉と、同樣の意味に解釋したのは、汝低能キョウケン紙として、近來の上出來。キョウケン紙の本分を盡したものと自惚れて居るかも知れぬが本紙讀者はキョウケン紙のやうに曲解はしない筈だ

◇

天變地變の場合には、屋外に逃げ出す際が危險であることは、誰でも知つて居る、攝政宮殿下が、既に屋外に立出で給ひ、自動車に召して御避難遊ばされた、と聞けば、國民は胸撫下して安心する。御避難先も明かに知り得たいのは申す迄もないことだが、其れが出來なかつたとて『行方不明』といふ言葉に含蓄する處の不祥の豫感は起らない。殊に文意より推すも、御避難先は不明である。といふのは、東京の避難者自身に不明であることを、明かに示して居るだけのことだ。これで何が不敬事だ。」

◇

朝鮮新聞は本紙を攻擊する爲めにして本紙が觸れもしない『行方不明』なる不祥な意味を與ふる文句を掲げたのは、何か胆に一物あつての事か、唯キョウケン新聞。

◇

それから本紙が、山本伯遭難說を報じたるに『暗殺』と称して居る。が本紙の記事の本文は電報を其まゝ『暗殺』としてあるが標題には『既死』と書いてある。標題の方が本紙で書いたのだ。ソレはソレとして、朝鮮新聞は山本伯の死云々と書いて居るのは何うしたものか『原敬氏は東京驛で兇客の手にかゝつて横死した』『横死』といふ文字はコンナ場合にも使へるのだ。何うだ低能キョウケン紙。

光濟丸清水へ急航
東海道線應急輸送に從ふ

遞信局では門司鐵道局の要求を容れ東海道線應急輸送の見込なきに依り清水、橫濱間聯絡輸送のため汽船光濟丸（一千〇十八噸）を就航せしむるに決し全南從泊中の同船に對し釜山へ急航すべき旨訓電を發した同船は四日午後四時釜山著直ちに清水港へ急航する筈である

定例局部長會議

總督府では四日午後零時半より各局部長會議を開催總督、總監列席下各局部長列席今回の內地大震災に對する米及木材等の送附方に付打合せをした

新內閣は荷が重い
大塚內務局長語る

內閣親任式も愈々去る二日に行はれた由であるが閣員の顏觸れを見ても實に立派なものである。唯問題は政黨との關係如何で樂觀するかそれとも政黨を紛擾するかの限りではないが、それに次いで今回の內閣で[illegible]あつた。これが亦一に今回の震災に據らねばならぬ所で山本伯としては此相當の手腕を見せるであらうが而も今回の內閣に此の震災を解決して貰ふには實に理想的で求め得ない大閣であるから外務大臣としては果して山本伯が兼攝するかそれとも他に入閣を見るかは豫想し能はぬ所であるが伊集院氏外務大臣の如きは最も朝鮮と關係があり是非とも有終の美を濟して貰はねばならぬが山本伯としても其邊は充分諒解して必ずや其閣內の効果を擧ぐる事と信じ大いに期待して居る次第である。云々

七月中朝鮮對內地貿易概況

本月中朝鮮對內地貿易額は移出一千四百八十萬餘圓、移入一千三百三十三萬餘圓、合計二千八百十四萬餘圓で前年同月に比し移出百九十三萬餘圓、移入二百八十四萬餘圓合計四百七十八萬餘圓を增加した、而して一月以降累計額は移出一億三千四百八十四萬餘圓、移入八千九百七十八萬餘圓、合計二億二千四百六十二萬餘圓で前年同期に比し移出一千六百四十七萬餘圓、移入百四萬餘圓、合計一千七百五十一萬餘圓の增加を示し貿易の概況は移出超過四千五百六萬餘圓で前年同期の出超二千九百六十三萬餘圓に比し著しく增加を告げて居る。翻つて本月中對內地貿易の內容を觀る移出では米、大豆、肥料に於て各五十萬圓乃至六十餘萬圓を減少した。次るに繭の取引期間であつたから同品二百三十三萬餘圓の增加を示し繭絲（輸入滿洲繭）牛、生絲、魚類、木材等も各二十萬圓乃至五十萬圓近くの增大を示した。次に移入では米、鐵、生金巾等減少を告げたが綿織類三十八萬餘圓の增加を筆頭に綿絲（セメント）鐵管鐵板、機械類等增加も稍著しく綿餘の諸品も概ね入增を呈した。

總督東上

齋藤總督は松村秘書官並に屬等を帶同今回の大震災に對し天機奉伺と後繼內閣に朝鮮の諒解を得るため四日午後十一時五十分京城發列車にて東上の豫定

御見舞の電報
平南知事より

【平壤】米田平南知事は三日宮內大臣宛左の見舞電報を發し天皇皇后陛下並に攝政宮殿下に執奏方電請した

東京地方未曾有の大慘害にて宮城の一部其他宮殿にも御災害ありたるやに拜承恐懼憂慮に堪えず謹みて御見舞申上ぐ右宜しく御執奏を乞ふ

震害救恤米
仁川割當決定

救恤米割當決定するや總督府農務課三井技師は京城穀物商組合長天日常次郎氏を伴ひ三日仁川に向ひ同地精米業者と會合割當決定、兩氏は直に群山に向行せるが右割當米は五日中に受渡を完了せしむる筈である仁川に於ける主なる割當は左の通り

八百石	齋藤精米所
六百石	加藤精米所
五百石	力武精米所
五百石	朝鮮物產會社
五百石	奥田精米所

內閣々僚公報

（大阪發電午前十時五十四分至急電報）

大阪遞信局着公報によると親任式は二日に行はれたが內閣々員其他の顏觸左の如し（既報再錄）

總理大臣	山本權兵衛
外務大臣（兼攝）	
內務大臣	後藤新平
大藏大臣	井上準之助
陸軍大臣	田中義一
海軍大臣	財部彪
農商務大臣（兼任）	田健治郎
司法大臣（兼任）	
遞信大臣	犬養毅
文部大臣（兼任）	
鐵道大臣	山之內一次
書記官長	樺山資英
法制局長官（留任）	馬場鍈一
警視總監（留任）	赤池濃

平沼岡野兩氏行方不明

【東京電報】司法の平沼騏一郎文部の岡野敬次郎兩氏は行方不明の爲め田、犬養兩氏が兼攝したものらしい

震災と鮮滿財界
滿洲救濟資金貸出は中止せぬ
鮮銀理事 井內勇氏談

今回の關東地方大震災の財界に及ぼす影響に就ては其の被害程度が判明せぬので全く豫測する事が出來ぬが新聞電報の報道する通りであるとすれば無論甚大であると思ふ、何分東京方面とは聯絡杜絕の狀態で詳細な事情を知る事が出來ないので觀測を下すにも殆ど見當の付かない、從つて朝鮮方面に對する影響如何に就ても豫想する事は出來ぬが鮮銀としては滿洲救濟資金として政府から鮮銀及東拓を通じて融通する事に決定してゐる二千八百萬圓は既に決定通り近く第一回を實行する事となつてゐる、今回の震災に依り其の貸出しに支障を來す事となるだらうと觀察する者もあるが是は既に確定した事であつて近く實行に著手せんとしつゝあるのだから之を中止する樣な事に決して無いと思ふ、又其出先に就ては既に夫々融資を行ひ前途に見込のあるものを救濟する方針であるが近く片山理事も歸鮮する筈だから其の上で打合せを行ふ事となつてゐる、自分も東上の豫定であるが何分立往生の姿となり暫らく形勢觀望の態だが一兩日中には何れとも決定する筈だ

仁取總解合

仁取仲買組合に於ては四日午前八時半より取引所樓上に臨時總會を開き坂倉委員長より本日も臨時休會の旨を述べ續いて三期總解合の件に付協議する處ありし議論百出容易に決せず結局投票を以て賛否多數決を採りしが其結果總解合の賛成者多數を占め直に解合値段の協定委員として賣買雙方の仲買員中より三名を選むで協定する事となつた

出張命令（四日附）

總督府技師 富士岡重一

歐米各國へ出張を命ず

人事消息

▲宵木波三氏（總督府專賣局長）臺灣に出張中の處四日朝歸任
▲志賀潔氏（總督府醫院長）四日朝東上
▲切山篤太郎氏（辯護士）八月初以來內地へ旅行中の處二日夜歸城

村上博士講演
公會私會

來る五日より南山本願寺に於いて開莚の豫定であつた村上專精博士の佛教講座は今回の東京大震災のため來鮮不能となり延期の止むなきに至りし由、何れ博士と交涉の上再開期日を決するであらう

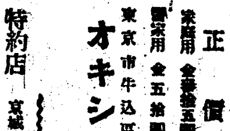
千中樞院參議逝去

朝鮮總督府中樞院參議正六位千章郁氏は豫て病氣療養中であつたが九月一日午前十二時全北高敞の自邸で逝去され、同五日午前十時出棺邑內里號亭で永訣式を擧げ、午後一時高敞面德山里前麓に安葬の筈である。氏は往年韓國に於ける親日派中錚々たる有志家で併合後朝鮮統治に寄與するところが多かつた。

茶話

齋藤總督は內地の震災に對し、天機奉伺と、新內閣に朝鮮諸問題の諒解を得るため、今夜東上の豫定だが▲四日午後零時新聞記者の一團が面會を求めるとほんの立話ならと極めて快よく總督は語る▲局部長會議を開く前の至つて僅の時間しか持たぬ人とはとても思へぬ程總督は記者に如何にもいゝ感じを與へた▲總督曰く、朝鮮としては內地今回の震災に對して出來るだけのことを盡したい▲僕の東上か、他ではない天機奉伺と新內閣に朝鮮諸問題の諒解を得る爲めであるが▲震災救援は僕が一人東上したつてどうすることも出來ないぢやないかと▲大塚內務局長曰く山本內閣は政黨關係だが、內閣が出來た、問題は政黨關係だが、政黨なんか潰滅す位の勇氣が無くちや駄目だ、と言ふ可からざる大氣焰

オキシヘーラー
科學的治療器



邦文第二十號 英文第六號 最近 實驗例贈呈

▼本器は生活體の基本である細胞を刺戟し、直に心臟の働きを强く正しくする。これ血行の旺盛、呼吸の深大、溫度の增加等、自然生活力の整調を促し次いで食慾の增進、便通の快通、安眠、解熱、鎭痛等を來して、種々なる疾病を根本より驅逐し、またこれを未發に防ぎ得るのである。
▼本器は磁氣を應用せる科學的治療器にして、使用簡單、效力永久不滅なれば、器械購入以外何等の費用を要せぬ
▼創製以來十年の歷史と數十萬の愛用者を有するは本器の誇とする處である

正價 家庭用 金參拾五圓 送料內地金三十六錢 營業用 金五拾圓 送料內地金七十二錢

東京市牛込區神樂町一丁目一番地
オキシヘーラー獎勵會
電話牛込四四一二〇四・一二〇五番 振替口座東京二七七一番

特約店 京城府貫水洞四七番地 白石元喜

英・米・佛 西・瑞・牙 中華各國 專賣特許

洋鐵鋼鐵道船舶土木建築材料其他工業諸器械附屬品商
角野商店
釜山本町（電話二三番 振替京城二三九）

一、鋼鐵 六千五百枚
右鋼鐵ス拂ニ付九月五日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ラルヘシ
朝鮮總督府

●各種絹絲製造卸
名古屋市南區巳町 中島商店

新型で品質良く價が安い
パイン萬年筆
京城本町二丁目 パイン萬年筆製作所

旗幟幕袢天
工場大擴張
營業所移轉
京城黃金町五丁目七番地
龜屋染工場
電話本局一五八二、一七八五 振替京城四三八四
電車花園町停留場

時代の進歩に伴ひたる皮革界の驚威
◎文化皮革の出現（專賣特許出願中）

本品は今般拙者發明し（目下專賣特許出願中）たるものにして經濟と實用とを兼備し今回廣告の爲各位へ極々元價にして提供致候間左の用途により是非一度御試用被下度奉願候

本品特徵
一、價格の低廉なる事約皮の五分一
二、强き事は皮革の數倍
三、使用極簡易素人の裁縫に適す
四、如何なる物にて摩擦するも變化せず
五、防水、防寒用最適品
六、幾年使用するとも變化の憂なし

用途
座蒲團用 運動靴 鞄及袋物 溫突用紙 防寒手袋 ゲートル 防水防寒衣服
下駄（表）類 足袋類 テーブル掛 椅子臺 寢臺及帳 製本表紙 其他各種

特約店募集 各部府一名限り見本入用の方は郵券拾錢送附を要す

朝鮮文化皮革製造所
精巧社
電話本局一八一一番
京城府古市町十四番地

地震計に現れた
大震害の狀況
約十七八回に亘り
繼續時間一時間半

釜山測候所の地震計に現れたる東京附近の大地震の狀況は既報の通りであるが一日正午から三日正午迄の地震度數及其程度は左の通りである

一日午後零時零分三十一秒、烈震大、繼續時間長し但し地震計の針器をはづれ觀測し難きに至りたる時間二時間に及ぶ
同二時廿五分稍大、時間約卅分間
同三時廿二分　小　約十分間
同四時四十分　大　約四十分間
同十時五十七分　小　約七分間
二日午前六時五十四分小約三分間
同十一時四十九分大約一時四十分間
指針器をはづる
同午後六時二十九分稍大約廾分間
同六時五十七分　小　約十分間
同十時五十分　小約二十分間
同十一時五十九分　小　約八分間
の十一回にて其他の微震を合するときは約十七、八回を算せられた併して初期微動繼續時間は約一時間三、四十分に達して居る

羅南師團から
四十萬石の白米
を東京に向け發送した

陸軍大臣の命に依り第十九師團は四日白米四十萬石を東京に發送した、五日淸津に於て軍艦に積込む豫定である（羅南電報）

京城府から
救恤金二萬圓
三日協議會で決定
一般に義捐金を募集

今回東京方面大震災に鑑し京城府に於ては三日午後四時京城俱樂部に協議會を開き救濟方法を協議したが府費より二萬圓を支出すべく決定、一般市民の義捐金をも府の名に於いて募集する事に一決した、而して既に自發的に府廳に取次方を依頼せるは左の如し

△金一千圓　旭町千代本　葉山フミ
△金五十圓　旭町一　靑木福司
△金三百圓　旭町白水　新田耕市
△金五百圓　旭町白水　嘉多タネ
△金三十圓　旭町白水　仲居一同

赤十字朝鮮本部から
罹災者救援に向ふ
志賀博士を主班とする救護班を編成し今朝東上す

日本赤十字社朝鮮本部は內地大震災に於ける罹災傷病者の窮厄に同情し急遽救護班を編成內地に派遣救援に努むることゝなり朝鮮總督府醫院長志賀博士指揮の下に外科醫四名、眼科醫一名、看護婦長一名、看護婦二十四名、事務員二名及び糧食其他衛生材料を携帶今四日午前十時京城驛發急行列車にて出發せるが驛頭には龍山陸軍佐藤軍醫正、佐々木事務管事、大塚本部職員其他の見送り盛んなりし由

愛婦で
義捐金募集

日本赤十字社及愛國婦人會朝鮮本部は內地大震災罹災者の窮厄に同情し全鮮社員會員其他一般有志の同情に訴へ廣く義捐金を募つて此の災變に對する同情の誠意を表することゝなり各道支部長、本部役員、會員一般へ寄附金の取纒め方を依頼すると

朝鮮軍から
糧食米を輸送す
三日より四日にかけて

陸軍大臣よりの電命で朝鮮軍より糧食米六千石（內京城より四千石平壤より一千石羅南より一千石）及罐詰一萬貫（內京城八千貫平壤二千貫）は三日夜より四日朝にかけ何れも軍事輸送列車で東京に向け發送した

東京の空は
火炎天に冲す
名古屋師團から
朝鮮軍司令部への情報

第三師團參謀長より朝鮮軍參謀長宛三日午後一時に無線電信で左の公報があつた當地（名古屋）被害なし二日東京と連絡飛行の結果左のことを知る宮城田母澤御用邸無事東京市內燒失せぬ處は牛込四谷小石川の一部青山大通以北のみ深川區部は海嘯にて大被害市內戒嚴令布かれ横濱横須賀全滅二日午後も地震止まず箱根以東に通ずる交通殊に東京の空は火炎天に漲り航行不能三日天氣悪しく連絡不能、伊豆方面の被害救援の爲第十四師團より步兵衛生隊出動す箱根通信線架設の爲め工兵出動した

鴨綠江材の
買占めは斷る
採木公司の當事者語る

帝都及神奈川縣一帶の大震災と共に建築材料の暴騰すべきは豫想に難からざる所であつて當地鴨綠江材も亦過般の水害流失と流木不況に加へ這次の震災の報傳はるや市況は早くも各手持筋の買惜みとなり強調を呈して居るがそれかあらぬか京城某新紙には在東京某商社は此際鴨綠江材の買占めを行はんと計畫ありとの報を揭載したので其眞否につき當地採木公司を訪へば某當事者は語る『內地大震災に依る建築材需要激增の結果鴨綠江材側の昂騰は當然なから某紙の傳ふる如き一手買占めは到底不可能であるのみならず通信機關全く杜絶の今日斯かる情報を得られない、假りに右樣の大口相談があるとしても此の有史以來の大災害に際し買占めの暴利を貪るが如き不德の行爲に對しては全然拒絶する考へである』と（安東）

材木を買占む

滿洲の木材十五萬本を買ひ占めた商人ありと（羅南電報）

救恤品無運賃
滿鐵で震害救急の議纏まる

滿鐵會社にては內地災害に對する應急策として三日重役會議を開き左の通り決定した

一、滿鐵單獨に行動せずして關東廳及大連市役所と協力して應分の金品の支出を爲し救濟に盡力する事
二、滿鐵會社より輸送の救恤品に對しては社線の無賃輸送をなす事
三、醫師及看護婦、神戶、大阪、東京等の事務補助者に社との連絡を圖る爲め入江理事佐藤安東地方事務所長、牧野社友課長外二十二名は三日夜三列車にて朝鮮經由東上せしむ
四、會社は食糧品其他建築資材の爲め必要あらば大連汽船の汽船を特別に仕立て提供すること

救護班として尾見大連醫院長引率の下に約二十名位を以て治療材料携帶東上せしむること

以上の外滿鐵會社としては支社職員及社員の內地居住家族遺族の爲め救恤等に對しては相當便利を計る事にした

救濟打合のため
京鐵次長東上

京鐵局よりは罹災者救濟及び運輸連絡其他事務打合せのため次長黑澤明九郎氏外三名は四日夜本社入江理事一行と共に東上する

無賃輸送取扱
救恤品に限る

神戶鐵道局長より京鐵局長宛電報で鐵道省にては震災地救恤品にしても無賃を以て取扱ふことにした

東京行き旅客
切符發賣制限

【門司電報＝京鐵局入電】沼津以東及び中央線甲府以東は震災のため不通當分開通見込み不明につき該區間旅客手荷物及貨物の取扱は之れを停止した尚名古屋より鹽尻、高崎を經て川口町まで行くことを得るも東京市內は戒嚴令布かれて檢査官憲の嚴査を經るにあらざれば入市絶對に出來ざるを以て右の條件を具備せるもの以外の旅客に對しては東京附近乘車券發賣を停止した

陋巷の一鐵工から
二千圓を罹災者へ
黃金町三丁目の藤井慶太郎氏
人情紙の如き今日の美譚

黃金町三丁目百五十番地藤井慶太郎氏は內地の大震災に同情し二千圓の慰藉方を本社に依頼した、氏の住宅は黃金町本通の裏手の露路で溫突建の蘇葺屋根の小さな家である、それでも家に這入ると小奇麗で立派な佛壇が飾つてあるのが目につく『私は鐵工を業とする者でした、其關係上機械に趣味を有つやうになりました、數年前郵便局の……から遞る行囊の封鎖が手で造つてゐるのを見て、これを機械で造つたらよからうと思ひ立つて、封鎖の製造の機械を考案しました、それで遞信局の方にズツト納めてゐましたけれど競爭者が出るので儲かりません……が此度のやうな災害で東京邊りの人はどんなに苦しんでゐるだらうと思ふと實に氣の毒で堪りませんので二千圓だけ寄附したいと思つて御社に御願ひした譯です……私の家庭ですか、妻の露子と二人きりです』と如何にも朴訥な態度で語つてゐたが人情紙の如き今日實に奇特な人である

大井工場全滅

大井工場は遂に全滅した（大阪至急電報）

我國は世界第一の地震國
激震の前には必ず若干の微動あり
震災に對する注意

今回の東京地方の震災に因らず凡そ或る事項に關する常識を必要とするが『轉ばぬ先の杖』とやら一旦災害に遭ふた不幸を見ても豫め之が防止に就いての智識を蓄へて置く必要がある、我國は世界無比の地震國で伊太利や南洋諸島と比べても決して劣つては居らず土地が陷落したり、龜裂を生じたり、人畜を損失したりする破壞的地震は一ケ年乃至二年に一回は起つて居るが地震の震源地は太平洋の海底が多い然るに一般の地震に關する智識は頗る幼稚なもので震災はどうしても免かれることが出來ない運命とあきらめて居るのは誠に遺憾千萬であるから此際震災豫防の心得を書いて見る

地震は初めと終りに强く中頃が弱く雨は終りに强く地震は初めに强いと昔から云つて居るが之れは大體に當を得たものである、併し地震では最も激しい地震の襲來する前に若干の微動を感ずるものである、この微動は强震の際は著しく感ずるが餘り强くない地震では之れを感じないこともあり平頃から感ずることもあるから初期微動の大小に依り地震の程度を略想像することが出來從つて沈着な人は初期微動中に充分適當な處置を執ることが出來る譯である明治二十七年の東京の大地震は震源が最も近い龜井戶方面であつたが十秒の初期微動があり同二十四年の濃尾の大地震では岐阜で約七秒の初期微動があつた、かやうに初期微動は主要動の來る前に七八秒間は繼續するので此時間は普通の速さで約三十間を走り老人や子供でも尚十間を歩むことが出來る大激震の場合は假令初期微動でも實は微動でなく屋壁を毀す器物を顚倒する程の破壞力を有つて居るから大激動の來ることを察しても歩くことが下手であると避難することは出來ない震動する時の歩み方は膝節を固くすると人體全部に激動を受けて立たれないが膝と腰とを屈めて爪先で立ち且つ膝及び腰の關節を緩めれば自由に步行が出來る電車に乘り吊革がなくとも此要領を心得て居れば決して顚倒するやうなことはない、地震來を知つた時は先づ火災の原因となるべきものを注意し、之を取除くか、消さなくてはならぬ、若し之れを怠ると自分丈けは危厄を免れても他に災害を及ぼすことが多いからである、若し初期微動が急激で最も激動が切迫した時は顚落物に懸念さること等の危險を冒して戶外に出るよりは寧ろ室內の安全な所に止まつてゐた方がよい倒潰家屋內に避難者の壓死するのは多く梁木顚落に基くものであるから避難する時は机とか寢臺とか顚落物や梁木下の家落を支へることの出來る器具の傍に潜るとか屋內に井戶があればその中に避難するのもよい、大震が終ると無數の揺り返しが發生するが避難者は神經過敏に陷り善後策を講ずることを忘れて徒らに恟々するが揺り返しの多いのは漸く靜謐ならんとする前兆であるから決して恐るべきものでない

材木は出來る丈け安くする

【安東縣特電】當地木材組合では內地大震災に依り勢ひ建築材の暴騰を憂ひ可及的安價の材木を供給すべく三日總會を開き目下採木公司に交渉中であるが公司側でも機宜の策として之れに應ずべき模樣

高等御旅館　愛媛館　元山海岸通　電話長二三三番　六一八番

映寫幕

拳骨漫遊（喜樂館）暴之助の得意の冒險ものである、外に實寫『瑞西湖の實況』連續活劇『復讐の女』四卷、ハルロイド主演滑稽活劇『豪勇ロイド』二卷、純映畫劇は山本小輔鈴木小柔出演の『淺草小唄』六卷。

南山美談（黃金館）明治三十七年の日露の役に勇名を馳せた山縣軍曹の悲壯な物語り、ウイタグラフ映畫ワイリアムダンカン主演の映畫『悪魔ゴッコ』等

震災地方への
郵便は引受けぬ
遞信省から各遞信局へ
引受中止せよとの命令

震災地方に向けての郵便はがき、小包、書留、電信、電話其他總ての郵便物の引受けを中止せよとの命令が遞信省から三日各遞信局に發せられた

京城當局談　右に就き京城局の當局者は語る遞信局は管內郵便電信局に之を通達した未だ何等命令には接して居ないが或はさういふことになるかも知れぬと考へてゐる

倉橋事務官の第一公報
高麗、景福兩船で
江尻 横濱 間を連絡す

震災地に向け總督府事務局國友課長と同行出發したる文書課倉橋事務官よりの第一公報は左の通りである（下關發三日午後十一時着電）

◎昌慶丸よりの無線電信に依れば四日朝より高麗丸、景福丸は交互に運行し江尻、横濱間を連絡する趣き
◎沼津以東の鐵道線路は二日夕燒東は被害甚大なる爲め今の處け線なく現在調査中なるも修理を了し本線の全通するは年末であらうと
◎下關にて各種の情報を得たるも出所不明につき省略す

村上博士講座開筵

延期の處博士入城に決し豫定通り五日より開筵仕り候也
南山本願寺

攝政宮殿下山本伯を召され
優渥なる令旨を賜ふ
官民協力して機宜の處置を執れ

攝政宮殿下は山本伯を召され三日朝赤阪離宮て左の御沙汰を賜ふた（大阪電報）

今回稀有の大地震東京及び近縣を襲ひのみならず大火を以つてして損害甚大なることは誠に國民生活の不幸なり余はその實情を見聞して日夜憂慮し之を痛む茲に內帑を頒ちてその苦痛の情を慰めんとす官民それ協力して適時機宜の應急の處置を爲し以て遺憾なきを期せよ

慘澹たる大震災の跡

飛行隊に命じ
慘害模樣の報告書を
日光田母澤に齎らしむ

二日午前一時栃木縣官吏は危險を冒して上京し田母澤御用邸の兩陛下御無事の旨を攝政宮殿下に言上した、尙ほ宮內省では所澤飛行隊に命じて東京市內の慘害模樣御報告書を日光田母澤に齎らした【長野電報】

聖上の御安泰は
限ない喜びてあらねばならぬ
菊池大將謹んで語る

東都大震災突發と共に朝鮮軍司令部では菊池司令官以下參謀朝鮮軍幹部は引續き深更まで軍司令官々邸に集合し只管兩陛下、攝政宮殿下始め各宮殿下の御安泰を祈り情報を得ん爲め凡ゆる方法を講じてゐるが四日早朝第十三師團參謀長より軍參謀長に宛て別項の如く飛行機より報告あつたのみである、四日菊池大將は憂色を眉宇に湛はせ沈痛な口調で語る『色々と電報を得るに努めてゐるが其意を得ない自分は彼のポーツマウス事件の際は東京衛戍司令官として親しく警衛の任に當つたが其ことゝ今回の出來事とは異り想像だに及ばない、宮城の一部炎上の報に接し畏れ多くも兩陛下御身邊に萬一の事がなからん事を切に御祈り申上けて居たが天佑を保有される聖上陛下始め攝政宮の御安泰に渡らせられる事を拜聞し國民の喜び限りない次第である此上は御負傷の各宮殿下の一日も速かに御快癒あらんことを願うて止まない。』

赤羽で
六百名慘死
東京專賣局倒壞

大地震で倒壞したものゝ中、東京赤羽專賣局工場倒壞の爲め六百名慘死した。

驅逐艇三隻
震災救援

朝鮮始めての感化院

……て頒布されたものでこれは內地の感化法に則り作成されたものであ……

朝鮮赤十字社の救護班出發す

震災地方へ
侍從御差遣
兩陛下震害御軫念

兩陛下には今回の震災を深く御軫念遊ばされ速川端、岡本兩侍從を二手に分れて東震災實地見聞を仰せつけられ、尙ほ別面へは夫々見聞の爲め御使を差遣はさ……

死者概數二萬五千名
負傷者は十萬を超えん
馬場震災事務局總務部長發表

馬場震災事務局總務部長の發表に依ると被害狀況は山の手は割合に少く下町は全滅の狀態で市內二分の一乃至三分二は火災の爲め全滅し京橋日本橋深川神田下谷淺草本所の一部芝の半分麻布の一部麴町の半分小石川の三分一は火災のため約三十五萬戶を燒き官街としては高輪御殿內務大藏文部農商務遞信の各省警視廳其他帝大商大中央明治日本の各大學全燒避難民は市內公園に避難し宮城を解放して避難民を收容して居る市內の死者は概數二萬五千名を下らず負傷者は十萬以上に上る見込みである

御內帑金拜受
赤阪離宮にて山本伯へ

御內帑金一千萬圓は三日午後一時攝政殿下より山本伯が赤阪離宮て拜受した四日午前十一時四十分着電（大阪電報）

女子職業學校生徒
三百名壓死す
三階建校舍倒壞し

神田一ツ橋の女子職業學校は三階建木造倒壞し女學生三百名無慘の壓死を遂げた

被服廠で
一萬人燒死す
避難中延燒の爲め

本所被服廠內の空地一萬坪に殺到した一萬餘の避難民は延燒の爲め僅に二百名內外を除き他は悉く逃場を失つて燒死した、

月島橋墜落し
數千名死亡す

月島には目下三十萬人の避難民が集まつてゐるが月島橋が落ちた爲め一時に數千人死亡した

東大の
寶庫燒失

大地震と同時に東京帝大理科學建築物に飛火し東大の寶庫たる圖書館も全く灰燼に歸した

追濱航空隊
全滅

横須賀鎭守府佐世保東京所着電、今回の震災に依り橫須賀追濱海軍航空隊は全滅し飛行機數十臺は機影をも認めざるまでに損害を蒙つた

辯護士會で
義捐金

京城內地人辯護士會は震災の救恤に對する打合せをなすべく、四日總會を開くことゝなつた、總會の結果義捐金を募集して避難民に送る計畫であると

福田大將が
戒嚴司令官

福田雅太郎大將は關東戒嚴司令官に任命された、

校長排斥

臺燒失

英國東洋艦隊司令官
英國支那艦隊を廻航し
內地震災救援に向はしむ

過日仁川に入港中であつた英國東洋艦隊司令官アドミラル、サー、レビソン氏は二日齋藤總督を訪問し、今回東京地方に起つた大震災は實に未曾有の大慘事で友誼上之を坐視するに忍びないから何でも命じて貰ひたい、如何なる事でもして御援助申上げたい……と申入れた、齋藤總督も其熱誠なる好意に對し深く感謝し色々考慮して見たが如何ともし難きものあり三日下仁艦隊を訪問した際の話で同艦隊は解散して派遣すると云ふ譯に行かぬので上海碇泊中の英國支那艦隊デスパッチ號を急遽日本に向け派遣すべく命令を發したと、米國大統領クーリッヂ氏よりは御見舞の電報を送つて『……若し貴國罹災民の困苦を減少する途あらば如何なる努力をも惜む所に非ず』と言つて居る、彼と云ひ是と云ひ友邦の厚誼に謝するに餘りありと謂ふべきである、

中部より挫折す
避難民墜落慘死す
兩國橋重量に堪へず

東京兩國橋は橋上に約六千人の避難民が集まり混雜してゐたが重量に堪へず中央より折れ大部分の避難民は墜落慘死したと、

伊豆大島が沈み
島民全部溺死したとの說

今回の震源地たる伊豆大島は全島沈下した爲め島民全部溺死したとの說もあるが消息不明の爲め詳細は分らぬ

大島に新島顯はる

千葉縣警察部の報道に依れば伊豆大島の南方に新島出現し大島は新島に遮られ見えないと、一說には大島は陷沒した爲め見えざるに至つたのであると噂されてゐる。

元山の發展策奈何（上）

朝鮮大豆の集散地たらしめよ 檢査は廢止か全道共通を圖れ

「元山」へ船からする者汽車からする者の何れを問はず一歩元山を踏んだ最初に受くる印象は『無活氣な寂寞的氣分』で從つて『何んとか發展策を講ぜざる限り元山の將來は誠に寒心に堪へない』との感を抱かざるを得ないと言ふに殆ど一致する樣である。外來者にして既に然りである況や元山在住者にして聊かでも具眼の士は既に早く此點を痛切に感じて居るのである。實際に現在の元山は不景氣のドン底にある、經濟界極度に沈滯し從つて市況萎靡として振はず此の儘にして進まば其の前途は憂し推して知るべきのみである、中頃同年紀念公友俱樂部の如き深く此の點に留意し市況挽回將來の發展策に付いて種々研究實施しつゝある樣であるが一般商工界に在つても頻りに此の事が叫ばれつゝあり『此の際何んとか方策を講ぜなくては』と言ふので過般進忠太郎、龜谷愛介兩氏の發起で元山官民各方面の士を商業會議所に招待して『元山發展策』に關し協議會を開いた發起者側に於いても別に具體案があつた譯では無く廣く衆智を聚めて活路を求めやうとの趣意の集りで席上種々の議論や意見も出た樣である、結局其の會として龜谷愛介氏の發案で所謂『元山大豆』の集散に對し當局に向つて或意味の保護方を要請しやうと言ふ事になり將來の發展策としては岩中氏大氏の意見で港を生命とする元山として不合理にも從來極めて冷淡に放擲はれ勝であつた水産方面に向つて一大發展策を講ずると言ふ二點を根本とし其他各方面に其振興發展策を講じ全市一致の發展策に努力すると言ふ事に意見が纏まつた樣である大豆に付いては咸鏡南道に於いては大豆の品種改良の爲め嚴重なる檢査規則を設け移出の際に對しては檢査を施行して等級を定め等外品は絕對移出を禁止して居る然るに需要地である大阪方面に於ける朝鮮大豆の實際取扱の狀況は右檢査の如き何等の效果をも收めて居ない、斯くの如き有樣であるから一般生産者も元山を經て移出せんとせば檢査の結果或は不合格品として一文にもならぬ樣な場合があり且つ包裝も正規の奴を要し經費が嵩むに反し、之を仁川、木浦、群山等を經て移出する場合は極めて無雜作に移出が出來頗る有利であるので自然元山港を厭ひ、從つて元山の市場は衰微して行く一方で市況に及ぼす影響も決して少くない、故に此際出來得べくんば該規則の廢止又は全道共通にするか、然らずんば其の取扱を今少しく寛大にして貰ふべく道當局に陳情すべく今や新設州の開港を目前に控へて斯る問題であるので其後更めて同業者のみの集會を催し審議の上商業會議所として十分に骨折つて貰ふ事に決し不日道當局に陳情する事になつて居る。

木商對採木公司 紛糾近く解決せん

商業會議所の調停を信頼して 決議を取消し操業開始

【安東縣】安東木商對採木公司との爭議問題は金井商業會議所頭外數氏の肝煎にて漸次融和されつゝあるは既報の通りであるが木商組合では商業會議所よりの勸告を諒とし去る一日午後五時より臨時總會開催協議の結果從報の如く前決議を取消し所謂結束を緩めざる程度に於て操業を開始することゝし左の通り決議した

決議

一、當組合は採木公司の原木値上げに依り採算不能に陷りたる爲め製材其他木材業の作業を一齊に休止すべく決議し今日迄之れを固守し來りたるも安東商業會議所の勸告に基き該決議を取消し爾今各自作業を開始すること同時に會議所をして公正なる調査を遂げ木商の安定を保つべく極力盡力されんことを依頼し且つ組合自身としても益々結束を堅くし其の目的を貫徹すべく最善の努力を盡されんことを期す

右に依れば一時形勢不穩を呈せる本問題も組合側の操業復活と共に漸次融和の曙光を認むるに至れると共に又各方面よりの居中調停は時に奏効しつゝある模樣で左しも紛糾せる本問題も遠からず解決するであらう

善後策 協議

【安東縣】安東商業會議所の勸誘に依り前決議を取消し一齊に操業を復活せる當地木商組合では之が善後策に就き去る三日午後三時より會議所に於て更に臨時總會を開き協議したが要は今後組合としては水害に伴ふ救濟策及今後一般のシンヂケートを組織し採木公司よりの當材購入の便に供し以て可及的採算可能の方途に出でん計畫の如くであるが組合員中には相當有力不穩衝等の議もあり結局議決に至らずして散會した組合としては飽迄本問題の目的貫徹に邁進し善後策を考究する筈で會議所側でも之れが調停に關し目下各方面の調査を進め以て圓滿解決につき努力して居る

記者大會準備

【釜山】廿六日芳千閣に會合の結果決定せる共進會期中に釜山に全鮮新聞記者大會開催準備に關しては二十八日午後四時から事務所たる各新聞社上會議室にて各委員總會打合會を開いた結果

一、十月十日午後二時から停車場ホテル廣間にて大會開催のこと

二、同午後六時からホテルにて懇親會を催すこと

三、十一日午前十時から停車場構內第二會場を見失より汽船にて牧の島第三會場に至り更らに汽船にて松島遊園地に至り同所にて中食（共進會の招待）夫れより再び船にて南濱に上陸第四會場、第一會場の順序にて共進會觀覽後芳千閣にて饗宴（協贊會招待）のこと

の三項に決定し京城記者團に內交渉を進むると共に共進會協贊會に本案を具して協議を進むることゝなつたが來會者の顏觸は一流釜山記者團に於て手配し京城記者團に人員の斡旋を依頼する筈である

製材協會設立

【新義州】新義州の製材業者、販賣人及び木材關係者を以て組織してある木材商組合は改善の必要を唱へられつゝあつたが今回新に製材協會を設立し之後は極々協定單價を發表することとし今回の第一回をば

▲杉松挽材小割一才二斤十一錢五厘▲紅松挽材小割同十四錢以上▲板材等林廠の單價表に據る

として製材商品の品位材質及び製材結束の規格を定め左ぐ統一し商品の改良を計る目的の下に毎月數回會員各工場に就き指定せる製品を持ち寄り全員立會ひの上品評會を開催する事となつた、

鐵道貫通期成會が 經費負擔から惡化

問題外の問題を持ち出して騷ぐ 些々たる感情を去れ

【公州】忠淸南道に於ける京慶鐵道貫通期成會は本年二月京慶線の貫通達成を期する目的を以て組織し之が經費の捻出に關し內鮮人側は從來の例に徵し醵出を肯せず一時行惱みの狀況であつたが郡當局の斡旋の結果總經費約金七百圓の三分の一は內地人其三分の二は鮮人側より醵出することに決したので然るに內地人側は四百餘圓の醵金を見たが鮮人側の醵金困難で郡當局も極力之が督勵したけれども地方金融不振の折柄とて僅かに負擔額金四百七十圓の內四百四十八圓餘の醵集を見たに過ぎず爾來各方面に運動を試みたが遲々ながら不成功に終つた而して其郡度郡は委員を督勵し數度の會合には郡守又は庶務課長出席し常に地方發展上是非之が實現を督勵した所が總督は意外に惱み千四百圓を寄贈したので之が善後策に關し去る十六日內地人實行委員會を開き中村庶務課長郡守に代つて出席し不足額金五百圓の支拂方法に就て協議し委員側は之を鮮人側の負擔となさんとの意見であつたが同會長は郡守と協議し前に醵出した四百七十圓の醵集すら困難の上に更に五百圓を追加負擔せしむることは今日の狀況では到底不可能事と信ずる旨答へたので委員側から本年度に立替運動經費其工事全部を本期成會に於て請負其金額を以て補塡すること又は郡の公金より一時流用せられ度こと等の協議を受けたが同會長は其不可能なるを力說し一應斷つたので郡守の私宅を訪問したるも同樣不可能の旨答へたので同日夕新更に庶務課長宅を訪問し既定鮮人側醵出金四百七十圓を一時融通せられたき旨を述べ同課長は委員の窮狀を寃に見るに忍びざるものあるを以て暇郡守と協議の上三百二十圓を大川鮮人實行委員に貸與し之に醵集せる百四十圓と併せ四百七十圓を內地人側委員に交附した以上の如く郡當局は議殿のことに對し誠意援助努力をなしたが十七日夜突如在住民大會なる名の下に內地人約三十餘名は大川新治所に寄集運動費の決算報告をなし又た郡當局の態度の終始曖昧を缺き官民一致して當るの誠意なきものと認むとの決議をなし學校組合管理者中野元三氏は誠意なき郡守の監督を受るを好まざるが故に管理を辭し以て郡當局を排斥せんと總辭して以て管理者を辭するの聲明をしたので學校組合會議員常務委員中野以下五名も之に同同し袂を連ねて辭職した郡當局が出來得る限りの援助と努力とを惜まなかつたことは事實明かで今後得たるものであるにも係はらず今に至つて新に斯かる問題を惹起すが如きは常識を以て律し得ぬ行動で殊に何等關係なき學校組合管理者及議員辭職云々を持ち出して學校組合そのものを問題の渦中に投じたことは自治團體に對する恥ずるなる侮辱であると共に拭ふべからざる汚點を印したもので延いては教育に影響を及ぼすが如きことあらむか實に由々しき大問題である地方開發の先覺者として一般鮮人を指導すべき內地人が些々たることから斯かる脫線的行動を爲し地方の平和を害するが如きは遺憾の極みであると言はねばならぬ

北滿行（十一） 川村生

呆けない旅

是非操け四日間の滯在は一日の晴れ間を見ただけで三日は降り續けられ雨に來て雨に歸る。何んと云ふ物淋しい旅であつたら、物足りない不得要領の裡に再び東支鐵道三等寢臺車に乘込み長春迄して引返した

今度は至極平穩無事何等被害も不安もなく翌朝長春驛構內食堂で朝飯を喫しすぐ滿鐵線に乘換たが未だ滿洲線の水害は耳にしたが私の新義州に大洪水のあつたことは知らずにゐた、然し何となく不安ではあつた。奉天驛には長春から打電して置いたので舊友大井二郎君が出迎へてゐて異れた大井君は十年前からの知己であり先輩である私の在京時代は何に彼と世話を掛けたが其後本社に就職するに及んで遇然の機會で再會の機を得た夫れは昨年私が新義州に特派された際八年振りで再び手を握り合つた時のことだ今は四人のお父さんとして大阪朝日の特派員として內外共に頗る圓滿な家庭の人である

奉天で初めて本紙を手にした、今まで汽車不通の爲め何處に行つても見られなかつた故もあらう本當に懷しい味を覺えた、そして西鮮一帶の大水害も私の緊張である平北道が一番手酷く被害のあつた事を知つた、今はヂッとしてはゐられなくなつた、尤も私の不安を知つて本社では洪君を特派して報道は遺憾なく盡されて居るがそれにしても默つてはゐられない、直接夜行で歸る事とした哈爾賓以來寺田君は胃腸を害して兎角氣分が優れないので何時何處で下車させられるか解らず隔週間の無い安靜が多少不安であつたが其心配も徒勞で翌朝無事新義州に歸つた。不幸奉天城に張作霖軍を訪問する事も旅順大連の視察も大井君との懷舊談も一切萬事休止せざるを得なかつたのは頗る遺憾であつた。全く今回の旅行は雨の哈爾賓に數日滯在したといふに過ぎなかつた、歸つて見ると新義州の水害は我々の想像したほどのものでは無かつたが郡部の被害は空前の出來ことであつた、がそウ一通りの報告は濟んで居たから何だか物足りぬ氣持がする、一旦我家に休憩した寺田君は次の汽車で歸城した。私は庭に咲いた夢の樣なコスモスの花を眺めつゝ今回の旅行を頭に描いて見た、仕も忘れ物がある樣に物足りないアツケなさをしみ〴〵堅え淡い悲し味が込上げて來てならない丁度親しい人と汽車でスレ合つた後の如に……（完）

普選問題で 學組議員連袂辭職

決議は單に議員の意見であると 普選決議の握潰しに憤慨して

【清津】清津の學校組合會議員は昨年三月頃より組合會員の選擧權（負擔三圓以上）を擴張し、組合費を負擔し獨立の生計を營む男子に選擧權を與へんとする旨主張し居たるところ本年二月二十六日の會議にて此れを決議したのである然るに現管理者たる木村府尹が清津の現狀より時機尚早しとの見解の下に此れを其筋に申達せず握り潰しと爲し道當局も亦組合員には決議權はあつても案權は無しとの理由で此の決議は單に議員の意見と云ふに止まるとの見解を下し居るのに憤慨し組合員は今回其の決議の不法にあらざる旨辯明書を發表し同時に全議員（一名の旅行不在者を除く）は連署を以て管理者まで辭表を提出した

慶南教育會生る

【晉州】豫て道當局に於て計畫中であつた慶南教育會は今回愈成立を告げた。會員は兩知事を始め各部長參與官、各課長其他道內各學校職員合計約九百名で民間側よりも相當に入會者がある。會費は年額四圓と會則に規定されてあるが本年は既に年度半を經過したるを以て其半額二圓を徵收し來年度は地方費より少くも一千圓の補助がある筈であるから會員の負擔は年額三圓以內に輕減さるゝ筈である今秋釜山に於て道內教育會の發會式並に總會を開き各役員の選擧を行ひ講演其他の催しがある筈である因に本會の事業は大體左の如くである。

一、教育に關する意見の發表

二、教育及學務に關する事項の研究

三、教育上必要なる事項の調査

四、教育に關する雜誌の發行並教育上有益なる圖書の刊行

五、回覽文庫の設置

六、教育上功績ある者の表彰

七、教育學術に關する講演會又は講習會の開設

八、社員教育に關する施設又は之が指導獎勵

九、朝鮮教育事情の紹介

十、教育關係者共濟の施設又は其の斡旋

十一、學術調査又は研究の目的を達する爲め必要なる會員の派遣

十二、其の他本會の目的を達する爲め必要なる事項

光州刑務所狀況

【光州】光州刑務所大正九年度の事業收入は一萬千八百六十五圓十年には二萬八千八百五十八圓餘十一年は三萬七千八百九十三圓十六錢となつた該務所では作業獎勵の爲め事業販路の擴張に努め不利なる事業を止め有利なる事業の大擴張を行ひ本年は相應工業施設設備等を增設した結果受刑人員の減少にも拘らず事業收益は增加して四萬圓を突破せんとしてゐる現在在監人員五萬六千二百四十五圓だが之と收支償ふのも近き將來であらう

本社支局主催 大田少年庭球大會

榮なる優勝旗は遂に小學校忠組の手に歸す

【大田】我社大田支局主催に係る第三回優勝旗爭奪大田少年庭球大會は豫定の通り二日午前九時から我社大田支部コートで舉行した、此の日朝來より薄曇りで風少く絕好の庭球日和であつた、定刻前木氏審判にて小學校普通學校組に依つて開始せられるや、觀覽者は四方に集つて中々盛況を呈し各選手夫々奮戰に努めたるも普通學校は惜しくも二組不戰一組を殘して勝つ、第二回戰は大田中學校、小學校（友組）普通學校小學校（忠組）であつたが中學校優勝三組、不戰三組、小學校（忠組）優勝三組不戰三組の大スコアーを以て大勝を博した最後の決勝戰は中學校軍及び小學校の御大忠組で校內は一段の緊張を增し中學軍は觀覽者數に應援團員は小旗を手に應援して勝敗一戰を合唱し小學校は開會の際と拍手を以て選手を激勵した此試合は稀れに見る白熱戰があるので觀衆は片唾を呑んで開戰を俟つ國田氏正審、白井氏副審にてフレーを宣告すれば拍手各所に起り觀衆は渡れん許りであつた、試合は漸々と進み小學校軍は藤井、田中組の優退であるのに中學軍は藤井田中組に當つたが一セットを得たるのみで藤井、田中組の勝ち當るべからず遂に優退二組をも殘して名譽の勝冠は小學校忠組の手に歸した斯くて角田本社支局長より優勝旗並に銀メタル其他副賞を各選手に夫々贈與して午後五時無事此の大會を終了した戰蹟は左の如くである

第一回戰

小學校（孝組） 普通學校

齋藤、前田二…三高貞夏、申昌均

中、堀米一…三鄭貞變、申昌均◎

渡邊、近藤〇…三朴相吉、李龍周

石塚、若森一…三朴相吉、李龍周◎

中島、岡本〇…三金禧成、金先童

角田、港三…一復烘朴、龍根

角田、港〇…三徐白鶴、李石俊

（不戰）小學校（友組）金號俊、朴元龍

大田中學校 同（忠組）

第二回戰

小學校（忠組） 普通學校

◎藤井、田中三…〇鄭賀夏、申昌均

藤井、田中三…〇朴相吉、李龍周

◎井原、秋津三…一金禧成、金先童

草野、塚原三…二徐白鶴、李石俊

◎草野、塚原三…二復烘朴、龍根

山本、永山（不戰）

清水、古津（不戰）

小學校（友組） 中學校

後藤、正村一…三佐藤、十川

松江、田中〇…三佐藤、十川◎

網島、岡崎〇…三平田、駒田

案西、士師〇…三平田、駒田◎

中島、松山〇…三辰巳、長尾

田島、水上〇…三辰巳、長尾◎

（不戰）村田、齋藤 別府、德永

決勝戰

中學校 小學校（忠組）

佐藤、十川〇…三藤井、田中

長谷川大森〇…三藤井、田中◎

辰巳、長尾三…〇井原、新津

辰巳、長尾三…〇花田、國領

◎村田、齋藤三…一山本、古澤

平田、駒田一…三草野、永山

別府、德水三…一草野、塚原

別府、德水〇…三寺井、田中

辰巳、長尾二…三寺井、田中◎

村田、齋藤一…三寺井、田中

鮮人巡査採用の途を拓くのが急務である

福岡縣の鮮人勞働者は約七八千人 門司水上警察署長 佐藤勇氏談

【釜山】六日から旅順にて開催の警察官會議に列席の爲め三日夜釜山上陸七時半發北行した門司水上署長佐藤勇氏は同樣府內務所に休憩中往訪の記者に左の如く語る目下福岡縣內に在住する鮮人の數は最近多少の減少を來して居るし且常に出入が頻繁であるから正確には分らぬが約七、八千の處で其中門司に在住するものが一千六七百名に達して居る一般的の氣分の影響から昨今彼等の生活も相當緊張を受け徒食して居るものも相當の數に上つて居る樣であるから從つて種々の問題を惹起する動機も多くないと思はれる斯かる場合には一層彼等の所有性である徒黨的說話が多く取締上にも一層苦心を用ひて居る取締上關係たる警察官の如きも相當の鮮人を置いて少しでも其間の誤解を解く樣にする事が必要と考へられるが不幸にして現在では未だ一人も鮮人警官の採用された先例が無いので是非共定例を開くに努力したいと思つて居る虎疫の豫防については第一警手として豫防注射より外に途はないので旣に福岡縣內に於て約七千餘人に對する第一期の注射を實行したが幸ひに今の處では其傳染を認めない門司と釜山は一衣帶水の關係にあるので之等の點についてもより一層の連絡が必要で隨時に色々打合せもして歸りたいと思つて居る。

水産共進の 龍宮閣

浦島の如に客人を優遇

【釜山】水産共進會に開期中の呼物とするべき一大水産會堂たる龍宮閣は當初協贊會の直營とする筈であつたが中途から個人の經營者に依託することゝなり釜山勞働共濟會木村淸氏と交渉中であつたが別項の通り協贊會より四千圓の設備費の補助を得全く無利の立場を離れ同氏の考案により其經營を委ぬる事となつたが建物全部を龍宮城になぞらへ中央を洋式大食堂とし演舞場を設け其兩側は全部日鮮、支の料理を集めた各種の食堂とし四季の風景によりうどん、そばの類に至るまであらゆる好みを足せしむるの設備とし中央演舞場には露西亞美人十名、內地美人十名朝鮮美人十名、支那美人七名、樂隊八名を雇し交代で常に餘興を演せしむると共に食卓の給仕に當らしめ恰かも浦島が龍宮城の夢に耽つて居るやうな具合にする趣向である

國境庭球大會

町田組優勝す

【安東縣】當地滿留須運動具店主催に係る國境庭球大會は去る二日公會堂コートにて開催された七十餘組頗る大接戰で近來稀な盛況を呈したが結局新義州營林廠町田、今田組の優勝する所となつた

大田の野球戰

清州軍破る

【大田】大田運動俱樂部對淸州野球團の親善試合は二日正午より滿鐵大田運動場グラウンドで淸州軍先攻にて開始した、大田軍戰始より意氣甚だ揚らず爲めに淸州軍の乘ずる處となり淸州軍は第一回に二點第二回に四點を得たるも大田軍は一二回とも凡打三振に終り第三回も意氣揚らなかつたが第三回陳容漸く整ひ辛くも一點を得第四回より打者よく效に四點を得第五回に一點を淸州軍第六回に二點大田軍第七回に一點、第八回に一點淸州軍二點、大田軍第九回に二點を得て同點となり延長試合に入り淸州軍一點を得たるに對し大田軍二點を得效にゲームセットを宣し十二A對十一で大田軍の勝利に歸した時に午後三時

米作七分減か

【大邱】東拓大邱支店管內の移民及び小作料の徵收入は平年作約三萬石の見込みなるが本年の作況は植付後雨天多く且つ氣溫低下の爲め分蘖並に發育を妨げ其後天候恢復したるも昨年同樣の發育を見るに至らず現今の見込みにては七分減收穫の見込みなり灌漑水は高原地方の一部を除くの外は比較的潤澤にして今後一兩回の降雨を見るに於ては穫實に支障を來すが如き事なかるべしと

優良小作人表彰

【大邱】東拓大邱支店にては鮮人小作人中の成績優良なるものを本秋表彰する豫定にて目下夫々調査をなしつゝあり

傳書鳩の試驗

大石警守備隊附屬鳩田軍曹は飼育中の傳書鳩を携へて卅一日來營小學校に於て市民一般の爲に一場の講演をなし最後に數羽を飛翔せしめた（營口）

元山佛教各宗蹶起

震災地慰問の爲め 三日から總出て托鉢

【元山】我國有史以來未曾有の大慘事である今回の東京附近の大震災に付て其罹災者に對しては何人と雖も滿腔の同情を注いで居る處であるが元山佛教各宗聯合會では逸早くも之等罹災者に對する義捐金募集を目的として三日夜から各寺住職は勿論寺所小僧さんに至る迄總出で震災地慰問托鉢を開始したが一般は之に對し進んで淨財を喜捨して居る

虎疫豫防注射

【第二浦】當地へ入港の汽船の大部分が南支方面に關係を有せるを以て第二浦警察署にては上海方面に虎疫發生以來細心の注意を拂ひつゝあつたが同地方の虎疫未だ終熄せざるに平壤を中心として水害後の衞生狀態未だ充分ならず既に腸チフス其他の傳染病流行の徵があるので若し此の際虎疫等の發生を見んか往年の如き大慘事出來せんも計られずと三菱側と共力して四日から六日間出入船舶に關係を有する者其他に對し豫防注射を行ふ事となつた。

電話醜事件無根

【平壤】三日付朝鮮新聞地方欄に『平壤電話寄附金募集に醜事件か』と題し當附金募集に奔走した加入者中の有力者某々等が自己の計算を胡魔化して醵出金を免れ知らぬ顏を極め込んで居る云々の記事を掲載してあるから同社平壤支局長西米路君に質すと自分は全然與り知らぬと意外の面色にて言明するから當時の責任者としては理事會長森田吉君旅行中である爲め同氏と共に奔走した橋本右一君に質すと同君も憤慨しつゝ當時の帳簿類を出して其正當なるを示すから記者も之を驗算すると何の一切上切捨の外又一點の疑念を挾む餘地がない而して當時奔走したのは評議會であつて森、橋本、西米路の三氏が奔走をなし中途西米路君は病氣で缺ける事はあつたが該記事に依ると募集に奔走した加入者中の有力な某々とあるが、西米路君は電話の加入者でなく森君は既設加入者で今回の分には關係なく顏し語ると橋本右一君を目標として書いたものらしく同君は勿論支局長たら西米路君も非常の迷惑を感じて居る橋本君の如きは官廳の豫算による寄附額の如きは當時借入金をなして一時の繕ひを付くる等森氏と共に多大の苦勞を嘗て居る斯かる架設功勞者に對し酬ゆるに餘りに慘酷であると一般は同情して居る果して何人の說に成れやは吾人の推知し得ざる處であるが關係者にも質さず斯かる部落根性の投書？を掲載するは平和の攪亂者である云々と某有力者は語つて居た

特産陳列常任理事會

【大邱】全國特産品陳列大會大邱協贊會常任理事會を三日午前十時から大邱府廳樓上で開會道當局者の臨場を乞ひ各種施設上に付協議した

理髮學修會發會式

【仁川】內鮮人六十餘名の會員より成れる仁川理髮學修會發會式は仁川署衞生係警部米飛務醫官仁川病院長代理新聞記者等十餘名來賓の下に司會者の開會の辭來賓の祝辭會則の協定各代表者の祝辭等がありかくて學修會の萬歲を唱へて式を閉じ一同は豫て設けられたる東洋軒の饗宴會に臨み午後二時散會した

自動車開通祝賀

【忠州】久しく懸案であつた忠州堤川間自動車道路決潰の爲め自動車の交通杜絕し居た處北漢嶺の工事完了と同時に忠北鐵方面より堤松方面よりとの間に自動車の開通を見たるを以て邑內官民有志は近く自動車開通祝賀會を舉行すべく目下計畫中なりと（堤川）

夏期講習延期

慶尚北道金融組合聯合會の事業として九月三日より一週間陝川郡海印寺に於て夏期講習會を開く豫定なりしが會場の都合により無期延期となりたり（大邱）

修養團講習會

慶尚北道社會部第二回修養團講習會は十四日より二十日迄一週間豫定で尙山北面金龍寺に於て開會十四日迄田知事開會の訓示を與ふる筈なるが受講者は府郡各郡の推薦生二名宛合計四十八名なるが講師は金參與官、蔡內務部長、蔡計會課長高嶺社會課長、高木大邱商等普通學校長、尾石鮮銀大邱支店長、吉田牧師、佐藤大邱日本基督教會牧師、東拓大邱支店長其他にして其起居時間割は左の如しと（大邱）

▲午前六時起床▲午前六時半より同七時半迄運動▲同七時半朝食▲同九時より正午迄講演▲正午中食▲同一時半より四時まで講演▲同六時夕食▲同七時より懇話會其他▲午後十時就寢

衞生宣傳活動寫眞

【城津】咸鏡北道主催の腸チフス豫防宣傳衞生活動寫眞開催の爲め本道より山崎石丸の兩氏本府警務局衞生課太田氏等二十八日來城二十九日午後八時より旭町普通學校で開催した觀覽者一千七百餘名に達し盛況であつた因に屋外に於ける活動寫眞は當地にては初めてであつた

女子普校移轉

大邱公立女子普通學校は從來西千代田町にありしが昨年中より元旭町の第一小學校々舍を買ひ受け修理の上移轉する事となり營繕工事中なりしが漸く竣工したるを以て第二學期始めより移轉する事に決し一日より移轉に着手し兩三日中新校舍に於て授業を開始すべし（大邱）

補助金下附

大邱常成會、尙善會、安東戰西會は共に慶尙北道に於ける免囚保護事業に從事する團體なるが九月一日附を以て常成會に一千圓、尙善會に二百圓、鮮西會に百五十圓を免囚保護事業補助として總督府より下附の指令ありたり（大邱）

東拓社宅上棟式

新築工事中なりし東拓大邱支店の社宅二棟三戶は去る一日午後上棟式を舉行した全部の落成を見るは十月末であらう（大邱）

地方人事

▲松本誠氏（全北內務部長） 三日京城よりの歸途本社大田支局に立ち寄り東京方面に於ける震害の狀況を聽取し午後二時大田發列車にて歸任（大田）

▲松井大邱府尹 事務打合せの爲め出城中の處四日午後歸任（大邱）

▲三浦秀次氏（安東地方事務所地方主任） 動務演習に應召五日より二十六日迄遼陽へ（安東縣）

▲若き人、獨身の人は讀むべからず！

柳亭種彥作 戀のぬれ烏（艶本入）

▲絕本の秘書……

特價金壹圓四十錢

▲裸體美人寫眞無代進呈

發行所 東京麻布區霞士見町六 振替東京四貳四五七番 愛文社書

眞寫機械材料（目錄進呈）

釜山本町一丁目 岩瀨寫眞機店 電話七五 振替七八五

仁川㊄取引店 壽 金榮俱樂部 龍山京町 電話龍山三一七八

京城南大門外 小兒科 內科 久保田醫院 電話本局一三三七番

魚釣具 投網

各種捕魚用 カスミ網

京城永樂町二丁目 卸商 吉備商會

チエロ化粧料卸商 卸小賣共御申越次第定價表進呈

人體營養の素 ヴイタミン ABG含有 ウイタシユム 百瓦入二圓五十錢 千瓦入十五圓

藤田藥鋪 電話長八一番

本店 平壤 株式會社 大同銀行 頭取 橫山直起

鎭南浦支店 鷄里出張所 載寧支店

京城永樂町二丁目 入院隨意 酒井婦人病院 酒井一郎 電話一三〇三番

（內科）（外科） 岩田病院 附屬 沃度注射院

正五位勳三等功四級 岩田末彥 東京牧野沃度研究所顧問 京城長谷川町 電話一六二〇番

內地大災害情報（號外再錄）

聖上陛下より
御內帑金を下賜さる
金一千萬圓を罹災者へ

聖上陛下には今次の震災を御軫念あらせられ御手許金壹千萬圓を御下賜遊ばされた（大阪至急電報）

東京今度は大暴風
避難民大狼狽を來し
死者續出す

東京市中は三日午後五時より大暴風起り避難民は大狼狽を來し死者多數ある模樣である

四殿下
御危篤說
山階宮妃、師正王、寛子女王、博忠王

△山階宮武彦王妃佐紀子女王殿下鎌倉にて震災の爲め御危篤との報あり（大阪至急電報）

△東久邇宮師正王殿下（第二王子御年七歲）鵠沼にて震災の爲め御危篤に渡らせらるとの報あり（大阪至急電報）

△閑院宮第四女寛子女王殿下（御歲十八）は小田原にて震災の爲め御危篤に陷らせられたと傳へらる（大阪至急電報）

△華頂宮博忠王殿下の御避難の途中橫須賀隧道通過の列車內にて御危篤に陷らせられたと（大阪至急電報）

島津公即死說
（大阪至急電報）島津忠重公爵は一日大崎の別邸にて即死したとの說あり

（上から）華頂宮博忠王、山階宮佐紀子女王、閑院宮寛子女王

昨夕五時全く鎭火
（山の手方面を除いて）
東京は全部焦土と化す

東京市內は山の手方面を除いた外全部焦土と化し慘狀言語に絕す三日午後五時頃火災は全く鎭火したと名古屋遞信局へ電報があつた（大阪發四日午前五時著電）

積極的善後策を講ず

牧野宮相は二日夕刻歸京即夜山本伯と長時間に亘り罹災救助に就き協議し積極的の善後策を講ずる事となつた（大阪發四日午前五時十分著電）

再び甲府に激震
人畜の被害甚大なり

三日夜十一時半甲府市に又もや激震あり人畜及家屋の被害甚大（四日午前十一時半着電大阪至急報）

救濟金九百萬圓
支出に可決す

政府は救濟金九百萬圓を支出するに決定せ（大阪至急電報）

橫濱の囚人
三百名脫獄す
山北方面に逃走す

三日午後五時三十分敦賀より名古屋運輸事務所着電に依れば橫濱刑務所囚人三百名は脫獄山北方面に逃走逮捕に努めつゝあり（大阪電報）

關東廳から
食糧品を急送
白米三千五百石
鑵詰等を商船バイカル丸にて

陸軍關東倉庫在品中より白米三千五百七十石、鑵詰類千五百貫匁京濱罹災民の爲め四日商船バイカル丸にて神戶經由橫濱に輸送すべく積出したり（大連電報）

翼を並べて太刀洗へ
午前九時半京城を通過す
—平壤、太刀洗間連絡飛行—

平壤、太刀洗間連絡飛行は豫定の通り四日擧行、平壤飛行隊の二機は午前八時十分出發、翼を並べて太刀洗に向け出發した、此の日天高く晴れ絕好の飛行日和である（平壤特電）

京城通過 四日朝平壤を出發した二機は午前九時半京城の上空に機影を現はし爆音勇ましく南下した

京城に地震があつたら？
慘害は東京より甚大
第一河川のないのが不便

東京地方に於ける震災は前古未曾有の椿事で恰も焦熱地獄の慘狀を呈して居るが我等は之を對岸の火災視する譯には行かぬ京城消防所本部では語る『東京の如き震災があつた場合は我々消防隊の仕事は何と云ふても人命を救助するより外はない、火災があつても地震の爲めに自動車喞筒等の如き消防に必要な器具機械は一切交通が杜絕する爲如何とも施す術もなく炎々と燃え上る大廈高樓は軍隊の手で破壞するのが最も適切なことである、萬一これが京城に勃發したとするならば東京以上に慘害を蒙つて居るに相違ない東京市內には數多の河川や濠水で消火に努めることが出來るが京城には市中を流れる河川がなく消火は全然駄目である地震があれば水道の鐵管も滅茶々々で何の用をもなさず寧ろ木造の方がよい

通俗太閤記
二百二十八回
松林伯知講演　加藤由太郎速記

萬一職ひ功を奏せんには、彼奴功に慢じて君を輕んじ、同僚を眼下にいたすといふは此奴だ、油斷は出來ん、藤吉郎此度の戰ひに就て此の十兵衛に功をなさしめる其時には以來勝るやうなことになる、好し藤吉郎是非彼の瞰を挫へて置いてやらうと 藤『恐れながら藤吉郎君へ言上仕りまする、羨作和田山の兩城日限を極め、互に早く此の城下を乘り破りし者の勝といたし事仕る方一層味方の勇氣を増すといふもの、此儀如何でございますか』 信『ウム、夫れは一段の事だ、シテ藤吉郎其方は何れの城を向ひ宜しとするか』 藤『御意にござゐます、藤吉郎は羨作なり和田山なり何れへ向ふも同じ事、十兵衛殿貴公は何れを以て好まれるか』といふと、此の時和田山の城には田中治部太輔が籠城いたして居る、羨作の城には吉田出雲守が立籠つて居る、第一羨作は和田山より軍勢が多い、十『御意にございます、私事羨作へ進む事御付け願ひたく、木下殿は和田山へ向ひ給はらば十兵衛就落に存ずる』 信長公はお聞き遊ばし信『ウム、然らば藤吉郎、十兵衛の申す通り其方は和田山へ、十兵衛は羨作へ向ひまするやう』藤吉郎は『何方だから行かんといふ事は申しません』 藤『委細承知仕りました』 腹の中で、堺々彼れ我れに負けぬ了簡ちやな、此の藤吉郎を負かして其勢ひを得やうといふ、何處までも高慢な奴ちや、見よ此度の戰ひに是非彼が以來藤吉郎に眼の上らぬやうにして遣はす、故で藤吉郎は自分一手の同勢三千人、之が愈々和田山へ向ふ事になつた明智十兵衛は何しろ手の者漸う五十人すらない、依つて柴田、佐久間の兩手が加勢をいたす事になつて之亦三千人、双方二別れになつて愈々出陣、藤吉郎は和田山に向つたが、尤も戰ひの駈引は機敏である、前後七回の戰ひに遂に此の和田山城を攻落し、城將田中治部太輔を遂に降參をなさしめた、信長公御前に於てお約束通り三日といふのであつたが、僅に二日掛らぬ內に此の和田山城を落城させたのである、此方は羨作に向つた明智の軍勢、十兵衛は采配を取つて下知いたすが、手に附く者は柴田權六郎、佐久間右衛門、何れも己れより大身、且古參であるから十兵衛心の儘に戰ひをする譯はならない、殊に城將の吉田出雲守と云へるは采配を取つては佐々木一族の內に一二を爭ふ處の器量人、十兵衛の施す處の計略に掛らず、飽までも城を確守に押守り、却て寄手の同勢を惱すこと甚だしく、流石の十兵衛も己れが器量一ぱいに采配を振る事能はず、殆うに無つて居る、藤吉郎は和田山城を攻め落として羨作の樣子を窺ふと、未だ落城をさせる事かがなはんと云ふ、其處で五百人の同勢を率ひて藤吉郎羨作の明智の陣へ參り、藤『貴て十兵衛殿、中々に城堅固、且つ城將出雲守は名高き采配取り、ナ分に攻難いことでござらう』 十兵衛は藤吉郎に對面して樣子を聞くと、最う和田山は落城さしめ、城將を生捕りにしてこれを信長公の御本陣へお送り申上たといふこと、第一番に光秀が此時に藤吉郎の器量の勝れてる事に聊か心後れた、殊に又五百の同勢を加勢として藤吉郎之に向ふと云ふは實に心淋しいものである、此時藤吉郎は光秀に向つて藤『御身如何にいたして此の城郭を破る思召か』 光『左樣此の後は敵を釣出して此城を破らんと云ふ計略を用ひる』 藤『ハア其手段は宜しからう』 光『柴田、佐久間お二方にも其病に御承知、只今夫々に御使を仕つた』 藤『然らば吾等が召連れた五百人、貴公宜しくお使ひ下さるやう、貴公の采配の程藤吉郎本陣にあつて拜見仕る。

將棋新手合（三）
於東京市淺草區新福井町二　講呂木將棋所

▲五段　阪塚勘一郎（東京）
平手先△四段　林田竹松（大阪）

圖は前號指了迄の局面
△持駒　林田氏　角歩歩

△二五桂▲七四香△三三桂ナル▲同金△六五銀打▲同銀△同銀▲四九龍△四四歩（へ）▲同金△同角（ト）▲同龍△四五歩▲四二龍△五四銀▲五二金△六五角▲二二玉△四三銀打▲六四歩（以下次號）

講呂木七段講評

△（へ）四四歩と決戰に指したるは面白し

△（ト）同角も強くして面白し以下攻擊す段大によろし

暦　九月六日
舊暦七月二十六日
▲三碧▲暦東方▲木曜▲壬午▲友引▲開▲角宿

▼三碧▲中途で挫ける由進むよりは退くが利 世話事禁物 坤と乾が吉
▼四緑▲思つた事は行ひて必ず成功する 入學旅行開店吉 坤と內が吉
▼五黃▲資本の割合には利益の見えぬ日 辛抱が肝腎 坤と南と北が吉
▼六白▲無茶苦茶な事ある日 慎んで控え目にして安全 北と巽と南が吉
▼七赤▲出過ぎては損する 內輪に行うて存外利益がある 巽と艮が吉
▼八白▲新しい事は概ね面白くない 本職を守つて利 坤と艮と北が吉
▼九紫▲餘事調子よく大に敵を挫く 但し締め括りが大事 乾と北が吉
▼一白▲精出せば出す程相當が得がある 待人來る 南と艮と乾が吉
▼二黑▲折角の奮闘も無駄に終り易い 實直を旨として利 坤と北が吉

純蔘精　京城府黃金町三丁目（交番前）佐野高麗人蔘製所　電話六七六番　振替京城四一三六

すっぽん御料理　たま家　京城旭町一丁目　電話本局二六四〇番

松の薫　名葉　發賣元　明治屋

能治齒科醫院　仁川山手町一丁目　電話二三五〇番

時計　村木時計店　電話四七

皮膚科專門　皮膚病　黴毒　泌尿器病　京城皮膚科醫院　明治町二丁目六九　電話四〇〇五番　一番ケ濱邸東隣

染物洗張　師清水堂　京城府漢江通三　電話七五四

專門美容術
アルラ白色飲劑　天性色黑、慢性ニキビ、ソバカス、吹出物、凸凹、赤顏、油顏、シミ、シワ、逆上症、不眠症、脫毛症、血肥、油肥、フケ、カユミ、神經衰弱等體內の毒の根本除去、惡血を淨め肝臟を健康にして顏面を明斷にし迅速に全身を白色に美化す
日燒分解アルラ　顏面全身晒白術　數日にて雜症ニキビ、ソバカス、色黑、シミ、シワ、赤顏、油顏、日燒等を全治す皮膚を色白に變貌す
根本的完成　ピイキング毛生止法　アルラ特殊法生際、眉毛、ヒゲ、モミアゲ、髭首等整形的迅速に毛され正確永久に毛生止を得
速時除毛と毛生止　顏面、腕、すね、胸部等何處にても即時除去され永久に毛生防止を得
徹底的療法　禿頭專門全治法　數日にて禿頭部に毛生す細毛を黑く太くし本法は何れの生毛法よりも最優等にして最も完全に且つ迅速なる徹底的の禿頭病療法なり
急速毛生法　アルラグロー　禿頭、薄毛、病源的脫毛眉毛生際中年男女の自然脫落、老年毛髮復生、フケ、カユミ、カモジ禿、腫物禿、燒傷禿、無毛等急速に毛生し赤白毛黑化す
白赤ナマズ　アルラペット療法　重症全身蔓延にても此の完全なる徹底的療法にて痕跡を殘さず大効なる自宅療法を教授す
來院不可の方へ特に原料に完全な
美容大學院　東京本鄕東片町七八白山停留所際　電話小石川四九七六　振替東京三九八〇九　自午前八時至午後九時

綿　あんナシ（しんナシ）保證付　わたハ㊣印　綿店吳服店ニアリ　朝鮮製綿會社　京城西大門町　電話龍山二六

藥　勉強第一　親切本位　在庫豐富　出荷迅速　釜山辨天町一丁目　合資會社大黑南海堂　電話長四〇五・三七一　振替京城四五六

病者虛弱者を強健化す
ブルトーゼ
正しき補血强壯增進劑
種類及適應症
補血强壯增進劑　風味ブルトーゼ
神經質疾患特效劑　アルゼンブルトーゼ
腺病質特效劑　ヨードブルトーゼ
健胃補血强壯劑　キナブルトーゼ
呼吸器系疾患特效劑　グアヤコールブルトーゼ
說明書進呈
發賣元　大阪市東區道修町　藤澤友吉商店
東京市日本橋區本町　藤澤友吉京城支店
代理店　京城　高井商店
賣捌各地藥店にあり

矢島總督府社會課長談

朝鮮緩化令は既報の如く去る三日附總督府令第十二號を以て發布された「が右に付矢島社會課長は語る」「朝鮮緩化令は朝鮮として初め……二十三歲までとなつて居るが收容の……周知の如くこの緩化令による緩化……つてゐるが……は男子八十名である……實施に就ては勿論……

震災と事業界の影響

鮮內に支店を有する事業會社今後の方針

既定計畫變更せず

武者京城電氣專務談

今回の大震災で內地に本店を有する鮮內の支店會社の事業進行上に支障を來すものが多いだらうと思ふが當社の如きも株主の大部分が東京に在る關係上資金問題に就て支障が生じはせぬかと心配してゐる、幸ひに瓦斯の撤込は終了し其資金の大部分は既に取寄せてあるから現在の處では既定の事業計畫には變更を來す事は無いと考へてゐる、併し交通杜絕で東京本社の安否を知るべき術もなく何時

如何なる支障が

起らぬとも限らぬから撤選工事等は此際一時手控へてゐるが新設發電所の工事は豫定通りに進捗今月中には試運轉を行ふ筈である、大きに心配なのは電球である、是は川崎の電氣工業から供給を受けてゐるのだが今回の震災で無論工場は破壞されて居るだらうから當分り是が供給は外國品か大阪に求める外は無い、外國品は急速の間に合はず大阪方面にも果して供給力があるか何うか疑問であるから見込の立つ迄は當分消費を節約して辛抱する外は無い、京城では一箇年約二十萬個を消費するから若し是が底を告げた場合は使用者に不便を感ぜしめる事となる、若しさう云ふ事があつては不都合だと思つて目下

豫備品を取寄

せる爲めに苦心してゐる、兎に角今回の大震災は經濟の中心地たる帝都に發生したのだから是が我經濟界に影響すると云ふべき地方經濟界方面の打擊は多大であり事業界方面の打擊は一層甚だしい事と思はれる

不振は免れまい

影山百三十銀行支店長談

此度の震災は未だ施政の方針を知る暇もなく帝都を中心に大慘害の大慘事を現出したので財界の將來は全く豫測することが出來ない强ひて言へば色々の說も出るであらうが果して何れを中心に豫測すべきかさへ見當が付兼ねる中には朝鮮の資金が內地へ吸收されはしないかと考へる人もあるといふが內地と朝鮮とは一心同體で殷賑輦轂の間に在るのだから內地が缺乏して朝鮮に餘裕があれば勿論朝鮮から內地へ流れて行く譯である殊に此度の如き未曾有の大慘害に對しては其苦痛を朝鮮が分擔するのは當然である少くとも今日まで內地から朝鮮へ流れて來た資本が一時中止となる位は自然の數でもあらうし、補給金等にも影響があるはしまいかと想はるから自然朝鮮の事業界が振はなくなるとも、お互に考慮の內に數へなくてはなるまい然し此事變ふることは今回の大慘事に當つて擧て動搖しつゝある思想界が如何に成る行くかといふ事である、荷も日本國民である以上此際大に自覺して赤誠を國家に捧げるのが道であると思ふ

商品混沌

思惑輸入如何

帝都を始め關東地方を襲つた地震は我經濟界に一大衝動を與へたが各種商品とも通信機關の復舊までは混沌として市價は定まらない必需の食糧品日用品燃料材料等は一時需給の關係を來し急騰は免れないであらうが或はこの震災は遂に我經濟界に恐慌を招くやも計り難く少くともその恢復を著しく阻害するとゝなるから一般的には全く悲觀の外ない而もこの災害見越に東洋はもとより歐米の各市場より思惑的輸入さるゝものも少くないであらうから寧ろ入超の傾向は勿論却て又滯貨激增に苦しむやも計り難いその上に政府が此の一大破壞に對して一大組織的の供給法を講ずるかも知れない但し他面には生產機關及び原料の缺失甚大であり且運輸其他の政治問題の多くを顧慮に經へてあるから政府に於て多くの期待は出來ぬと云ふ關係もある兎に角商品界目先混沌狀態を持續するだらう

綿絲製額

八月中の紡績聯合會所屬會社の綿絲出來高に就ては一般に減額を見越されて居ることは云ふ迄もないが其減額率の程度に就て多大の懸隔があり大減產に非ずとする甲論者は既に各社共相當自由操短の餘裕なき立場に置かれて居るから單に操短が否決されたと云つて直ちに巨額の減產を見る樣なことは首肯出來ない殊に現物及期近物は如何にも

原價採算を割

つて居るから今月の製品を直ちに今月中に賣渡すと云ふならば或は一部の人の云ふ樣に一割程度の減產を見るかも知れないが先物の二百四十錢にあるし一方原棉手當は最少二割程度は小紡績としても實際は採算に至つては僅に本年一杯或は夫以上あるから其內に何とか救濟が講じられるだらうと云ふ一課の希望に過ぎない兎に角相當の機械を運轉して居るから到底一割等と云ふ大減產は實現しないで只盛夏と盆休みに依る二三千梱程度の減產が精々のことだらうと月額十八萬梱若くは十七萬九千梱見當を主張して居るこれに對し大減產を主張する乙論者は一流會社すら女工の新規募集を手控へるは勿論農繁期手傳ひ及盆休み歸鄕に對しても從來に曾つて見ない程度の寬大な取扱ひをして居るし現在操業中の女工も連日九十度の酷暑では餘儀なく能率を減殺されるから一割減產は免れず結局十六萬乃至十七萬梱を出まいと云つて主張して之等兩說の何れが眞なりやは容易に斷定し得ない處である

例年七月から八月に

かけての盛夏減產率は三分乃至四分見當を普通として居るから前月の生產額十八萬二千梱から推算すると例年なれば先づ四千九百梱乃至七千梱の減產に當り本月の出來高は十七萬七千餘梱乃至十七萬五千梱に相當するのである其處で問題は結局不況に依る減產率を幾何に見込むかにあるが之れは小紡績中の或る會社の如く綿花業者に手形の延期を懇願する手段として殊更減產の多大なるを吹聽するものもあるので此方面の觀測は容易でないが某一流會社の如きは七十五パーセント乃至八十パーセントの操業に當つて居ると云つて居るから若し之れを事實とし其他の大會社が一般の狀態に倣はれて居るものとすると平常とは大差もないから此の自由操短に依る減產は先づ二千梱を出まじく結局八月中の總出來高は十七萬三千梱乃至十七萬四千梱の間であらうと觀測される

立會開始

各取引所

大阪堂島取引所は五日株式取引所は六日より何れも立會開始の事に決定三品も六日より立會の事に決定した尙名古屋、京都、神戶等の各取引所の立會開始はまだ不明である

正米更に昂騰

內地の災禍今尙ほ熄まず悲報頻々と絕へざる今日にて鮮內各地の正米は引續き混沌狀態を呈しつゝある其中にも當市場は元來が消費地にして且在米薄の關係上地場精米筋は概して當座の原料に追はれる小口ながら必需の買込み相當多きに上り被害地救濟米の買上げ等もあり今朝は人氣一般硬化して最初は丸チ四等三十一圓に出來し昨出來値より二十錢高に始まりしが茲に地は災禍と今後の天候杞憂もあり持米買惜みの念益々强く又沿線地方には京仁方面より早越し買漁り

株式不安

五日立會未定

京取市場は一日後場特別實行の好人氣を受けて氣配强く小高き成行きを示し尙好調持續を氣構へられて居たが二日の休日には東都の大事變を入電は一電毎に慘狀を報じ各府縣に亘り會社工場の損害殆ど想像し難き激甚と推測せられ各仲買店に對しては賣物を賴む者のみであり臨時休會に決した大阪市場も三日には大新六七圓安の氣配を入れ一般に低落見越しで氣配は益々惡く京取其他も自然大新に伴れることになり易く人氣の動搖甚だしきを以て三日に立會へば到底相場は一と崩落を免れ難くして市場は混亂に陷り大負傷者を出さざるやの懸念があり其他一般大新は格別京取としては株不足ではあり利喰賣も現れ期米高の人氣と相俟つて相場は支へられるであらうから立會つても不穩はなからうとも見られたが兎に角內地の災害に對し判明しないのと內地の實情判明する遠方からの休會說もあり三日は臨時休會したが四日も午前八時半から市場と仲買委員との協議の結果は引續き休會することに決定した何しろ號外に接する每に不安を加へる有樣で五日に立會ふか否かもまだ不明である四日午前中は大阪の暗號も入電なく大新京取共に見當が付かず諸株共に只安からうとのみ唱へらるゝ丈けであつた

增證拂込完了

京取大新に對する臨時增證據金の拂込に付いては一部買方に解合希望から拂込遲延の模樣もあつたと云ふが結局左る事もなく四日午前十時迄に賣買雙方共遲滯なく拂込を了したと

結局總解合か

此の儘では立會危險

京取市場は四日も尙混亂の虞があるので臨時に休會したが市場に於ては現在の喰合玉に對しては相當的には解合しむるの意嚮なく專ら內地事情の安定を待つの模樣であるが仲買人中には此の度は豫期せざる不可抗力の大打擊であるから暗黑相の裡に解合しめ損害の程度を低減せしむるのが至當だとの意見もあり買方中には暗々裡に解合を希望し寄々協議しつゝある向もあるが市場に於て解合を從辭しないが昨三日の休會中假渡しを中止したのは解合を希望して居るものとも見られ人心動搖の際立會するも到底は免れず結局仲買人の一半を失脚せしむることゝなり仕手にも大負傷者を出すの結果となるべきを以て大新京取乃至玄人の如き機的に合つて居るものは此際衝突の裡に解合しむるが機宜に適した方法と見られ俄然解合の後ち事務所に委員會を開いて此れが解合方法に付協議して居るから今明日中には或は總解合が成立することになるかも知れない

雜記帳

▲京城には內地會社銀行の支店出張所が多いが其の大部分は東京に本店があるので今度の大震災の朝鮮事業界に及ぼす影響は大分大きいやうだ▲支店銀行側では本店に對する資金移送の準備に着手してゐる處もあるらしいが何れも本店の安否を知るべき方法が無いので手を束ねて詳報を待つてゐる▲銀行では取敢ず行員を派遣して鮮銀、殖銀其他東京に支店を有する銀行が今の處東京入りは六ケしいから一時大阪に落付き大體の調査を行つた上滯路を震災地に向ふさうだ▲震災地と大阪方面と聯絡は當分望みが無いらしいから食糧品其他の輸送は海路に依る外はあるまい▲東京の各銀行は當分營業を休止するだらうが一時の安定を得た上は預金の拂戾しと貸出回收と云ふ問題が起るであらうが今日の場合手許準備はあるまいし一方擔保品も破滅してゐるだらうから回收などは到底思ひもよらぬ譯で金融問題の解決は前途多大な困難が橫はつてゐるやうだ

京取市場休會

京取市場では四日午前八時半市場幹部協議會を開き四日も臨時休會する事に決定した

大阪財界近信

大阪を中心とする電車計畫線

▲新京阪電氣鐵道會社　京阪電車の分身天神橋六丁目から西成郡淡路間に至るもので大正十三年度中に完成の見込みである更に淡路より京都西院に至る計畫で此の線は完成期は豫測出來ない狀態にある、此外西成郡十三より千里山間もあるがそれも完成期未定である右三線の外北大阪線を箕面線終點迄延長する計畫もある

▲阪神國道電鐵會社　神戶梅田間は完成期は大正十四年中の見込みである、尼ケ崎大阪野田間、第一期工事として尼ケ崎千島橋間は目下工事中で大正十二年末完成の筈、第二期線千島橋野田間は大正十四年中完成の見込み本線香櫨園六甲街の新設電車の計畫あるも實施期は決定してゐない。

▲阪神急行電鐵會社の伊丹能勢口（寶塚線）は大正十三年度中完成の豫定でこは塚口伊丹線の延長である、西宮北口から甲□口に至る線の計畫は實施期未定である

▲南海急行電鐵　大阪佐野間及和歌山間佐野和歌山間は出願中不明

▲阪和電鐵　田邊和歌山間實施期不明

▲南海電鐵　橋野間の復々線計畫は十四年初夏完成の豫定此の外に平野和泉間もあるも疑問である

此の線は南海と平行するもので敵對すれば南海の强敵である柴谷利一氏主として計畫決定して居る阪和間との聯絡がある

▲城東電鐵　玉造生駒間但し玉造より石切迄電鐵、石切より生駒迄はケーブル完成期は十四年度中である

▲奈良電鐵　東口生駒線、生駒王子線等の計畫もあるが實施期未定であり且つ枚方生駒線は疑問である

▲京阪電鐵　野江田邊間の新線計畫がある

▲大阪電鐵　玉造より八木に至る新線及び國分郡山間、天滿都島間の三線がある第一線は十四年中に工第二第三は完成期未定である

▲寶塚電鐵　天神橋六丁目より寶塚に至るもので目下出願中であるが許可は既定的のもので該出願には政友會の大石大氏等が活躍を試みて居る

▲有馬電鐵　右は有馬溫泉地帶と遊覽地連絡を結び付けるもので大正十四年度初夏の頃竣工の豫定である

▲尼崎電鐵　尼ケ崎より出屋敷を經て寶塚に連絡せんとするもので實施期未定であるが完成の上は阪急の大會社で且つ既報の如く政友會の出所として暗中飛躍をなしつゝある關係の線である

▲阪神電鐵　既設の三線の外に十一線の多きに達して居るが更に許可を得て目下幾つかの計畫を企てつゝある新會社を飛躍すると次の通りである

定である、阪川間鐵公園間は大正十四年初夏完成の見込み梅田十三間は復線で目下進行中であるが完成は十三年度中である

商品市況

木材（奔騰）鴨綠江の原木高と北海材の造材仕入手控へと天候に依る出材難に今春來供給滑ならざると需要も强調にて米材も若干宛ながら逐月騰貴しつゝありし關係上何分平時にあつても阪神に次ぐ大消費地の京濱が全く破壞したのであるから目先急速に奔騰するであらう

セメント（急騰）震災前はこれまでが商期の長かりしと財界不振に滯貨勝の趨勢で各社共製品も滯貨行きの狀態にて市價も關東の如き不況を見込み相場も已に安價を持ちこたへて居たのであるがその淺野も大森深川の二工場全滅したとすれば反動的に品拂底を告ぐべく事前一樽七圓安いのは六圓五十錢臺にあつた相場も急騰するであらう一方にはドイツ製品が稅金を拂つて七圓五十錢なれば供給し得べしとの觀測もあるがルール占領石炭の騰貴により今日果たしてドイツが之で賣り得るかと云ふものもある

麥粉（一段高か）僅に暴騰は許されまい若しそのやうな場合は非常手段を講ぜられはしないかと考へられるが阪神のストックは東京に殆ど廻送せらるべく關西及び朝鮮は自然品拂れを持續一段高を告げるであらう

鐵材（暴騰）目先暴騰するとも考へられぬが漸次騰貴をして行くであらう震災前は頗る不振市場にはストックは少い見込みである米國も目先き强含みである但し內地市場暴騰すれば海外の倒的輸入も見るであらう

織物（暴騰）關東の生產地方の全滅と京濱在庫品の燒失に著しき供給減を生じ暴騰を見るであらう朝鮮は在荷薄に震災を動機に鮮人側の買進み殊に顯著なるものがある

綿糸（氣迷ひ）一方に關東の生產減がある同時に需要も被害甚大この方面の消費減にこの災害による購買力も減少すべく材料に富むが朝鮮は實際（極端なりしに猥退買進みも相當あるよう）である

綿糸布（出來不申）材料未入荒なるも當地買氣各地出相場暴騰成行き見當つかぬ

綿糸屬面二五五双女二二〇　大正一二五五金剛山三三五綿布飛大一三、大〇世樂島三二、一〇　晒金巾洪軍一三、三〇金鼎一三、一五

安東株式

		寄付	大引
〇三日後場	安取（當）（先）	柄會……	……
〇四日前場	安取（當）（先）	……	一六・五〇　一六・八〇

鎭平銀

		寄付	大引
〇三日後場	當限	一三・〇五	一三・一〇
	先限	……	……
〇四日前場	當限	一三・一七	一三・一九
	先限	一三・二五	一三・二二

米を餘分に買込むな

如何ほど內地へ輸送されても缺乏する憂ひはない

內地の震災救濟の爲め朝鮮から米が續々輸送される、さうすると朝鮮には今に米がなくなるだらうと云ふので府民は既に狼狽をはじめ平素は一斗か二斗しか買はぬ家庭が先を爭うて三俵も四俵も買ひ込むと云ふ始末に市中の米屋は殆ど賣切れを來たし何處の店でも今や其補充に目を廻して居る樣だが府民の心配するやうに果して朝鮮の米がなくなるものだらうか—是について總督府米穀所では『素人として依然ら思ふのも尤もだが東京の震災によつて朝鮮の米がなくなるやうな事は斷じてない假に東京にある米が全部燒けたとしても政府の保管米が五十萬石もあり大阪にも在米が豐富だから是だけでも既に充分な供給が出來る一方朝鮮に於ける米の移出力は一年約三百萬石であるが今日までに移出された數量はザッと二百六十萬石で四十萬石の餘力があるから其中から一萬石や二萬石輸送せられたとて夫れはホンの九牛の一毛であつて大局から見れば何でもないことである現在救濟米として輸送に決定して居るのは總督府の一萬石朝軍の五千石だが假に朝鮮に輸出餘力が全くなく以上の一萬石五千が悉く需用米の方に喰ひ込んだとしても夫は一時的の現象であるから絕對に米がなくなるやうな憂ひはない三日から多少相場が騰つたのは事實であるが是れ又一時的の現象で此の先き突飛な暴騰を演ずるやうな事は決してあるまいと思ふ、だから此際府民は宜しく自重して餘分の買置なぞをせぬ方がお互の利益である若し是れに反して一定の需用以上に買ひ込むものが多くなると忽ち需給の平衡を失し府民自身が相場を釣り上げるやうな羽目に陷るから注意せねばならぬ』

尙此一兩日來本社代理部にも白米の註文殺到し三日の如きは六十石の米を賣盡した代理部の供給力は頗る偉大で如何ほど註文があつても大丈夫であるが自他共通の利益を圖るため此の際多少の手心を加へ程度を越えた註文には應じない事にした

どん底の不景氣に一層の暗い影を齎らすであらう

東京から歸つた片山鮮銀理事談

東上中であつた片山鮮銀理事は三日夜釜山着の連絡船で着釜同七時一中發の急行で北行したが左の如く語る「三十一日の夜東京を出發したので東京の方面の樣事は大阪著の上初めて聞いて驚いた、家族等の消息も氣にかゝるので下關から電報を發したが何等の返電に接しなく公用の爲一旦旅行の途に上つた以上私事の爲引返すが如きも誠に不本意であるから其儘北行を續くる事にした新聞電報に依ると其慘狀も想像以上で之れか爲財界に及ぼす影響も甚大なものだらうと想像される自分の想像では新聞に傳へられた十分の一位のものだらうと思つて居る從つて今後に及ぼす程度も事實の眞想が判明した上でなくては豫測もつかないが正に不景氣のどん底に沈まんとして居る經濟界の前途により一層の暗影を濟すものである事は言ふ迄もない事である一先づ京城まで辿りつき事實の眞想が確められた上は或は更に東京に引返す事となるかも知れぬ」云々

新秋の空を征伏して平壤より太刀洗へ

所澤—平壤交互連絡飛行實施

四日朝勇ましく出發

各飛行部隊の生地航空能力增進の目的を以て遠日長距離の航空若くは編隊群を以てする運動を實施せしむる爲め豫て計畫中であつた所澤—平壤交互連絡飛行は既電の如く四日より三日間に亘り實施飛行第一、第三、六大隊は甲式三型練習機各五機、明野原分校は甲式三型練習機三機、下志津分校は乙式一型偵察機一機、その他の部隊は乙式一型偵察機二機を使用する事となつた、而して平壤飛行第六大隊は太刀洗まで往航者榛名曹長乙式一型偵察機五四二を操縱これに坂口大尉同乘、又鈴木中尉は同機五四三を操縱北島中尉同乘午前六時半より準備に着手し堀隊長の嚴密なる機體檢査と愼重なる注意を受け何れも勇ましく機上の人となり午前八時十分離陸平壤の上空に大圓を描き爆音勇ましく新秋の空を征伏しつゝ大邱に向つた二機とも無線電信電話を裝置し、機上より互に連絡を取るやうになつてゐる復航は五四二機に西村少佐同乘城寺少尉操縱し、又五四三機に荒川中尉同乘海老根曹長操縱する事となつてゐる（平壤特電）

大邱に着陸

五百四十二號機は榛名曹長操縱北島中尉同乘五百四十三號機は鈴木中尉操縱坂口大尉同乘し秋晴れの空を快翔し來り五百四十二號機は午前十時五十分先づ大邱の上空に雄姿を現し一周後同五十五分着陸し次いで五分遲れて五百四十三號機が着陸した

濃霧の爲出發見合せ

四日對馬海峽は降雨且つ濃霧ある爲大邱太刀洗間の飛行を見合せ晴れるを待つて一氣に快翔の筈（大邱特電）

太刀洗からの飛行中止

大震災の爲め四機各務ヶ原へ

平壤太刀洗間太刀洗平壤間の聯絡飛行は四日決行せらるる筈であつたが太刀洗第四大隊は今回の東京地方の大震災の爲め急遽出動を命ぜられ四機を編成各務ヶ原に飛翔することゝなつた爲め全然見合せになつた（大邱特電）

各宗の主腦者が街に出て托鉢さる

大震害救濟の淨財を募り

近く遭難者の大追弔會

關東大震災の報一度傳はるや京城府民は異常の衝動に打たれたが情報漸次明確となるや佛教各宗管理者は寸刻も坐視するに忍びず三日夜急遽南山本願寺に會し協議を遂げ取敢ず全鮮に飛檄して佛教徒の奮起を促した一方更に京城各宗聯合會では事務所を南山本願寺に置き四日夕刻より向ふ十日間每夜全市に亘つて大々的に托鉢をなし各宗主腦者自ら街頭に立ち擧國一致の人心緩和につとめ一方時日を選び近く遭難死亡者の大追弔會を嚴修すると

娼妓殺し

既報大石橋遊廓錦武亭にて二十九日營口大和館に上り敵娼の熟睡中をピストルにて射殺し逃走したる生田仁九郞は翌三十日大石橋滿鐵病院食堂にて喫飯中を捕へられ營口へ護送せらる犯人は一向平氣にて敵娼より心中をせまられたと申立てゝ居る目下嚴重取調べ中（營口）

賭博の現場で

府內黃金町三の二五九番地古物商高島芳吉（□）洋服商中尾勝次郞（□）林町二十二番地腹部勝浩秀太郞（□）花園町二七番地魚類商村上源平（□）の四名は四日午前一時十五分頃村上方で花札を弄び賭博を開帳して居る現場を本町署巡査に踏み込まれ一網打盡に珠數繫ぎとなつた

鐵道被害の復舊は半歲後

四日京城局に達した情報に依ると今回の震災に依る東海道本線の鐵道被害は豫想し難く其復舊に約半ケ年を要するだらうと

訴訟の末が

……したいと默つて居る」云々

東京中央氣象

四日正午　二六、九　七六、二
前日最高　二九、四　八四、九

修養團から代表者見舞

修養團の志賀博士以下の救護班に入り川城支部にて活動すべしと同日京鮮に於ては……

公告

一、道廳新營工事入札
忠淸北道清州郡文義面文山里所在
二、本道地方費庫課分所貳所九反七畝
三、入札人心得書契約事項等閲覽並
四、入札並開札ノ日時
大正十二年九月廿二日午前十一時即時開札
入札保證金各自見積價格ノ百分ノ五以上
右ニ關スル詳細ハ本道會計課ニ就キ承知スヘシ
大正十二年九月　日
忠淸北道

於朝鮮
樂器界の元祖

樂器運動具定價表進呈
少年樂隊　金六十圓以上
五人組樂隊　金二百二十圓以上
山葉オルガン　金四十五圓以上
鈴木バイオリン　金五圓五十錢以上
鈴木マンドリン　金十一圓以上
京城本町大通り　セヤマ樂器店
京城鐘路（普成高普前）セヤマ運動具部

退院御禮
八月十三日本病院入院遭難のため外傷及打撲にて安東病院へ入院中は各位の御親切なる御見舞を辱し以御蔭去三日退院致候間御安心被下度實は一々拜趨御禮可申述筈の處混雜中乍略儀紙上御禮申上候
平北龍川郡南市鹽田
北村芳太郎

京城府西小門町二十一番地
田中丸病院
院長　醫學士　田中丸治平
副院長　醫師　上野和夫
電話光化門一八三、一八八六番
普通病室　特等病室　設備アリ

內科小兒科
產婦人科
皮膚病花柳病
平壤府本町
金子病院
電話二四六番

內科
胃腸病
京城本町一丁目
診察　夜九時迄
石川醫院
電話本局（二三五九番）

御好みに應じ會席料理も致します
席貸專門
ラジユム溫泉の設備も有ります
鳥丸

牡丹と芍藥
今が移植の最も好い時です
本年は特に安價を以て御注文に應じます
仁川松島驛前
華王園

五日より
初秋特別大興行
純映畫劇。向島超特作
慈善小屋
翠轡滴たる益富峠の一軒家それが世に云ふ慈善小屋であつた幸多かるべき此の積善の家にも痛ましく呪はしい人の世の悲劇があつた
山本嘉一　小栗武雄
鈴木歌子　小池春枝　主演六卷
京都派七月完成の大映畫
五人豪傑　拳骨漫遊
後藤又兵衞。猿飛佐助。霧隱才藏。三好清海。塙團右衞門　全六卷
大猛進躍如として實に近來の松之助忍術劇
喜樂館

わた
ふとん仕立
青島堀井製綿所
特約販賣店
京城本町四丁目
坂元綿店
電話本局二〇九九番

りん病は治ります
急性も慢性も只一剤で奇妙にヨク他に類なき專門良藥あり切手三錢送れば秘法に教ゆ
小栗作造

鯨
赤肉　尾羽　專業問屋
畝皮
尾羽毛（本場捕鯨會社直卸）
下關市唐戶町
平井成一商店

せきずい
向病にて手足引ツリ腰足不隨肩背筋痛みシビレ等に効能正しき妙藥あり二錢切手封入申込次第詳報す
兵庫縣明石市三番町　元木本家

公認
生徒募集
入學無試驗學期中途入學許
語學研究及校外生
姉妹校
定員隨時人多入讀ノ相手教授每月一日
京城府黃金町三丁目
京城自動車學校
東京市京橋區　東京自動車學校
福岡市中島町　福岡自動車學校
大阪西區南堀江　大阪自動車學校

元氣のみなもと
ほまれみそ
釀造元仁川港
日本醬油株式會社

大自然と藥餌

醫者も肺病者も看よ

醫學の進歩と肺病の蔓延
製劑の苦心と高貴藥の配劑

完全なる靈肉合理療法

有田ドラッグ會主　有田音松

肺病增加の原因

醫學が進歩して、返つて肺病者が增加すると云ふのは、不思議である如何が其原因となつて居るか研究せねばならぬ大問題である。

我國民は醫藥萬能主義に心醉して自然を蹂躪して居る。恐らく自然療法を無視して、醫藥のみで全治を望むは、到底不可能なりと斷言し得るのである。

人間も亦生物である以上は、醫藥よりも先づ大自然の力を第一として生存しなければならぬ。

假令ば繁茂したる樹木の木にしても葉の色が惡いからとて、屋內に置いて肥料（藥）のみを施した所で、自然を蹂躪して居るから枯れるより仕方がない、それよりは庭前に出して大自然の、日光、空氣、雨、風、露に觸れさしたならば、たとへ肥料（藥）を與へずとも、生々するのである。

現時我國の一般肺病療法は、醫藥萬能に溺れて、自然を無視して居る感がある。然らば療法とは何か乃ち

精神日光空氣

を第一とせねばならぬ。然るに病者は肝腎なる、目的物を打捨て、第二の醫藥のみに依賴して、自然を顧みざるが故に、前記の植木の枯死するが如く、此驚くべき、死亡率を見るに至つたのである。

自然を嫌ふと云ふ、什麼要なる理由からして、肺病者が紅塵萬丈人口稠密、空氣の汚濁せる都會に於て、療養すると云ふのが、第一の間違である。

それに予の友は來つて、左の如き事實を、冷靜的に語つた。

「凡ての患者なり、其父兄が醫藥を信賴する結果、之れに依りてのみ治療を計る。所が醫師の立場からすれば、患者に對し肺病の治療は第一に、自然療法に重きを置かなければならぬとすれば、藥の處方箋を與へて、先日當りの良い、空氣の良い田舍に、出張することを奬めねばならぬ筈である。が然し若し此方法を醫者が執るとしたら、往診料や藥價や、注射等より來る收入はどうなると思ふか、醫者も亦商賣ではないか……」

と云ふ話を聞いたが、余が思ふに

現代の醫者は

專門學校出の教育ある、おチヤキチヤキのみであるから、まさか收入にのみ、着眼して病者の死を顧みないと云ふ譯な、不仁無慈の醫者が、あらう筈がない。之は予が保證する所である。

醫師は第一に自然療法を勸めるのだが、患者や家人が勝手に、不自然な都會で、養生を續ける結果遂に不幸なる、死を招くと思はれる。以上の如き、不自然療法の結果が日本をして、世界第一の肺病國たらしめたのである。

肺病合理療法

前述の次第であるから、肺病患者は自然のみに偏してもいかぬ、又醫藥のみに頼つてもいかぬ。どうしても自然と藥物と、兩々相待つて、茲に完全なる合理療法が出來るのである。

既に海外に於ても、サナトリユム療法とか、又は高山療養所とか云ふものが、晩蒔きながら發達して、種々の自然療法を試みて居る。余が自然療法と云ふ點に着眼し合理的療法を全國の大新聞紙上にて宣傳したのは、醫者諸君が夙に周知の事實である如く、昨年十一月十六日にして、之に遡ること三十五日、乃ち十二月二十日に至りて內務省は、肺病豫防撲滅のため『國民と結核』なる小冊子を頒布した、畢竟肺病患者に警告して『醫藥のみに賴るな』と、云ふことを宣傳するに至つたのである、政府當局が晩蒔ながら茲に着目したのは、國民衞生の爲、實に慶賀すべきであるが、遺憾ながら、只小冊子を發行せるのみに止つたが

頒布に政府は

豫算の許さゞる爲か、（一部五錢にて販賣し希望者は町村役場に申出よとのことにして）廣く公布されない憾があるので、予は率先して自費を投じて、之が全文を全國の大新聞に公表し、尚同冊子十萬部を、內務省衞生局に申請購求して之を病患者に無代進呈しつゝあるのである。

現に我國に於ても政府當局は此點に注目して、全國五萬以上の人口を有する都市に對しては、特に補助金を與へて療養所を設置することを命じて居る。

要するに前述の如く、醫藥萬能に偏したと云ふことが、我國をして世界第一の肺病國たらしめた最大原因とも見るべきである。」

第一製劑の苦心

予の執るべき方針は先づ完全なる藥劑を製出すると同時に全國の新聞紙に宣傳して、以て國民に自然療法の缺く可からざることを知らしむれば、病患者も減少すると云ふことに着眼して、製劑に着手したのであるが、研究期間は何人にも一切面會を謝絕し專心之に從事した次第であつた。

予は先づ、各大學病院の肺病肋膜に對する處方箋を取寄せ、並に各專門大家の處方箋を參考として研究苦心の上、其製劑を出願許可を得て、病患者に與へて見たか、未だ理想に達せず、再び面會を謝絕して又もや研究に沒頭したのである、其間藥味の變更を大阪府に出願許可を得ること十數回、遂に理想のものを完成し茲に天下に向つて肺病諸合藥として公表販賣するの、自信を得た譯である。」

第二藥品の選擇

一

藥品と一言に云へば、いづれも同一種類のものゝ如く考へられるが、實は其間大差あり、假令ば等しく米と言ふも、一等米も、二等米も、三等米も、南京米も、悉く米には相違ないが、其實分や味に於て非常なる違ひがあるのである、殊に藥品の如きは其の差か甚だしいのと、不良品の混ずるありて、之れに最も苦心をしたと云ふのは、等しく（〇、五瓦）を使用するも（〇、一瓦）の效能より無いものがあるが故に、最も優良なる材料を研究選定して製劑に使用することにしたのである。」

二

藥品は新しきと舊しきとにて是又非常に効能に關係するものである、新しきものは舊きに比して其の效能倍加する、依つて餘は最も新しきもののみを選んで使用することにしたのである。」

三

余は元來、國粹保存主義者にして外來の危險思想に對しては、正面より極力反對して居ることは、絕えず新聞紙上で公表して居る次第であるから、諸士の熟知せらるゝ所と考へるが、然し等しく外來のものと雖も優秀、有効なるものは、進んで取り容れるだけの雅量を有して居るもので、所謂和魂洋才主義である。

現に予が製劑に係る、肺病藥の原料の大部は之れを左記世界に信用ある會社製品を輸入使用して居るのである。

カーレイ會社（獨逸）
メルク會社（獨逸）
ハイデン會社（獨逸）
ヘキスト會社（獨逸）
バーセル會社（瑞西）
ロッシュ會社（瑞西）
クノール會社（獨逸）

而して是等輸入の優秀なる材料と雖も、舊きものは其の効力減ずるの虞れあるを以て、常に新輸入品をのみ使用しつゝあるのである。」

四

予が此機會に於いて、公表すべきは醫者の專賣所制度である、單に藥を販賣して利益を得るの目的ならば、一般在來の藥店に販賣せしめて好い譯であるが、余は元來藥種を販賣して利益をのみ貪り治病を主眼とせざる我利々々は大嫌ひである。一般の藥店に販賣せしめたならば、製藥後一年二年と店晒しとし、既に病者の手に渡る時分には藥品の有効成分が減少若くは消滅する虞れがある、斯くの如き販賣法は決して現代の理想に適したるものでない、之れ余が他の藥店と取引せざる所以である故に余は萬難を排して特に專賣所を

全國海外に

亙り五百餘個所設置したのである。

而して此の機關を通して余が自信ある藥劑を最も有効なる期間、即ち一二箇月間に病者に服藥せしむる方針を執つたので、我專賣所には何時も舊き藥品は一品も無いのである。

我專賣所主任には、悉く一般病理並に養生法等を講習せしめ、假へ病者の要求あるも、症狀の報告せざる者には一切之れを與へないことにして居るのである、尚一事附言せんには、我專賣所主任は人物才能といふよりも寧ろ誠實、篤行の者に從事せしめて居るのである。

尚我專賣所主任は、一切劇藥を許さないのである、左に之が實例を示す。」

岡山市會議員辭職

岡山專賣所長、渡邊友太郎氏は岡山の市會議員にして、併せて市の種々なる委員であつた、然るに商會の根本方針は病者をして各專賣所に就き病理養生法等の無料相談相手となることにして居る、處が主任として一方市會議員を兼ねるが故に外出勝にして、病者に滿足を與へ難く之れ我商會の方針に矛盾する譯であるから、遂に其職を辭せしめたのは今春の出來事である氏が辭職に當つては、岡山市長警察署長、商業會議所會頭、市會議員並に各新聞記者等約六十名を同地の花月に招待して謝別の宴を張つたのである、余も其席に臨し、同主任が病者に忠實ならんが爲に市會議員を辭するの已むなき事情を述べて、諸氏の諒解を求めた次第である、之れに對する同市長の丁寧なる答辭を享けたるも略す。

之れ余が專賣制度を設け、治病本位に立脚し劇藥を許さゞる所以である。

予の發病と保養

元來余は自立主義であつて、醫者の厄介になることが大嫌なのである故に自ら身を愼みて保健の途を講じて居るのである。本年五十七歲となるが、未だ一回も醫師に手をとつて貰つたことがないのである。所が。歐洲大戰後、思想が惡化し加ふるに、新思想なりとてデモクラシーに共鳴し、險惡なる個人主義、社會主義、共產主義、無政府主義等我國體と相容れざる破壞思想が輸入し來つて、先づ歐米心醉者が之に共鳴し、全國の新聞紙又筆を之れを宣傳し、爲めに大なる思想界は前代未聞の混亂時

國家の前途

實に寒心に堪へざるものあり。而も天下一人の識者、起つて此大患に抗するものなく、予や微力なりと雖も之を座視するに忍びず、猛然起つて國家主義、日本主義を宣傳せんが爲め全國の大新聞を通じて、天下に呼號したのである。然るに之が反響として

當時の內閣

諸公を始め樞密顧問官、宮中顧問官、貴衆兩院議員、神佛管長其他の有志諸君より思想善導の爲に詩歌頌辭を寄贈されたのである。之を一人にて私するに忍びず茲に寄贈の辭に

教育美談を

加へ菊倍版約五百頁の『國士の鑑』の編纂に着手した次第であつた。年を閱すること二歲、大正十年九月一日發刊の運びとなつた。所が畏くも天覽の榮を賜ひ、續いて皇后陛下攝政宮殿下臺覽の光榮に浴したので[illegible]國の諸官衙並に市町村役[illegible]である。而して之を中央諸官衙、實業[illegible]聯か世道人心の振興[illegible]のである、之が編纂[illegible]十萬圓を投じた次第[illegible]余の主張を徹底的[illegible]に、其當時より今日

廣告費約五十萬圓

を投じて、全國各地の新聞紙に予の國家主義日本主義を宣傳したのであつた、其總計八十萬圓は小なりと雖も余にありては實に汗血の結晶である、余は左の主義を十年以來實行して居る。

一、一切公私の宴會を謝絕して居る
二、交際上已むを得ざる場合と雖も遊里に出入せざること
三、骨董書畫を弄ばず
四、余の一生は別莊を設けざること
五、蓄妾せざること
六、店頭にある時は常に二三圓の職服を纏ふこと

斯くの如くして自ら節することに嚴にして、節約是事とするも、余は敢て子孫の爲に美田を買ふの意志はない、又金錢を徒らに蓄積して守錢奴と呼ばれたくない

余は一面靈的（精神）方面たる思想問題に就て、斯の如く焦慮すると同時に、他面肉體的に最も恐るべき國民病たる、肺結核を驅除し以て國家の爲めに盡さんと志したのである斯の如く

靈肉兩方面に

沒頭して心身を勞すること、多大であつた爲に甚しく健康を害した。されど前述の如く予は元來醫者嫌ひであるから、予が嚴格の自家療法たる靜地療養を別府に試みたのであつた、それは昨十一年四月初頭のことである

肺病藥實驗

假令保養とは云ひながら、予の性分として漫然日子を徒消する譯に行かない、丁度此好機會に於て肺病藥の實驗を爲さんと、大分、別府、中津の各地に廣告し、大分、別府、中津の各專賣所をして病理並に養生法を研究せしめて、試驗したのであつた、が等しく肺病と言ふも、其病氣は多樣にして、一期もあり二期もあり三期もありと云ふ風で、到底一藥に拘ることは出來ないのである。肋膜も同樣であつて、それ等に對して一々其處置の方法等も考究しなければならなくなつた、仍て此際、他と交際若くは面談して居ては研究の妨害となるので玄關口に『面會謝絕』の張札をした譯である、甚だ失禮であつたけれども其際訪問された、別府警察署長、代議士、新聞社長、學校長等の諸氏に對しても御目にかゝることが出來なかつた次第である。

全治者續々出づ

其間四ヶ月、前記の合理療法を病患者に熟らしめた所が、殆ど百餘名中の患者を悉して、全治者若くは輕快者の感謝狀並に報告に接した譯である、是實に予が獨創の肺病藥の效驗が顯著なると同時に他面には自然療法（精神、日光、空氣、食餌）を數へて靈肉一致の合理療法を實行さした結果が爲めである、されど唯單に藥を服賣するのみでは治病の目的を完全に達することが出來ぬから、先づ全國の各專賣所長を各地方に集合せしめ、予は特に出張して、病理やら養生法等を教へ、尚研究すべき參考の書類等を與へ、本土、朝鮮、滿洲、北海道等を巡回して親しく督勵したのであつた

專賣所長に訓示

凡そ世の中のことは誠でなくてはいかぬ、宜しく誠意を以て病患者に接しなければならぬ、徒らに藥をのみ病者に賣付けて金儲けを目的とすることは、一大罪惡である、斯樣な仕打は盜賊の行爲以上に忌むべきである、盜賊は壯健なる者より金錢や財物を奪ふのであるが病床に苦悶せる同情すべき者より其の弱點に乘じて、金錢を貪取するは強盜以上の罪惡人である近時盛んにパン問題なるものが叫ばれるが、パンを叫ふ（喰べることを目的）者は、パンすらも得られないのである。人間が左樣に食ふことを目的にする樣では動物と異る所がない、例へば飛ぶ鳥も獸も自ら食を求め、子を育くんで行くではないか、人間が只食をのみ目的とするやうでは禽獸に劣るのである。御互に相扶け合ふて平和な社會を形作ると云ふのが人間である。古語に『與へて取れ』と言ふことがある、それで先づ與へねばならぬ、其の譯は病者の苦痛を除いて幸福を計るのが主眼である、然るに之れと反對に

病者の幸福を

目的とせずに、金錢のみを取らうとすることは、恰も田植をせずに收穫のみを望む如きものである

假令、田植をしたからと云つて、水肥を打捨て置いてはならぬ、水肥も取らねばならぬ、肥料も遣らねばならぬ、肺病も啻服藥のみを以て其目的を達し得られるものでない、精神の安靜療法や養生法、保養の注意を教示、研究を重ねて一般者の幸福を計らねばならぬ、一般者の生命を救ふ次第であるから慎重なる態度をとらねばならぬ、自己の利益の爲に人を死に至らしめてはならぬ、古語に『一波纔に動いて萬波隨ふ』といふことがある、之は靜かなる池に一小石を投ずれば其れが萬波を起すと云ふ意味で、專賣所が一人の病者に幸福を與へれば、それからそれと傳はつて萬波が生じて、茲に自他の幸福が得られるので、之が即ち相互扶助となるのである。

くれぐれも『誠意は最後の勝利なり』と言ふことを銘とせられんことを望む。」

肺病諸合藥の發表

前述の如く準備萬端整ふて、昨年十一月十六日、東京大阪を始め、全國各地の大新聞紙上に發表宣傳した然し如何に大きな廣告をしても、廣告丈けでは藥が賣れるものでない、商會の肺病藥は自畫自讚でないが、確に他に卓越した藥效がある、所謂一波萬波で

本年二月中販賣高　金七萬圓
本年三月中販賣高　金十萬圓
本年四月中販賣高　金十三萬圓
本年五月中販賣高　金十七萬圓
本年六月中販賣高　金二十萬圓

前記の通り異數の發展を見た譯である（大阪東稅務署に屆出べき數字）而して之に有田血液を合算せば年額三百萬圓の販賣額を見るに至つた。

斯の如き偉績を擧げた所以のものは、實際高貴なる有効藥を配劑して居るからである、其一例を擧ぐれば商會の肺病藥は十數種の配劑から成立つて居るのである、如何に商會が高貴藥を使用して居るかと云ふことを確むる爲に左に其一種を公表する。

オレキシン（獨逸カーレイ會社製）一封　八拾圓

を配劑してある（大阪府製藥許可）前記のオレキシンは高價藥なるを以て我國には一オンス瓶より無いのである、此藥は

大阪醫科大學病院

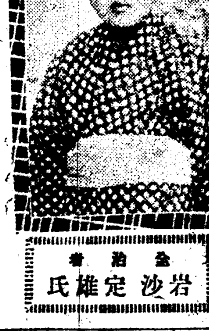
でも、一ヶ月二十オンス內外を使用するに過ぎないと云ふことであるのに、商會では一ヶ月間に八千オンス內外を買取るので、驚いたのは大阪の道修町や、東京の本町邊の新藥問屋である。一般世俗は肺病を死病の如く思つて居るが、肺病で死ぬと云ふのは意志薄弱な人である、予の考へではこれ位治癒し易い病氣はないのである。前述の次第であるから、病患者は勿論、健康者と雖も一日たりとも大自然の力を無視すれば此世に生存することが出來ぬと云ふ結論になるのである。

金錢に動かぬ俠醫道菴

江戶神田に道菴といふ醫者があつた、元來頗る濟淡、淡泊な性質で、若し貧者には憐れんで藥餌を與へ、富みたる者より、招かれても、少しも顧じなかつた、そして病家より謝金が來ても來なくても、そんな事をば意に介しないで、出るにも入るにも、木綿衣と草鞋とのみである、兎角の評も我關せず焉で、路上を行く人は呼んで草鞋道菴と嘲つたが、それから自分も草鞋道菴と自稱した、少し譯つた男である。或時一人の行脚僧が來て『師行の僧が急病にて危篤なり、今帽上寺の一室を借りて介抱せる所、先生の御來診を得ば幸、此の上もなし』と云ふ道菴、氣の毒に思ひ、早速、帽上寺に行くに前の行脚僧は、威儀を正して出迎へ『行脚と云ひしは僞にて、實は當山の僧正が、危篤にて旦夕を測り難し、先生の妙手を煩はさん事を冀ふも、先生は富貴の家には決して來診を肯じ給はずと聞き、わざと賤僧に姿をやつし候、御容赦下され』と陳謝する、道菴も今は詮方なし、さらば拜診せんとて病室に入り藥を與へた、さしもの大病も、日を經るまゝに快癒したので、一山の歡悅、何へた、禮物を厚くせんとするを道菴一物を受けずに其儘飄然として立去つた、此等は眞に仁術を施したる者と言ふべきで、今の世の中に道菴のやうな、逸話を聞くさへ心が晴々とするではないか

肺病全治の通信
はいびやうぜんぢのつうしん

伊藤軍醫の診斷　最後の手段として有田藥を

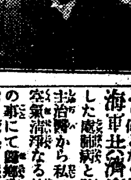


全治者　岩沙定雄氏

愚息は本年九歲になりますが本年一月頃風邪に罹りましたので早速醫師に就き手當を致して居りましたが、次第に重症になり咳や痰が多くなり盜汗も增して段々衰弱して行くので當地新開の伊藤軍醫に診察を受けました處氣管支加答兒と肺尖加答兒だと診斷され病氣は益々進んで一時絕望しました偶々一の宮市大門町の有田專賣所の御藥が卓效にして此藥を服藥して隨分重症の患者も全快したとの事を聞き早速最後の手段として御縋ひし懇篤の御注意や容態を御話し致しました處色々御心切に養生法を御指導に預かり有田特製治肺劑と有田血液素を戴き歸り服藥致しました處三日目より熱も下り盜汗も少くなり咳や痰も減少し食慾も增進しましたので之に力付き益々養生をさせつゝ服藥させました處五週間の後には全く全快しましたので家內一同大喜びで居ります肺病は決して不治の病でなく養生と藥の力に依り必ず全快するものと堅く信じて居ります、有田藥は稀世の靈藥と云ふて過言でないと信じ嬉しさの餘り添へて御禮申し上げます。」

愛知　縣中島郡今伊勢村開明　全治者　岩沙定雄　親權者　岩沙[illegible]

海軍共濟病院で肺病と診斷　歸國して有田藥に



清水三好子

妾は夫の勤務地橫須賀市で子供迄も產んで至極强健で樂しく暮して居りましたが大正十一年二月風邪に罹されましたのが原因で四月には突然喀血致し大いに驚き橫須賀市の村上醫師の診療を受けました處肺尖加答兒との事でありましたが一旦全治したと考へて居りました所六月頃より何となく身體の具合が惡いので海軍共濟病院で診察を受けました處肺病と診斷せられ八月に至り主治醫から私の古鄕信州は土地高燥空氣淸淨なる故歸國の上養生せよとの事にて歸鄕致しましたが旅行の疲勞で重患に陷り悲觀の極に沈んで居りましたが偶々新聞廣告で有田藥の有効な事を知りましたため早速上田市田町の有田專賣所に至り有田治肺劑と有田血液素とを求めまして、服用致しましたが四五日目より熱も去り八週間目には以前の健康體と異らぬ迄になりました

長野　縣小縣郡川邊村[illegible]地　全治者　清水三好

稲永醫院でろくまく炎と診斷　不思議の樣に全治したので人にも奬めたい

淺野間佳三氏

拜啓私は本年二十八歲になりますが元來强壯な方でしたが昨年十月頃風邪に罹り種々藥を服用致しましたが一向に全快致しませんので本年一月市內稲永醫院で診察を受けました處氣管支と肋膜とが惡いとの事で色々手當を致し其後關西病院にも診察を受けて居りましたが五月二十九日廣島西橫町有田專賣所に到り病理の說明を聞き茲に有田治肺劑と有田血液素を一週間分を買求め服用致しました處不思議にも六日目より熱も下り盜汗も止みましたので更に五週間分を服用致しました所今日では全く快癒して以前の健康と變らぬ樣になりました喜びに堪へませぬから一寸申し上げると同時に世に私と同樣の病にて悲觀して居る人も多い事と思ひます故夫れ等の人々に有田藥を[illegible]

廣島　縣安藝郡[illegible]村字[illegible]子町內　淺野間佳三

再發した肋膜炎　有田藥で全快

全治者　田中ます江子

私は三年前大阪西野田停留所前で化粧品店を出して居りました時肋膜炎で大阪府立病院に入院し二箇月位で全快しまして退院し其後夫と一緒に當地に參りましてから氣候の關係か昨年九月頃より又肋膜が再發し少しの仕事も疲れ食も進みませんから益々やせる一方で親類の人等のよいと云ふ藥を呑んで見ましたけれ共餘り効なく益々內地の親類の處に行かして貰ふと思つて居りました處、實父が函館松風町有田專賣所に良藥があると云ふて有田治肺劑と有田血液素と頂戴して歸りましたので夫れを服用した處一二週間で大層身體の具合がよくなり食慾も進み先月迄約三箇月連服致しました處今までは丈夫な身體になり人樣も見違へる樣になつたといつて居られ私は勿論家內一同喜んで居ります

北海　道函館新川町二七三番地　田中ます江

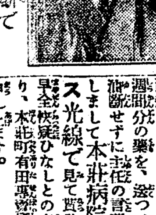
住友病院の診斷で肺尖加答兒　今では有田藥で無病の强壯體

村上竹一氏

小生は四阪島の住友會社に勤務して居りましたが昨年の盛夏にフト胸部に[illegible]覺え其後身體が益々衰弱するので、住友病院で診察を受けると肺尖加答兒との事に吃驚して歸省し新居濱の住友病院や今治の白石病院に罹り三箇月程養生しましたが波止濱の飛田病院に換へました處よい樣なので喜んで居ると或る日新聞紙上にて有田の藥で全快した數多い例を見て天の助けと直ちに今治有田專賣所に行き相談すると親切に說明して下さいましたので有田治肺劑と有田血液素とを四週間分を戴き殆ど全快した樣に思はれましたが專賣所の主任はまだ過度の運動や不養生はいけないと御注意があつたに拘らず舊正月の[illegible]をやつてまた惡くなり主任から大目玉を頂戴してそんな無茶するなら又藥を呉らぬと叱られ今度こそ用心に用心を重ねて服藥致しましたらお蔭で全く全快の喜びを見る事が出來ました之れ全く有田樣のお力だと感謝して居る次第であります

愛媛　縣越智郡波止濱町大字高部　全治者　村上竹一

本莊病院の診斷で肺尖加答兒　有田藥で命拾ひ

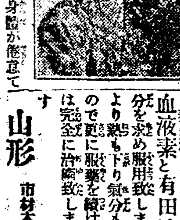


鈴木源治郎氏

私は昨年十一月頃から身體が衰へ輕い咳が出るので、本莊病院で診斷して貰ふと、肺尖加答兒と診斷され、悲觀して居ると、報知新聞で、有田の肺病全治通信を讀み本莊町有田專賣所に行つて養生法を親切に教へて貰ひ、有田治肺劑と、有田血液素を買つて歸り、養生を守つて、服藥すると、五週間位で、氣分もよくなり盜汗や咳も出ぬ樣になつたので、安心して、私の[illegible]が芝居小屋で活動寫眞を、面白そうにして居るので、遂誘はれて、見物して戻つた翌日から、又氣分惡く、發熱したので專賣所主任に小包で八週間分の藥を、送つて貰ひ今度こそと主任の注意を守り養生致しまして本莊病院でエッキス光線で見て貰ひましたら、最早全快して病ひなしとの事に嬉しさの餘り、本莊町有田專賣所を通じてお禮を申し上げます。」

秋田　縣由利郡東瀧澤村前鄉　鈴木源治郎

有田藥で全快の欣び



安藤サダ子

妾は本年春の櫻頃から身體が倦怠で一寸した事にも疲勞を覺える樣になり日々衰弱致しまして果ては夜分にも盜汗が出て恐い夢を見る樣に成りまして日中は午後になると咳が出て左の肋腹の上部に痛みを感ずる樣になりましたが生來頑壯な妾のこと其儘にして置きましたが益々衰弱する一方でありますから五月中頃醫師の診察を受けました處左側滲出性肋膜炎で中々重症である故絕對安靜が必要との事でありまして私は大に驚きましたが養生を續けて居ります內雜誌で有田藥の效果を知りましたから早速山形市旅籠町の有田專賣所へ行き同所の主任樣から養生法の說明を聞きまして有田血液素と有田治肺劑一週間分を求め服用致しました處四五日目より熱も下り氣分もよくなりましたので更に服藥を續けました所此の頃は完全に治癒致しまして欣んで居ります

山形　市材木町　安藤サダ子